

---

---

# 仙 台 市

## 地 域 経 済 動 向 調 査 報 告

( 42 )

---

---

平成 21 年 4 月 ~ 6 月 期 ( 今 期 ) 実 績  
平成 21 年 7 月 ~ 9 月 期 ( 来 期 ) 見 通 し

平成 2 1 年 7 月

仙 台 市 経 済 局

# 目次

1 . 調査の概要.....	1
2 . 調査結果の総括.....	2
< 仙台市企業経営動向調査結果（D I）の総括表 > .....	2
< 業況判断（事業所の業況）D Iの動向>      仙台市における業種別業況判断の動向.....	3
< 業況判断（事業所の業況）D Iの動向>      仙台市・東北・全国の業況判断D Iの比較.....	4
3 . 企業経営動向調査結果（D I）の概要.....	5
設問 1 - 1 売上高.....	5
設問 1 - 2 販売数量.....	6
設問 1 - 3 経常利益.....	7
設問 2 - 1 製（商）品単価.....	8
設問 2 - 2 原材料（仕入）価格.....	9
設問 3 - 1 製（商）品在庫.....	10
設問 3 - 2 労働力.....	11
設問 3 - 3 生産・営業用設備.....	12
設問 3 - 4 資金繰り.....	13
設問 4 - 1 正規従業員数.....	14
設問 4 - 2 非正規従業員数.....	15
設問 4 - 3 生産・営業用設備（予定）.....	16
設問 5 - 1 事業所の業況（業況の良し悪し）.....	17
設問 6 - 1 事業所の業況（業況の変化）.....	18
設問 7 - 1 経営上の課題.....	19
4 . 業界ヒアリング調査結果.....	20
資料編.....	25
（1）企業経営動向調査結果（D I）の詳細	
規模別D I.....	27
業種別D I.....	32
経営の課題.....	46
（2）東北、全国の調査結果	
東北.....	47
全国.....	49
（3）主要経済指標	
主要経済指標グラフ.....	50
主要経済指標一覧表.....	54
（4）調査票.....	60

## 企業経営動向調査結果（DI）の用語について

### DI について

DI とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略であり、「良い／悪い」「増加／減少」などの定性的な判断を指標として集計加工した指数。分析にあたっては、DI 値のみではなく、回答の構成比、前回調査からの DI 値の変化に留意する必要がある。

### 本調査における DI の算出方法

**売上高、販売数量、経常利益**「増加」と答えた事業所の割合 - 「減少」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど状況は良いということになる。

**製（商）品単価、原材料（仕入）価格**「上昇」と答えた事業所の割合 - 「下降」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど、価格の上昇感が強いということになる。

**製（商）品在庫、労働力、生産・営業用設備**「過剰・やや過剰」と答えた事業所の割合 - 「不足・やや不足」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど、過剰感が強いということになる。

**資金繰り**「楽である・やや楽である」と答えた事業所の割合 - 「苦しい・やや苦しい」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど資金繰りが容易ということになる。

**正規従業員数、非正規従業員数**「増員」と答えた事業所の割合 - 「減員」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど増員予定の事業所が減員予定の事業所に比べ、多いということになる。

**生産・営業用設備（予定）**「増強」と答えた事業所の割合 - 「縮小」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど増強予定の事業所が縮小予定の事業所に比べ、多いということになる。

**事業所の業況、業況の変化**「良い、好転」と答えた事業所の割合 - 「悪い、悪化」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど業況判断は良いということになる。

- DI 値の算出においては、事業所規模の大小に基づくウェイト付けは行っており、一社一票の単純平均の形をとっている。

今期 = 平成 21 年 4 月～ 6 月期

来期 = 平成 21 年 7 月～ 9 月期

前期比 = 前 3 ヶ月間との比較

前年同期比 = 1 年前の同期間との比較

### 事業所の規模

中小企業基本法の基準を参考に、業種毎に、従業者数をもとに、事業所の規模を下表のように区分している。

業種	製造業、建設業、運輸業、 不動産業	卸売業、 サービス業（個人向け）、 サービス業（法人向け・ほか）	小売業、 飲食店・宿泊業
大規模事業所	300 人以上	100 人以上	50 人以上
中規模事業所	20 人以上 300 人未満	5 人以上 100 人未満	5 人以上 50 人未満
小規模事業所	20 人未満	5 人未満	5 人未満

# 1. 調査の概要

## (1) 調査目的

仙台市の経済動向を把握し、適切かつ効果的な施策を推進するための基礎的な資料とするため、仙台市が調査を実施する。

また、調査結果については、各関係機関に対し、本市経済の動向を把握する基礎資料として提供する。

## (2) 調査時期

本調査は、企業経営動向調査、業界ヒアリング調査、主要経済指標の動向調査により構成しており、四半期毎に実施している。今回の調査は平成 21 年 6 月に実施した。

## (3) 調査方法

### 企業経営動向調査 (D I)

事業所・企業統計調査対象事業所名簿から、業種や規模別に無作為に抽出した仙台市内の事業所 1,000 社に対して、郵送によりアンケート調査を実施した。

(調査期間：平成 21 年 6 月 1 日～6 月 19 日)

業種	従業員規模			
	全規模計	大規模	中規模	小規模
全業種計 (有効回収率：%)	697 69.7	127 63.5	305 76.3	265 66.3
製造業	148	5	63	80
非製造業	549	122	242	185
建設業	79	2	41	36
運輸業	70	0	44	26
卸売業	68	17	37	14
小売業	67	23	25	19
飲食店・宿泊業	57	22	24	11
不動産業	71	0	21	50
サービス業(個人向け)	68	26	24	18
サービス業(法人向け・ほか)	69	32	26	11

### 業界ヒアリング調査

仙台市内の主な業種毎の事業所 30 社に対し、景気動向の現状や、各事業所における課題等について仙台市職員及び(財)仙台市産業振興事業団職員が聞き取りを行った。調査は、平成 21 年 6 月 17 日～平成 21 年 7 月 8 日にかけて実施した。

### 主要経済指標の動向調査

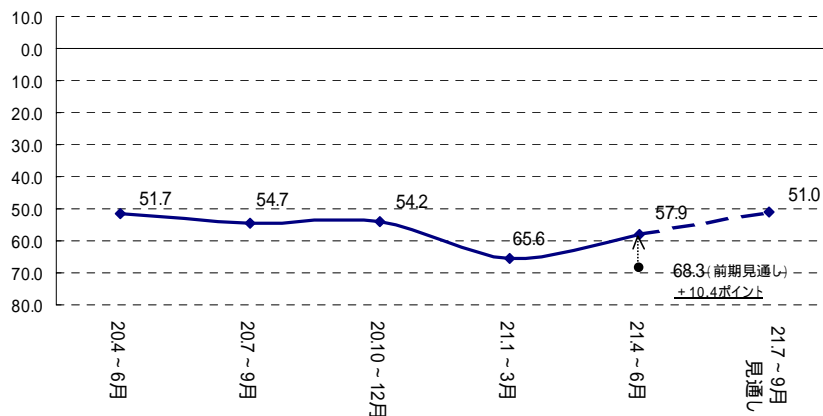
仙台市の産業関連資料、国、県、金融機関等の経済関係資料を集約し、本市域の経済活動の推移をみるための資料として、グラフと一覧表にまとめた。

## 2. 調査結果の総括

今期の市内事業所の業況判断は、前期に比べ上昇した。業種別では、全ての業種で上昇した。

来期も、上昇する見通しであり、業種別では、サービス業（個人向け）で下降、それ以外の業種で上昇するものと見込まれる。

業況判断(事業所の業況)DIの推移



### < 仙台市企業経営動向調査結果 (DI) の総括表 >

調査項目 (DI)	今期実績 (前回調査実績との比較)		来期見通し (今期実績との比較)	
	傾向	DI	傾向	DI
売上高	上昇した	↗	上昇する見通し	↗
販売数量	上昇した	↗	上昇する見通し	↗
経常利益	上昇した	↗	上昇する見通し	↗
製(商)品単価	下降した	↘	下降する見通し	↘
原材料(仕入)価格 *	下降した	↘	下降する見通し	↘
製(商)品在庫 *	ほぼ横ばい	→		
労働力 *	上昇した	↗		
生産・営業用設備 *	上昇した	↗		
資金繰り	上昇した	↗		
正規従業員数	ほぼ横ばい	→		
非正規従業員数	上昇した	↗		
生産・営業用設備(予定)	ほぼ横ばい	→		
事業所の業況 (業況の良し悪し)	上昇した	↗	上昇する見通し	↗
事業所の業況 (業況の変化)	上昇した	↗		

上昇      横ばい      下降

DI = 「上昇」(「増加」「過剰」「良い」と答えた事業所の割合(%))  
 - 「下降」(「減少」「不足」「悪い」と答えた事業所の割合(%))  
 表中の今期はH21年4～6月、来期はH21年7～9月をあらわす。  
 表中の\*印は、DIがマイナス値である方が、好況、好転を示す。  
 調査結果の詳細についてはP5～P19、P25～P46参照

## ＜業況判断（事業所の業況）DIの動向＞

～ 仙台市企業経営動向調査結果（DI）より ～

### 仙台市における業種別業況判断（DI）の動向

業種	状 況	今期実績	来期見通し
製造業	今期のDI値は 68.5と、前期に比べて4.2ポイント上昇した。来期見通しでは 61.8と、今期に比べて6.7ポイント上昇する見通しである。		
建設業	今期のDI値は 63.6と、前期に比べて2.6ポイント上昇した。来期見通しでは 56.6と、今期に比べて7.0ポイント上昇する見通しである。		
運輸業	今期のDI値は 72.1と、前期に比べて4.5ポイント上昇した。来期見通しでは 63.6と、今期に比べて8.5ポイント上昇する見通しである。		
卸売業	今期のDI値は 52.2と、前期に比べて12.0ポイント上昇した。来期見通しでは 45.5と、今期に比べて6.7ポイント上昇する見通しである。		
小売業	今期のDI値は 65.7と、前期に比べて3.5ポイント上昇した。来期見通しでは 45.2と、今期に比べて20.5ポイント上昇する見通しである。		
飲食店・宿泊業	今期のDI値は 50.9と、前期に比べて22.0ポイント上昇した。来期見通しでは 46.5と、今期に比べて4.4ポイント上昇する見通しである。		
不動産業	今期のDI値は 49.3と、前期に比べて2.9ポイント上昇した。来期見通しでは 44.3と、今期に比べて5.0ポイント上昇する見通しである。		
サービス業 (個人向け)	今期のDI値は 29.9と、前期に比べて24.2ポイント上昇した。来期見通しでは 33.3と、今期に比べて3.4ポイント下降する見通しである。		
サービス業 (法人向け・ほか)	今期のDI値は 55.1と、前期に比べて1.5ポイント上昇した。来期見通しでは 50.0と、今期に比べて5.1ポイント上昇する見通しである。		



上 昇



横 ば い



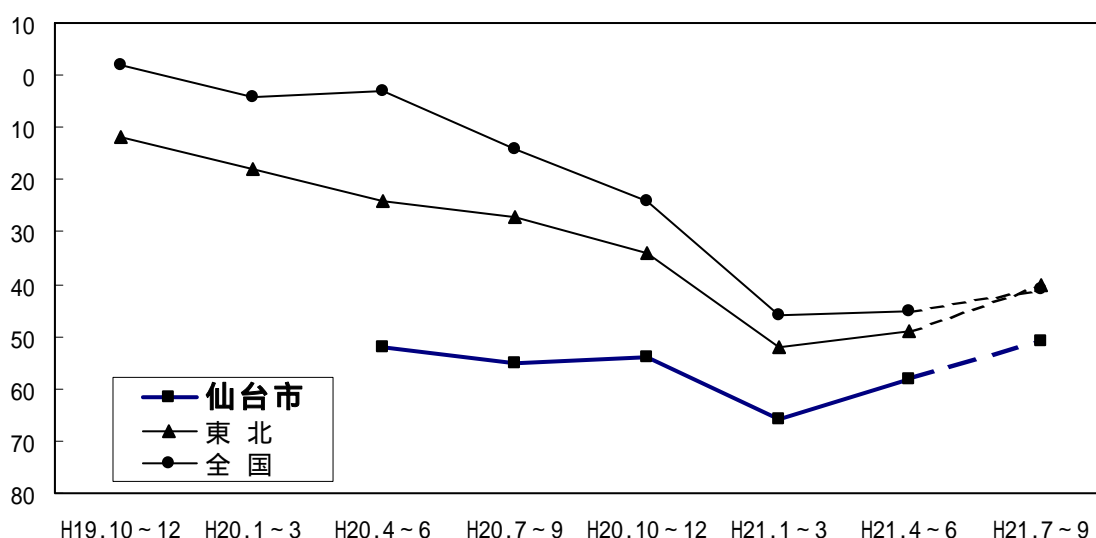
下 降

DI = 「良い」と答えた事業所の割合(%) - 「悪い」と答えた事業所の割合(%)  
 表中の前期はH21年1～3月、今期はH21年4～6月、来期はH21年7～9月をあらわす。  
 本調査における業況判断（事業所の業況）DIとは、事業所の業況（業況の良し悪し）DIをいう。  
 調査結果の詳細については資料編のP44参照

## 仙台市、東北、全国の業況判断D Iの比較

今期（平成21年4～6月）における仙台市の業況判断D Iは、前期（平成21年1～3月）に比べ、上昇した。来期（平成21年7～9月）の見通しは、仙台市、東北、全国ともに上昇すると捉えられている。

仙台市、東北、全国の業況判断D I比較（全業種）



調査票、設問内容を変更したため、仙台市においては、過去のデータと連続しない。H21.7～9については見通し

全国地域別の業況判断D I

全業種	地域	19/12月	20/3月	20/6月	20/9月	20/12月	21/3月	21/6月	21/9月	
								21/3月比 ポイント差	予測	
全業種	仙台市			52	55	54	66	58	8	51
	東北	12	18	24	27	34	52	49	3	40
	全国	2	4	7	14	24	46	45	1	41

D I = 「良い」と答えた事業所の割合(%) - 「悪い」と答えた事業所の割合(%)

値が小さいほど、業況判断は悪いということになる。 はマイナスを表す。

仙台市については本調査における**事業所の業況（業況の良し悪し）D I値**（ P17参照）

東北については、日銀仙台支店発表の日銀全国企業短観調査（東北地区六県）におけるD I値。

全国については、日銀全国企業短観調査（平成21年6月）におけるD I値。

日銀全国企業短観調査の調査対象は、資本金2千万円以上の民間企業（金融機関を除く）であり、本調査の対象とは異なる。

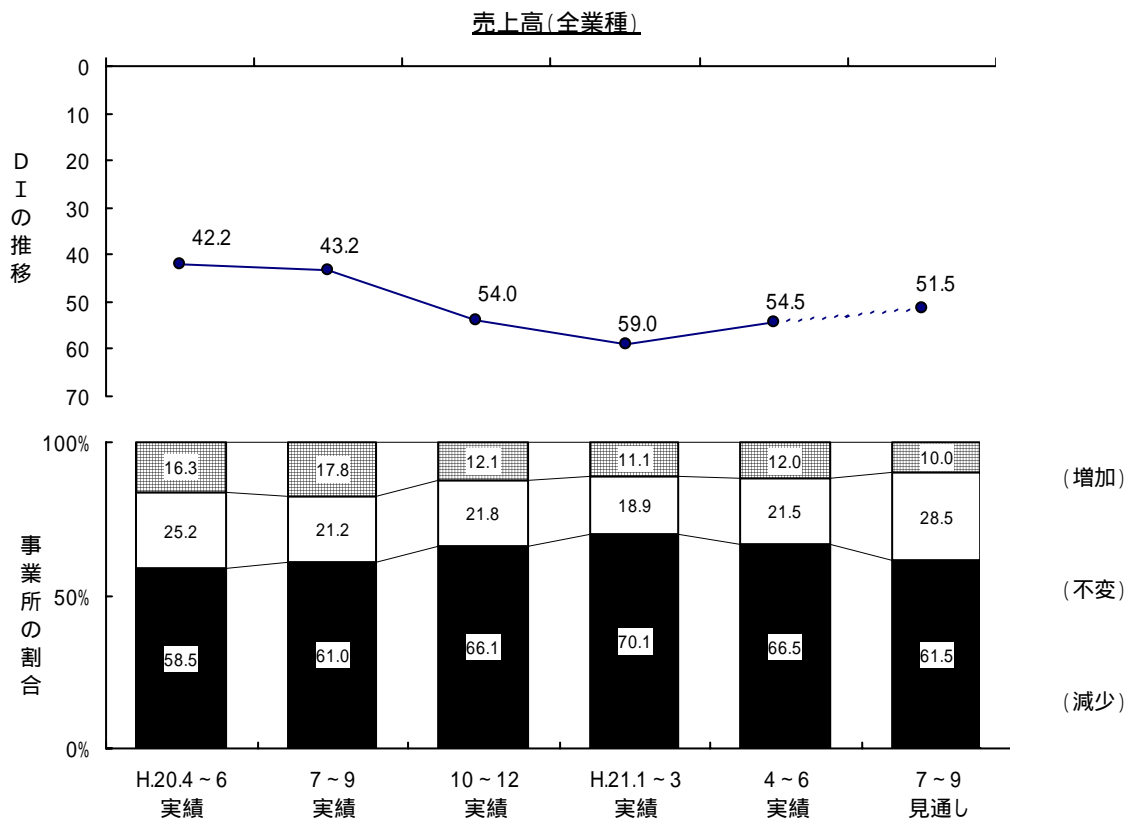
### 3. 企業経営動向調査結果（D I）の概要

用語の説明については目次裏参照

設問 1 - 1 売上高（前年同期比）

今期の売上高のD Iは 54.5（前期比+4.5）と、やや上昇した。来期の売上高のD Iはやや上昇する見通しである。今期の売上高のD Iを業種別で見ると、製造業では下降し、小売業、飲食店・宿泊業、不動産業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP27、P32 参照



今期の売上高のD I（「増加」と答えた事業所の割合 - 「減少」と答えた事業所の割合）は、今期実績で 54.5 と、平成 21 年 3 月調査（以下、前回調査）時の 1~3 月期（以下、前期実績）D I の 59.0 と比べやや上昇した。前回調査時の平成 21 年 4~6 月期見通し（以下、今期見通し）D I が 63.5 であったことから、売上高のD I は予想に反し上昇した。

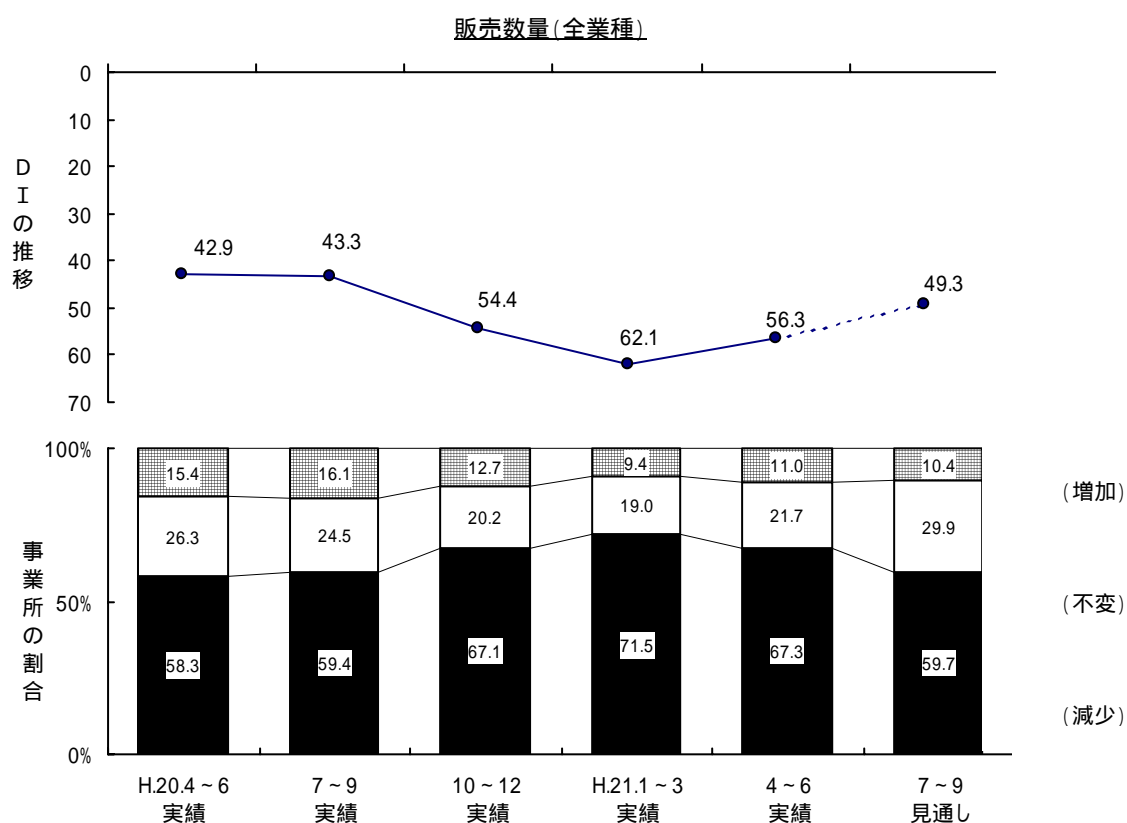
来期の見通しは、D I が 51.5 とやや上昇する見通しである。



設問 1 - 2 販売数量（前年同期比）

今期の販売数量のD Iは 56.3（前期比+5.8）と、上昇した。来期の販売数量のD Iは上昇する見通しである。今期の販売数量のD Iを業種別で見ると、製造業、建設業では下降し、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP27、P33 参照



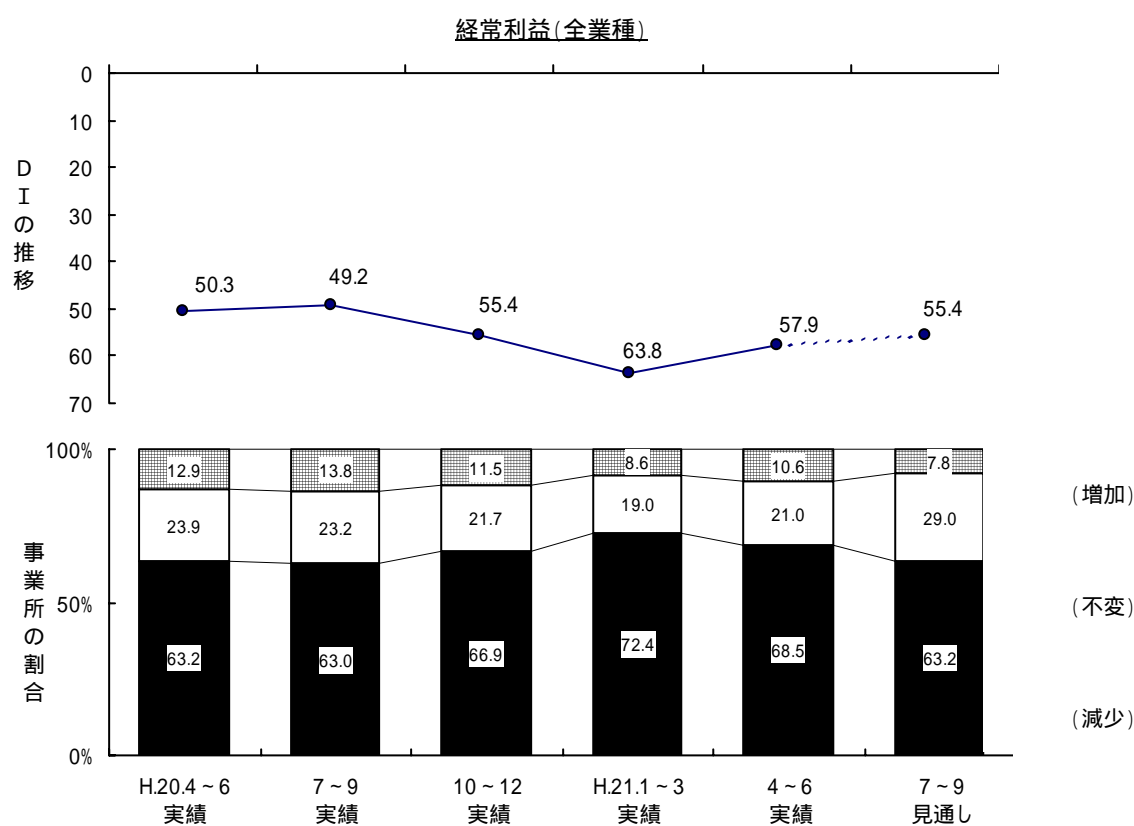
今期の販売数量のD I（「増加」と答えた事業所の割合 - 「減少」と答えた事業所の割合）は、今期実績で 56.3 と、前期実績D Iの 62.1 と比べ、上昇した。今期見通しD Iが 64.0であったことから、販売数量のD Iは予想に反し上昇した。

来期の見通しは、D Iが 49.3 と上昇する見通しである。

設問 1 - 3 経常利益（前年同期比）

今期の経常利益のD Iは 57.9（前期比+5.9）と、上昇した。来期の経常利益のD Iはやや上昇する見通しである。今期の経常利益のD Iを業種別で見ると、小売業では下降し、製造業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP27、P34 参照



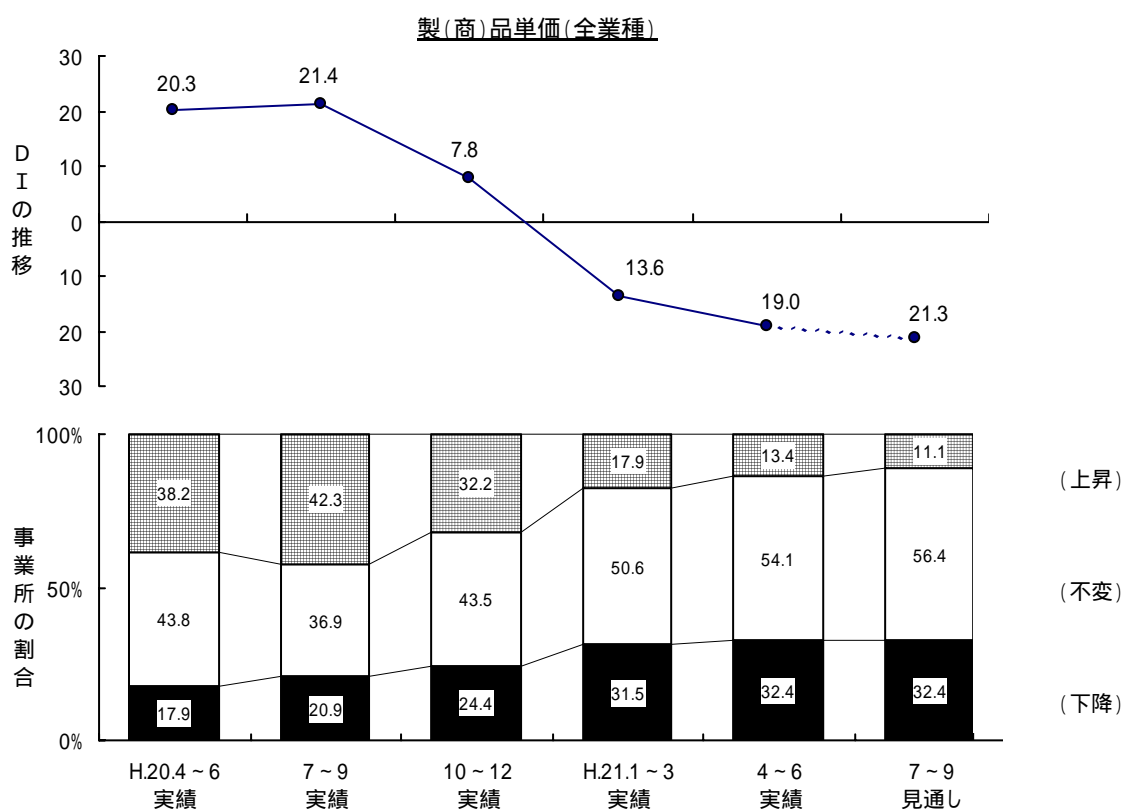
今期の経常利益のD I（「増加」と答えた事業所の割合 - 「減少」と答えた事業所の割合）は、今期実績で 57.9 と、前期実績D Iの 63.8 と比べ、上昇した。今期見通しD Iが 65.7であったことから、経常利益のD Iは予想に反し上昇した。

来期の見通しは、D Iが 55.4 とやや上昇する見通しである。

設問 2 - 1 製(商)品単価(前期比)

今期の製(商)品単価のD Iは 19.0(前期比 5.4)と、下降した。来期の製(商)品単価のD Iはやや下降する見通しである。今期の製(商)品単価のD Iを業種別で見ると、卸売業、不動産業、サービス業(個人向け)、サービス業(法人向け・ほか)では上昇し、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP28、P35参照

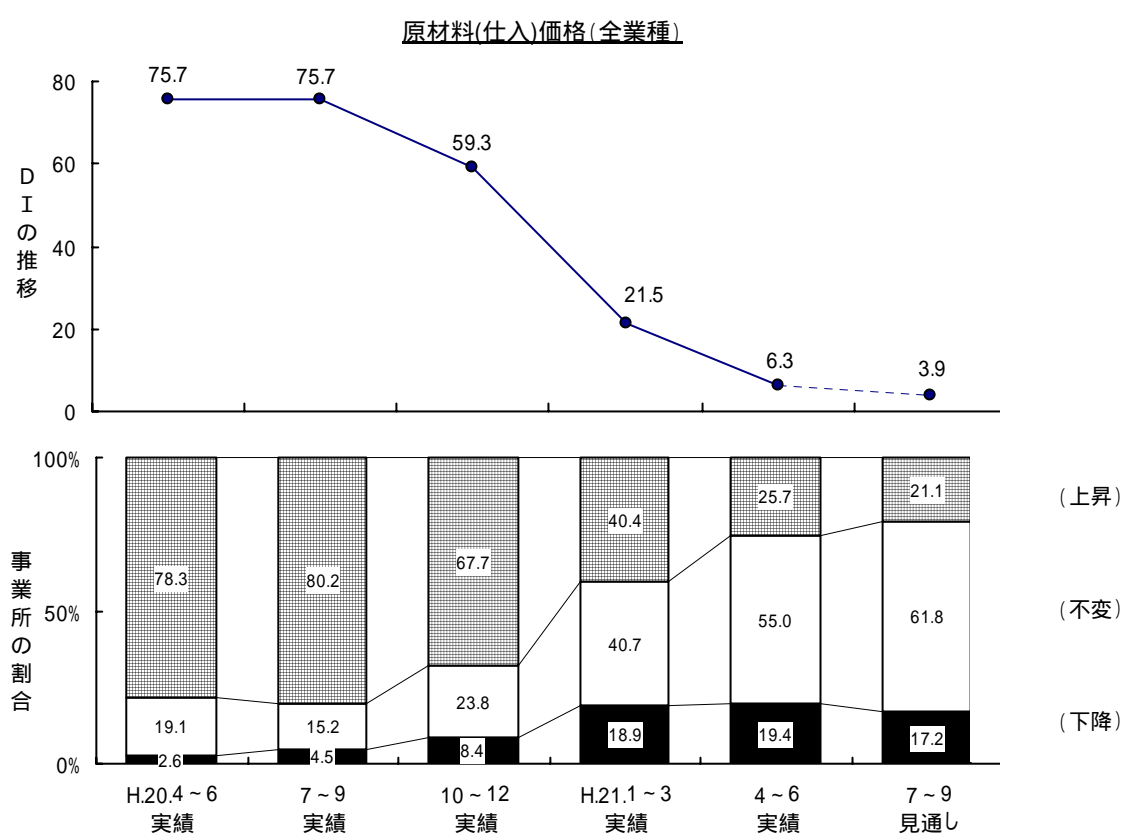


今期の製(商)品単価のD I(「上昇」と答えた事業所の割合 - 「下降」と答えた事業所の割合)は、今期実績で 19.0と、前期実績D Iの 13.6と比べ、下降した。今期見通しD Iが 20.5であったことから、製(商)品単価のD Iはほぼ予想通り下降した。来期の見通しは、D Iが 21.3とやや下降する見通しである。

設問 2 - 2 原材料(仕入)価格(前期比)

今期の原材料(仕入)価格のD Iは6.3(前期比 15.2)と、下降した。来期の原材料(仕入)価格のD Iはやや下降する見通しである。今期の原材料(仕入)価格のD Iを業種別で見ると、運輸業、サービス業(個人向け)では上昇し、不動産業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP28、P36 参照



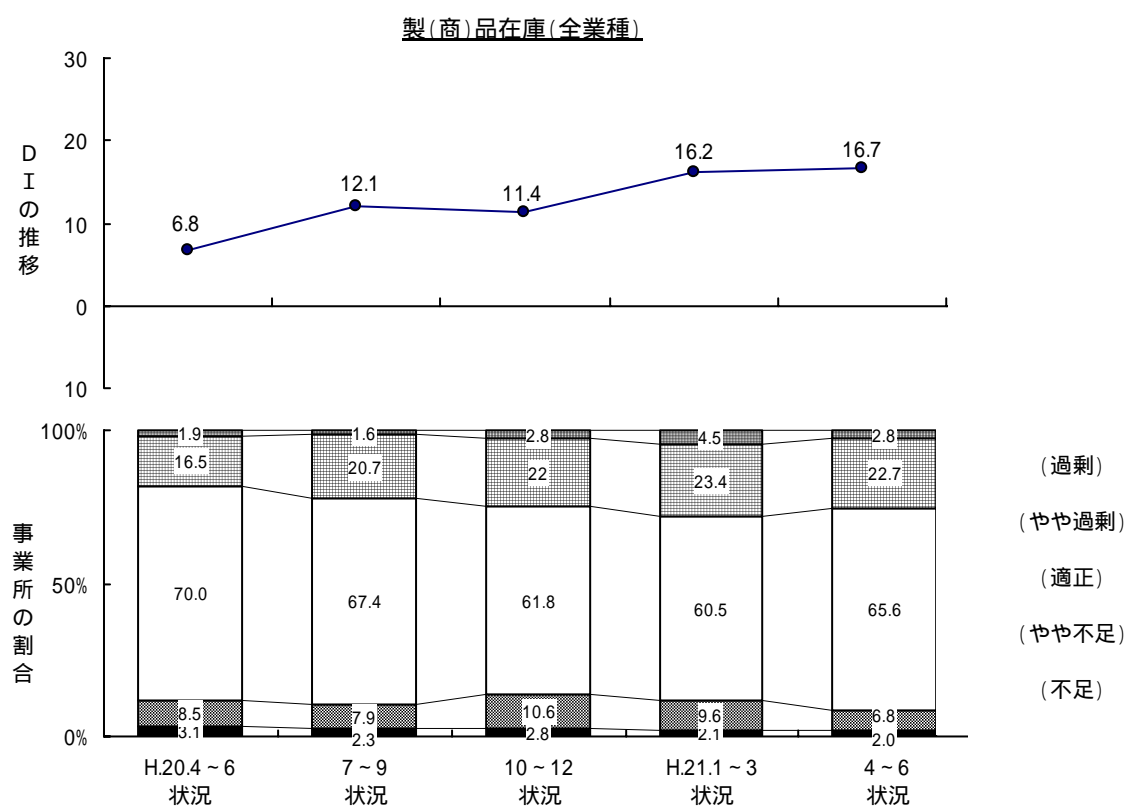
今期の原材料(仕入)価格のD I(「上昇」と答えた事業所の割合 - 「下降」と答えた事業所の割合)は、今期実績で6.3と、前期実績D Iの21.5と比べ下降した。今期見通しD Iが5.5であったことから、原材料(仕入)価格のD Iはほぼ予想通り下降した。

来期の見通しは、D Iが3.9とやや下降する見通しである。

設問 3 - 1 製(商)品在庫 (今期の状況)

製(商)品在庫のD Iは16.7(前期比+0.5)と、ほぼ横ばいであった。業種別で見ると、建設業、運輸業、卸売業、小売業では下降し、サービス業(個人向け)ではほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP28、P37 参照

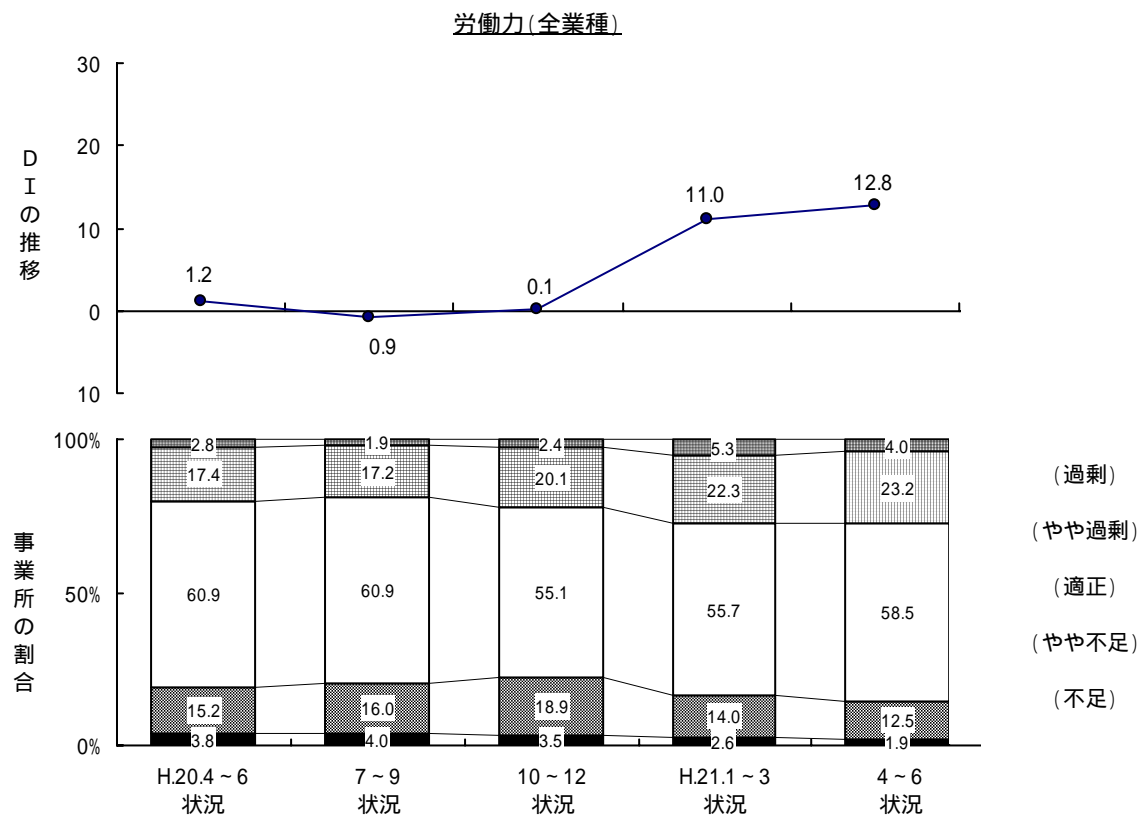


製(商)品在庫のD I (『過剰』(過剰+やや過剰)と答えた事業所の割合 - 『不足』(不足+やや不足)と答えた事業所の割合)は16.7と、前期実績D Iの16.2と比べほぼ横ばいであった。

設問 3 - 2 労働力（今期の状況）

労働力のD Iは12.8(前期比+1.8)と、やや上昇した。業種別で見ると、運輸業、サービス業（個人向け）では下降し、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP29、P38 参照

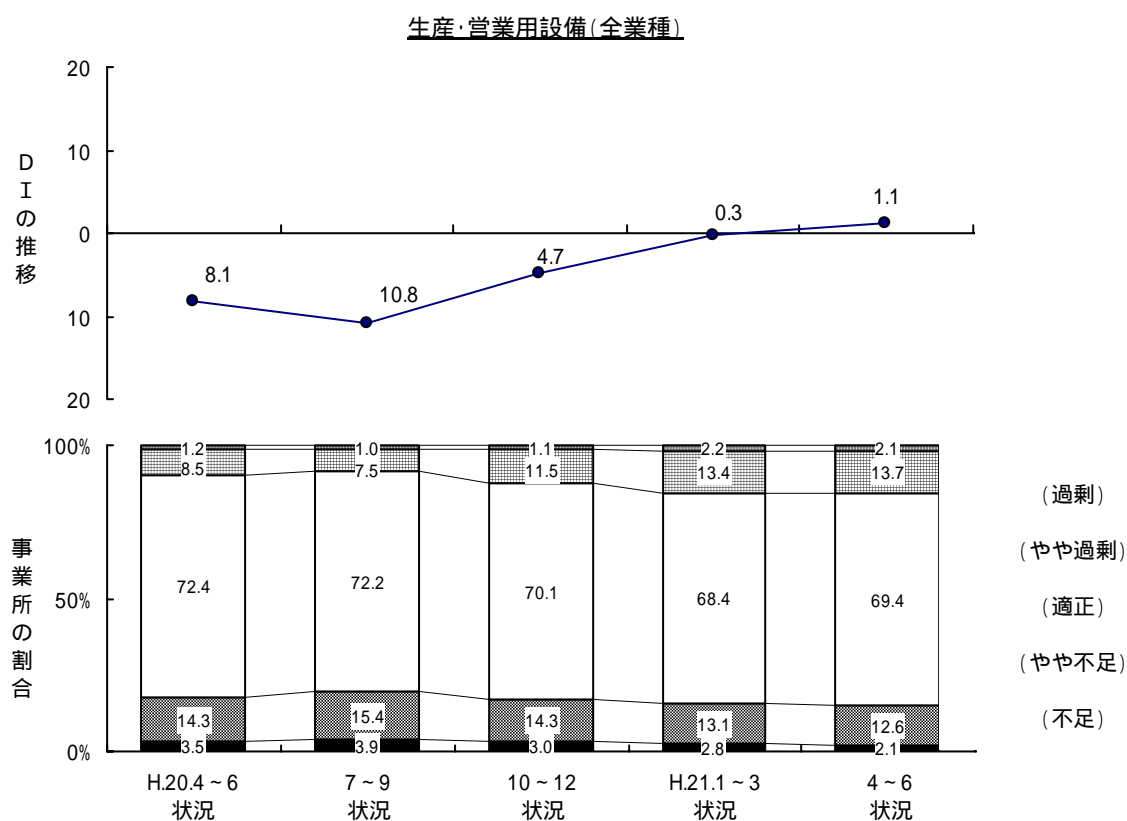


労働力のD I (『過剰』(過剰+やや過剰)と答えた事業所の割合 - 『不足』(不足+やや不足)と答えた事業所の割合)は12.8と、前期実績D Iの11.0と比べやや上昇した。

設問 3 - 3 生産・営業用設備（今期の状況）

生産・営業用設備のD Iは1.1（前期比+1.4）と、やや上昇した。業種別で見ると、運輸業、卸売業、サービス業（個人向け）では下降し、製造業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP29、P39 参照

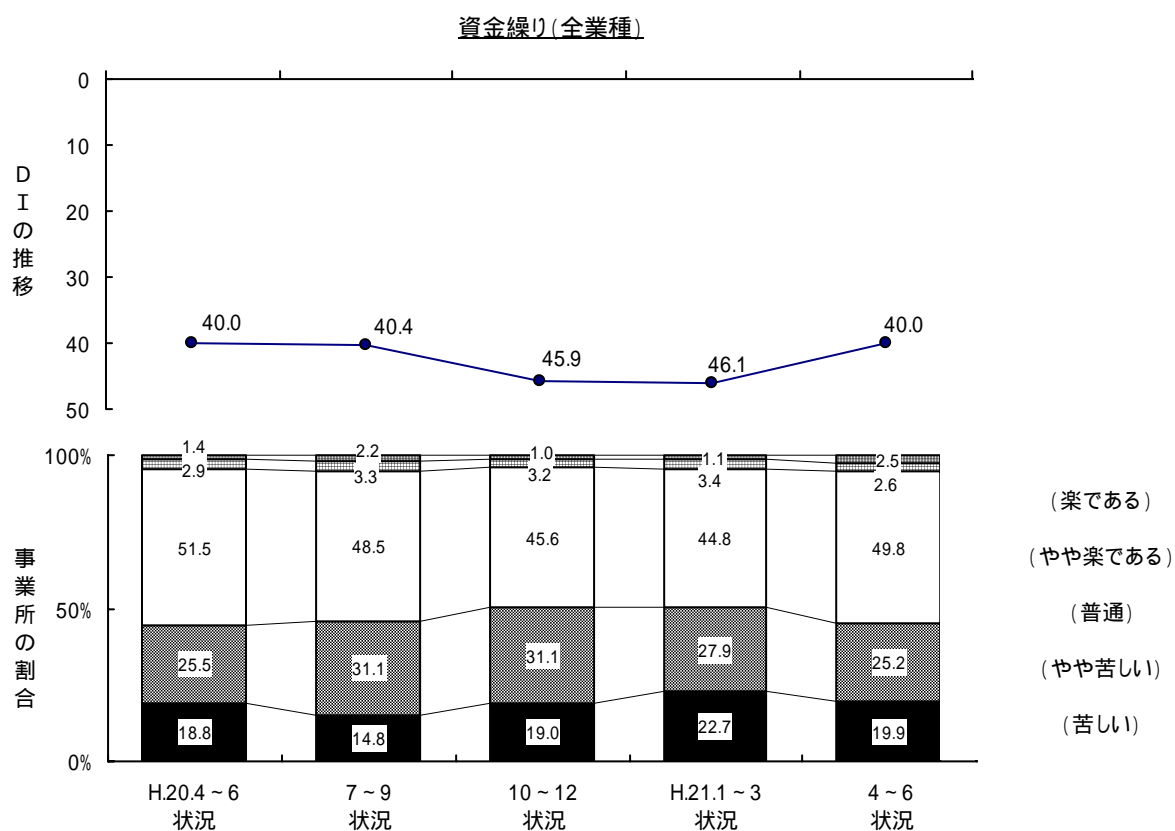


生産・営業用設備のD I（『過剰』（過剰+やや過剰）と答えた事業所の割合 - 『不足』（不足+やや不足）と答えた事業所の割合）は1.1と、前期実績D Iの0.3と比べやや上昇した。

設問 3 - 4 資金繰り（今期の状況）

資金繰りのD Iは 40.0(前期比+6.1)と、上昇した。業種別で見ると、サービス業（法人向け・ほか）では下降し、製造業では横ばい、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP29、P40 参照



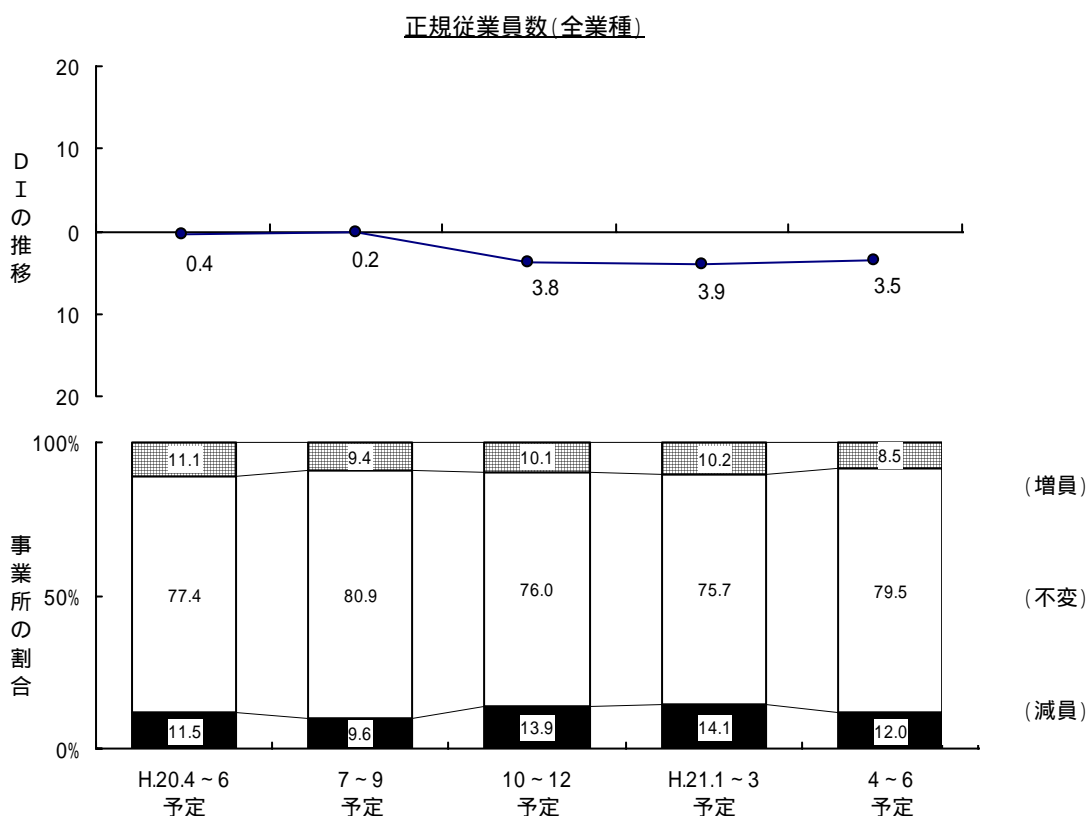
資金繰りのD I (『楽である』(楽である+やや楽である)と答えた事業所の割合 - 『苦しい』(苦しい+やや苦しい)と答えた事業所の割合)は 40.0 と、前期実績D Iの 46.1 と比べ上昇した。



設問 4 - 1 正規従業員数（今後の予定）

正規従業員数のD Iは 3.5（前期比+0.4）と、ほぼ横ばいであった。業種別で見ると、製造業、小売業では下降し、建設業、サービス業（法人向け・ほか）ではほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP30、P41 参照

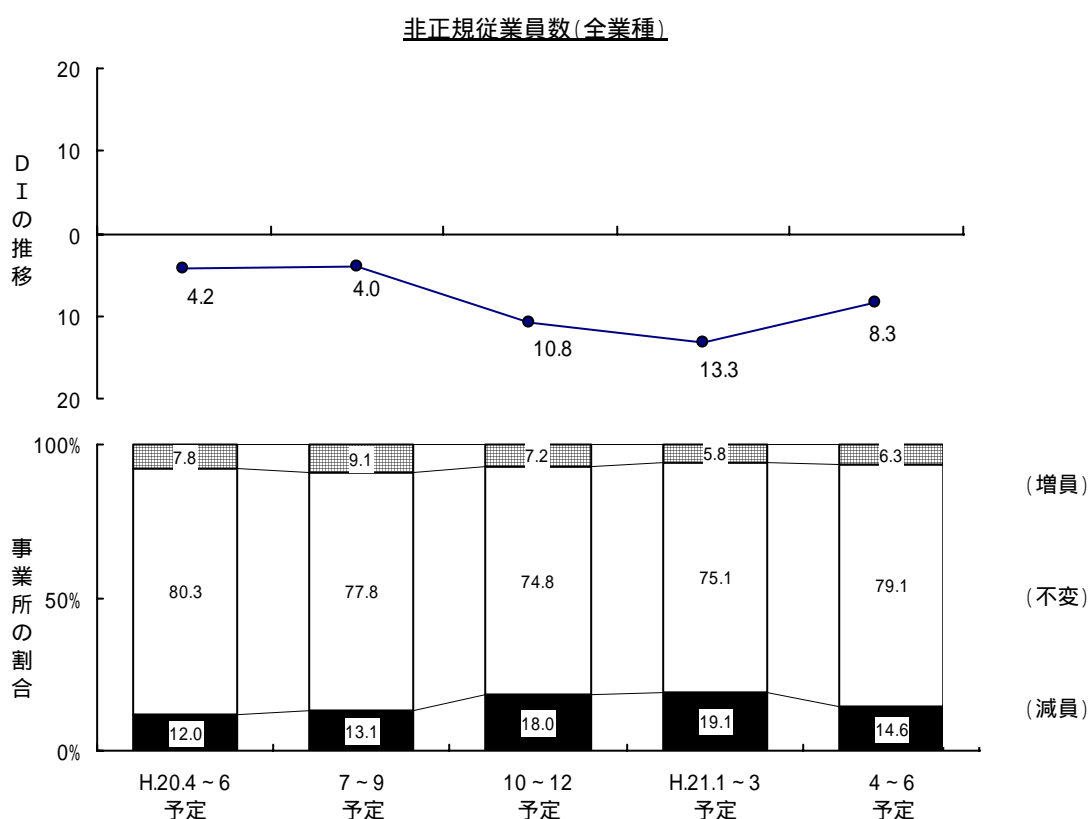


正規従業員数のD I（「増員する」と答えた事業所の割合 - 「減員する」と答えた事業所の割合）は 3.5 と、前期実績D Iの 3.9 と比べほぼ横ばいであった。

設問 4 - 2 非正規従業員数（今後の予定）

非正規従業員数のD Iは 8.3（前期比+5.0）と、やや上昇した。業種別で見ると、運輸業、飲食店・宿泊業では下降し、建設業、卸売業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP30、P42 参照

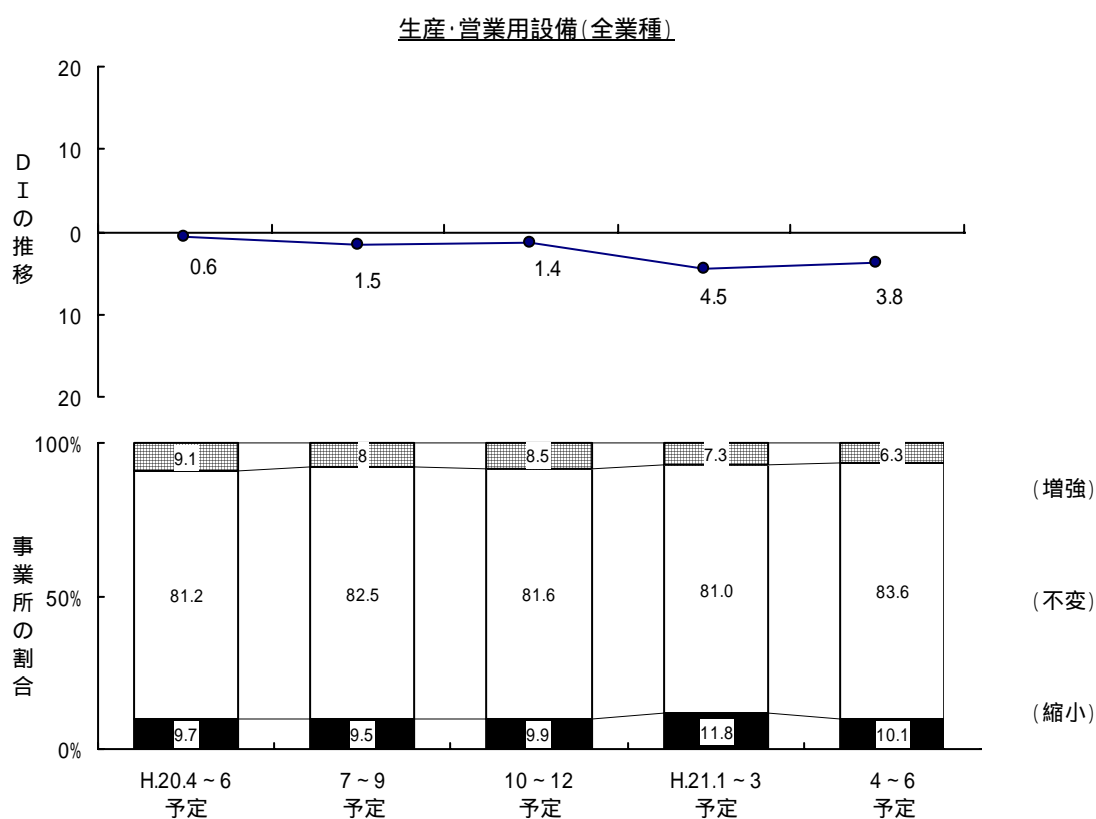


非正規従業員数のD I（「増員する」と答えた事業所の割合 - 「減員する」と答えた事業所の割合）は 8.3 と、前期実績D Iの 13.3 と比べやや上昇した。

設問4 - 3 生産・営業用設備（今後の予定）

生産・営業用設備（予定）のD Iは 3.8（前期比+0.7）と、ほぼ横ばいであった。業種別で見ると、建設業、運輸業では下降し、製造業、卸売業、サービス業（法人向け・ほか）ではほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP30、P43 参照

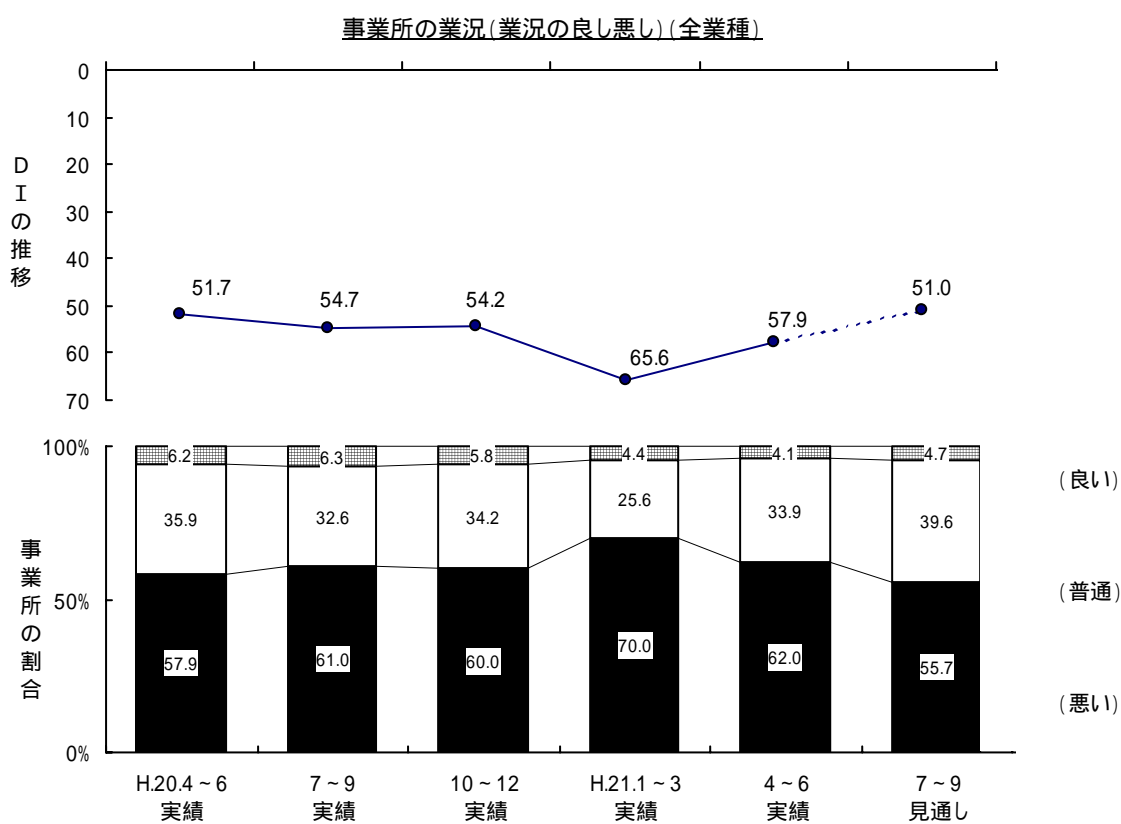


生産・営業用設備（予定）のD I（「増強する」と答えた事業所の割合 - 「縮小する」と答えた事業所の割合）は 3.8 と、前期実績D Iの 4.5 と比べほぼ横ばいであった。

設問 5 - 1 事業所の業況（業況の良し悪し）

今期の事業所の業況（業況の良し悪し）のD Iは 57.9（前期比+7.7）と、上昇した。来期の事業所の業況（業況の良し悪し）のD Iは、上昇する見通しである。今期の事業所の業況（業況の良し悪し）のD Iを業種別で見ると、全ての業種で上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP31、P44 参照



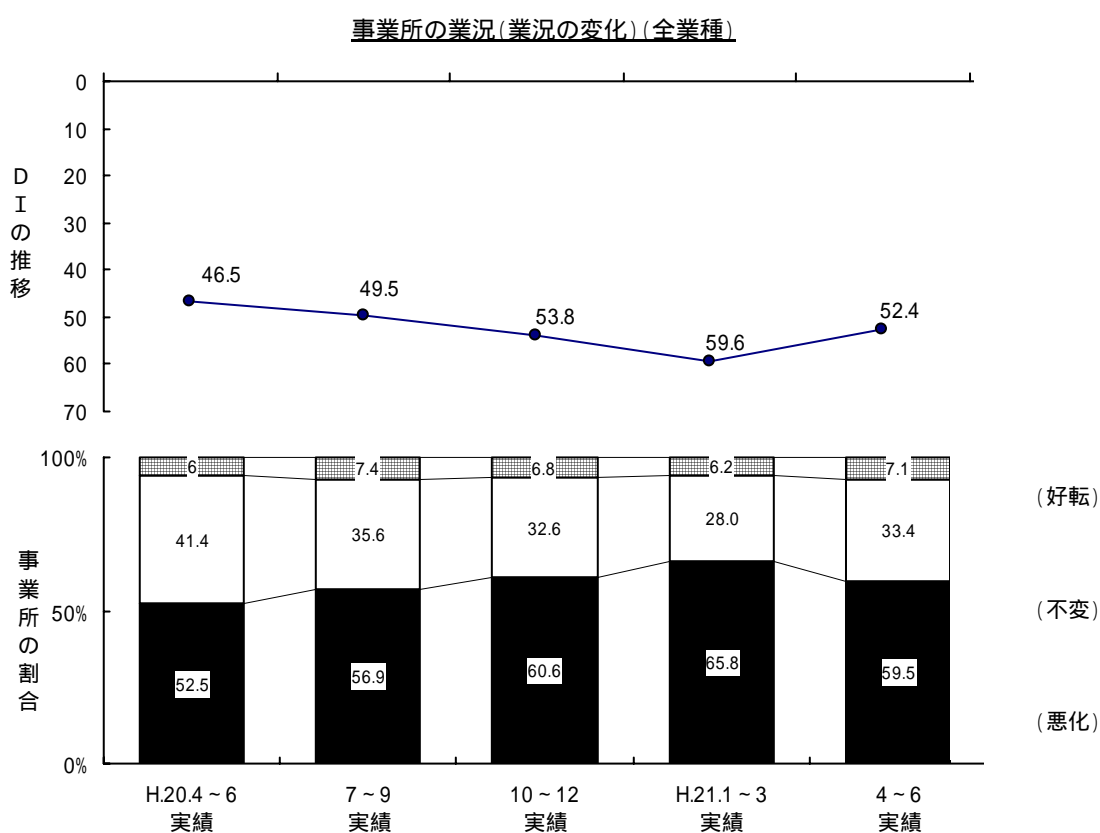
今期の事業所の業況（業況の良し悪し）のD I（「良い」と答えた事業所の割合 - 「悪い」と答えた事業所の割合）は、今期実績で 57.9と、前期実績D Iの 65.6と比べ上昇した。今期見通しD Iが 68.3であったことから、事業所の業況（業況の良し悪し）のD Iは、予想に反して上昇した。

来期の見通しは、D Iが 51.0と上昇する見通しである。

設問 6 - 1 事業所の業況（業況の変化）（前年同期比）

事業所の業況（業況の変化）のD Iは 52.4（前期比+7.2）と、上昇した。業種別で見ると、小売業では下降し、建設業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP31、P45 参照



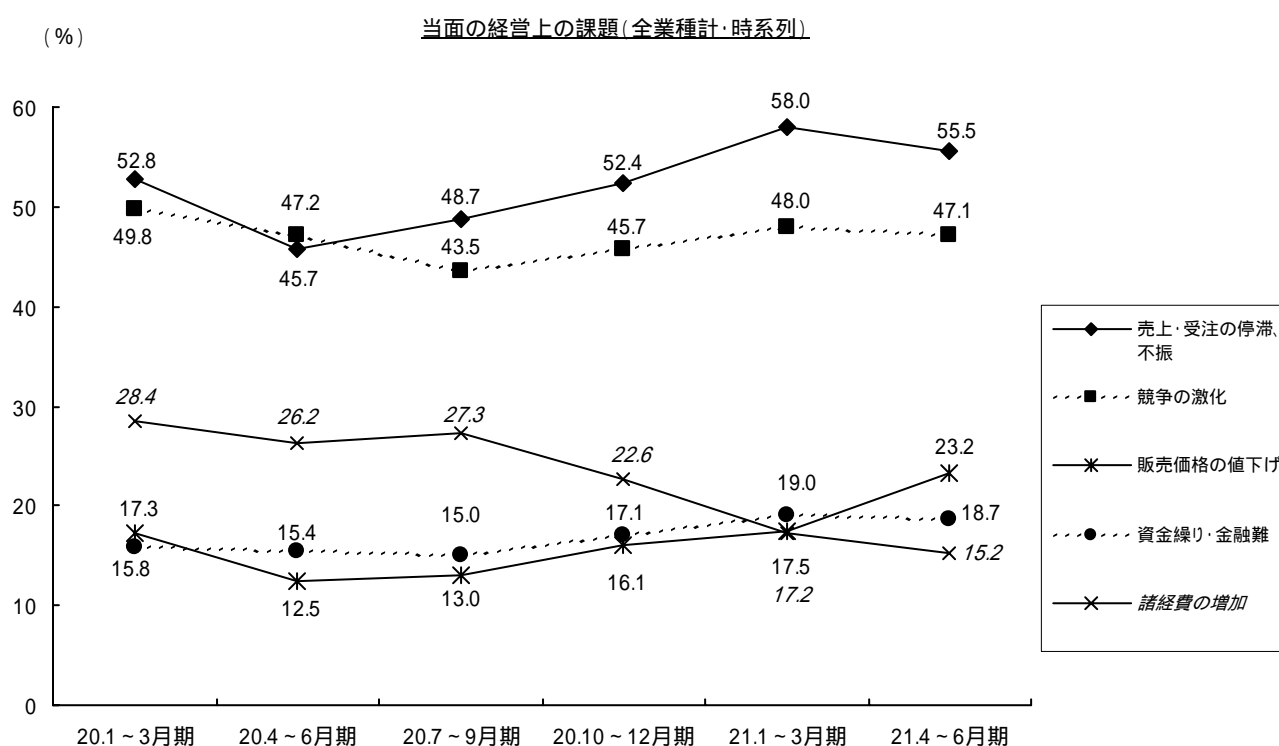
事業所の業況（業況の変化）のD I（「好転した」と答えた事業所の割合 - 「悪化した」と答えた事業所の割合）は 52.4 と、前期実績D Iの 59.6 と比べ上昇した。

設問 7 - 1 経営上の課題

経営上の課題としては、「売上・受注の停滞、不振」、「競争の激化」のこれら上位2位が、他を大きく引き離している。

また「販売価格の値下げ」が4期連続上昇し、2割を超えている。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP46 参照



当面の経営上の課題を3つまで選んでもらったところ、前期同様「売上・受注の停滞・不振（55.5%）」、「競争の激化（47.1%）」の上位2つを5割前後の事業所が挙げている。続いて、「販売価格の値下げ（23.2%）」は4期連続で増加し、2割を超えている。

以下、「資金繰り・金融難（18.7%）」、「諸経費の増加（15.2%）」と僅差が続いている。

## 4. 業界ヒアリング調査結果

調査期間：平成 21 年 6 月 17 日～平成 21 年 7 月 8 日  
調査対象：仙台市内の主な事業所 30 社  
調査方法：仙台市職員及び(財)仙台市産業振興事業団  
職員の面接による聞き取り

### 製造業

**その他食料品製造業** 各種弁当、総菜等の製造・販売を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。昨年の同時期に比べ、主要事業である JR 列車内での弁当販売売上げが 2 割程度減少しており、売上のほか、販売数量や経常利益は今後もまだ下げ止まらないのではと予想している。労働力はやや過剰であり、出勤日数や労働時間の調整を行うなどして対応している。一方プロ野球球場での弁当販売は比較的伸びており、こうした新たな卸先の開拓に取り組むなど、営業努力を行っている。

**酒類製造業** 東京に本社を持ち、ビール、発泡酒などの製造を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。現在のビール市場において、この事業所は比較的堅調な生産出荷状況にあると捉えており、少子高齢化や人口減少、またアルコール離れが進む中、今後も製造数量はほぼ横ばいで推移していくものと予想している。経営上の取組みとしては、社員の製造技術向上や設備の改善・改良を行うなど製造コストの削減に取り組むほか、原材料価格の変動に対して、メーカーによる共同購入や物流の共同化を行うなど対策を実施している。

**電気計測器製造業** 各種電気計測器の製造を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。主要取引先が大手電機メーカーであるため、昨年秋以降の不況の影響で受注が落ちこんでいたが、在庫調整が進み、前年並みではないものの今期は売上、販売量とも増加している。今後の見通しについて、景気が回復基調になるのは秋以降と予想している。労働力はやや過剰であるが、生産工程や管理システム改善に取り組むことで対策を行っている。今後は大手に限らず、幅広く取引先を開拓する必要性を感じている。

**セメント・同製品製造業** 生コンクリートの製造を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。受注額が減少しているものの、特に市内の生コン単価が全国平均よりも低いため、昨年秋に値上げを行った。協同組合制度により業務エリアが市内に限定されているため、他エリアの業者との競争が無い反面、エリア拡大も難しい状況。今後の見通しについて好転の兆しは見えない中、現在地下鉄東西線関連工事を受注しており、今後の受注量の増加に期待している。

**清涼飲料製造業** 清涼飲料水などの製造・販売を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。2～3 年前までは何とか黒字を維持していたが、昨年の原材料の高騰により、液糖(トウモロコシ原料)や重油が大幅に値上がりしたものの、簡単には価格転嫁ができず、一気に利幅が減少した。年間の工場稼働率に大きな差があり、全利益の 5 割を占める大手飲料メーカーの OEM 製造についても、生産計画が示されないため、生産調整が難しい。工場設備の老朽化が激しく、廃業も視野に入れた厳しい経営状況が続く見込み。

**パン・菓子製造業** パン、菓子などの製造・販売を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。小麦粉、マーガリンなどの原材料価格が 1 割から 2 割程度上昇しており、利益減となった。顧客のホテルや売店が廃業するなか、来期以降は、ライバル会社との価格競争で更に利益減となる見通し。製造プロセスの改善や新商品開発に取り組むなど経営努力に努め、売上を維持している状況。

## 建設業

一般土木建築工事業 土木・建築請負、不動産売買などを行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。ここ数年の公共事業の削減により、業界そのものが経常的な不況の中にあり、少なくとも一年後くらいまではこの状況が続くのではないかと予想している。早い段階から受注先を公共事業者から民間事業者へシフトしており、総額の7割を占めるところまできている。最近の国等の公共投資拡大策の影響もさほど感じられない。経費見直しについては、光熱費などの一般管理費の削減に取り組んでいる。

土木工事業（舗装工事業を除く） 道路建設、トンネル工事など土木工事全般を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。近年の公共事業の減少、特に地方自治体の減少傾向が大きく影響している。関連企業からの仕事を増やしてもらうほか、新工法の資格取得など様々な入札条件に対応できるよう取り組んでいる。景気の底打ち感は製造業など一部業種に限られており、建設業については未だ明るい兆しは見えない。地下鉄東西線関連工事のJVに入っているが、入札率の低さから利益はあまり出ていない状況。

## 運輸業

一般貨物自動車運送業 各種製品輸送を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。昨年秋頃から売上が急激に減少しており、主に建築資材や食料品関連の取引高の減少が大きい。親会社からの発注を増やしてもらうなどの配慮により助かっている状況だが、それでもまだ人員数やトラックなどにはやや余剰感がある。景気の底うち感は今のところ感じられず、景況はしばらく同じ状況ではないかと予想しているが、来期以降は人件費及び燃料費といった経費削減効果が見られそうなほか、大手荷主との新たな取引が決まっており、利益拡大に期待している。

貨物運送取扱業（集配利用運送業を除く） 鉄道、トラック輸送を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。受注量の大半を占める飲料関係は堅調なものの、自動車関連企業からの受注減などにより、1割程度利益が落ちている。また他社との競争による減収の影響も出ている。人員数については、余剰感は特になく、不況期は荷降しを担うアルバイトの減員で対応しており、運転手など正社員での調整は行わない方針。新たな物流サービスなど新事業開発は難しく、売上については現在の取引先の業況に左右される傾向が続くと予想している。

一般貨物自動車運送業 製品輸送、製品倉庫管理を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。昨年10月から11月にかけて売上の急激な落ち込みがあった。その後横ばいで推移したもののこの4月に更なる落ち込みが見られた。これは、取引先企業（建築資材製造）の生産調整の影響であり、通常ベースの45%程度にまで落ちている。対策としては残業の抑制、賞与カットなど人件費削減に取り組んでいるが、人員数の削減は考えていない。実感として景気底打ち感は未だなく、回復感もない。今後の公共投資に期待しつつも、見通しは暗い。

一般貨物自動車運送業 大手物流企業のグループ会社として、他県に本社を持ち、トラック輸送を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。グループ会社の下請けが7割と荷受量の大きな割合を占めているが、昨年来、物流量、売上とも落ち込んでおり、特に昨年秋以降は更に厳しい状況になった。休憩時のアイドリングストップの徹底など燃料代の削減や、高速道路の時間帯割引利用など経費削減を図っている。景気底打ち感は感じられない。



## 卸売業

衣料・身の回り品卸売業 婦人衣料、呉服、肌着などの卸売を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。大手スーパーや昨年オープンした郊外の大型商業施設などに、卸先の地元業者が大きな影響を受けており、廃業する業者もあるなど、販売先が減少している。新たな販売先の確保を含め、環境は厳しい状況である。昨年度決算は前年比マイナスだったものの、人件費や修繕費抑制の効果もあり、利益が出ている。

その他農畜産物・水産物卸売業 中華料理用食材の卸売を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。売上、利益ともにバブル期がピークだったが、その後年々減少している。現在はパーティーや式典などにおける中華高級食材(フカひれ、クラゲ)のみを扱っているが、結婚式の減少などの影響を受けており、また市内の中華料理店の数も減少しているなど、不況や少子高齢化により、食関連の企業全体が落ち込んでいるのではないかと感じている。

建築材料卸売業 東京に本社を持ち、個人向け住宅用外装材などの卸売を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。昨年からの売上などについて厳しい状況が続いており、仕入原価や販売管理費の抑制及び人員の削減などにより何とか黒字を出している状況。個人住宅の外装材が主力商品であり、新築着工率の低下、リフォーム業の低迷などの影響を受けており、景気の先行き不透明感が強い。今後は高機能・高付加価値商品の開発を進める必要があると感じている。

電気機械器具卸売業 東京に本社を持ち、家庭電化製品、IT 機器等の卸売を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。全社的に売上が落ちているなか、今後の受注予測も芳しくない状況。家電エコポイントによる売り上げ増についても対象家電が全体の 1 割未満でもあり、影響は微々たるもので、期待していない。人件費削減目標の設定や資材調達部門の立ち上げによるコスト削減など、今までにない規模で社内の事業改革を行い、不況対策を進めている。

## 小売業

各種食料品小売業 食料品、日用雑貨等の小売を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。適切な商品情報の提供や PB 商品セールなどにより昨年同期と同程度の売上が確保できたものの未だ景気底打ちとは捉えていない。一人あたりの購入点数は変わらない中で買い上げ金額が減少しており、消費行動には未だ慎重さが見られると感じている。他社競合店との競争激化のなかで、徒歩圏内の小規模店舗展開や、会員顧客のニーズ把握に努めるなどの自社の強みを活かした対策を講じている。

自動車小売業 自動車販売などを行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。自動車販売業界は景気の影響を受けやすく、また近年の人口減、高齢化などの影響も受け市場は低迷している状況。今年実施された低燃費車への助成についても一時的なものであり、助成終了後の不安がある。また助成対象外の車の販売不振も懸念している。労働力、営業設備についてもやや過剰感を持っており、来期以降も更なる景気悪化や販売価格競争の激化など、厳しい状況を予想している。

書籍・文房具小売業 東京に本社を持ち、書籍・文房具などの販売を行っているこの事業所では、業況は悪いと捉えている。以前に比べてより安価な本が売れる傾向にあり、利益減少に繋がっている。書籍陳列の工夫やスポット企画の実施など、よりオリジナリティを出した販売を行っている。また書籍のデジタル化や若年層の活字離れが進むなど環境は厳しいものになっている中、幼児やその親への読書提案を行うなど、社会貢献活動を定期的に行っている。

## 飲食店・宿泊業

旅館・ホテル 宿泊施設の提供を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。昨年来の不況、円高などの影響により台湾、韓国からの客数が落ちている。また新型インフルエンザの影響もあった。ETC 効果によりGW 期間中は飲食・宿泊とも好調だった。この夏から秋にかけては団体客予約が入っており見通しは良いものの、市内ホテル業界は新規出店が続いており、価格破壊の進行など、競争激化が予想される。特に平日利用のビジネス客が減少している中で、冬以降厳しさが出てくるのではないかと予想している。

会社・団体の宿泊所 宿泊施設の提供を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。売上は一昨年から昨年にかけての落ち込みが激しかったこともあり、今期は上向きとなっているものの依然厳しい状況にある。立地環境によりプロ野球開催時に宿泊客の増加が見込めるもののそれほど大きな影響はない。今後は利用者拡大に向けた営業活動や、市内イベント等の情報収集を積極的に行いたいと考えている。

西洋料理店 他県に本部を持ち、フランチャイズ店舗でのレストラン料理、パンなどの提供を行うこの事業所では、業況は良いと捉えている。情報誌への広告掲載や来客特典の効果によるものと捉えている。今期の売上については、客の利用頻度は低下しているものの、メニュー拡大やマーケティングなどの効果により客単価が上昇している。来期以降もこの傾向は続くものと予想している。原材料の仕入れについては、本部指定のものと店舗独自の仕入先をうまく分けることでバランスをとり、販売価格の調整を行っている。

## 不動産業

不動産代理業・仲介業 事務所・住宅賃貸業を営むこの事業所では、業況は普通であると捉えている。売上はバブル期を頂点として下降気味で推移しているなか、ビルオーナーなど顧客の中には建て替えを検討し始めている所もあり、ビル仕様の変更や駐車場への用途変更を行うなど不景気の中でも様々な工夫をしている様子。地下鉄東西線建設による土地の値上がりは現在は落ち着いてきているものの、マンション新築や事務所移転の話など、建設効果も見えはじめている。

不動産賃貸業（貸家業、貸間業を除く） テナントビル賃貸業を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。今般の不況や近隣の賃貸相場の低下傾向により、テナントからの強い賃下げ要求があり、賃料値下げを行わざるを得ない状況。一方で仙台での不動産ミニバブルの影響の名残で固定資産税評価が値上がりしており、業績悪化は避けられない。景気の底打ち感はまったく無く、地震対策経費や地下鉄東西線開通による商店街通行量減少の影響など、不安感を持っている。清掃等自ら行うなど可能な限り経費節減には努めているが大きな効果は望めず、来期以降も賃料値下げなどにより厳しい状況が続くと予想している。

不動産代理業・仲介業 不動産仲介業、コンサルティング業を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。ここ数年の不況により、支店・営業所が撤退し、空き事務所や空き住居、新築マンションの売れ残りなど賃貸・売買物件ともに供給過剰の影響がある中、長期間安定した契約をするテナント重視の営業形態をとっており、また、まちづくりの観点から、物件オーナーへのコンサルティングを行うなど、付加価値をつけた事業展開を行っている。

## サービス業（個人向け）

写真現像・焼付業 東京に本部を持ち、フランチャイズ店舗により写真の現像、焼付けを行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。写真現像が売上の大部分を占めるが、近年大きく落ち込んでいる状況。携帯電話やデジカメなどの普及により、自宅プリントやインターネット現像が可能となり、店舗での現像需要が減っていることによる。本部経由で現像資材を仕入れており、直接の原材料高騰の影響は受けていない。厳しい経営環境の中、スピードプリントや高品質性など専門店ならではのメリットをアピールし、顧客開拓を行っている。

ゴルフ場 ゴルフ場経営を行うこの事業所では、業況は良いと捉えている。クラブハウスのリニューアルを行った影響で、今期は客数が大きく伸びた。昨年秋以降の不況を境に、企業接待や社内コンペなどによるビジター客が、より低価格の他社へ流れた影響で激減した。業界全体として客数が減っている中で、シニア層や女性層向けの企画開発を進め、自社ブランドの維持による他社との差別化を図るほか、HP などによる最新情報の提供を行うなど新規顧客の開拓に努めている。

その他の教育・学習支援業 各種資格取得講座の提供を行うこの事業所では、業況は良いと捉えている。医療事務やホームヘルパーなどの資格取得者数が昨年 12 月期から大きく増加しており、また県の緊急雇用対策訓練の受託などもあり、売上、利益とも増加している。医療事務は不況時には受講人気が高まる傾向にあり、ホームヘルパーについてもマスコミ報道等の影響で人気が高まったものと考えている。講義内容や事務関係の質の維持に留意していることで、大手他社と比較して、口コミによる受講者の割合が高い。

その他の老人福祉・介護事業 デイサービスやショートステイ事業などを行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。景気の直接的な影響は少ないが、利用料の滞納や利用数の減少など、間接的に不況の影響はあるものと感じている。開設時よりも利用者数は増加しているが、介護保険の各種制度の制約により、必ずしも利益に結びついてはいない。利益重視の事業ではないものの、サービスや利用率の向上と人件費とのバランスが難しく、資金面で苦しい状況。近隣で同様の施設が増加しており、新規利用者の獲得などにおいて競合している。

## サービス業（法人向け・ほか）

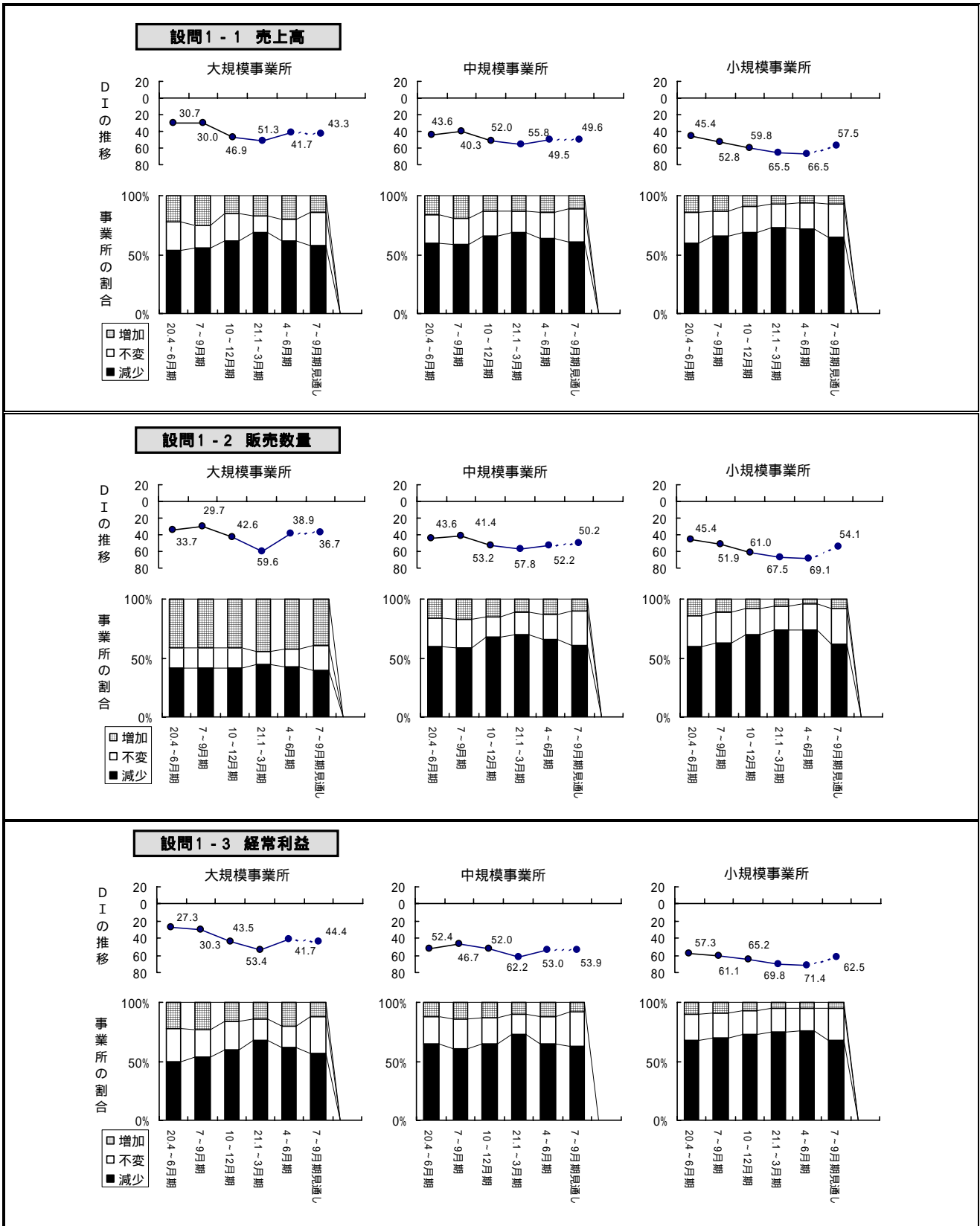
情報処理サービス業 システム開発・運用を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。昨年秋以降の不況の影響はほとんど無く、業務量も安定している。業務量の大きな変動が無いため、設備・労働力とも適正であると捉えている。売上の 8 割を母体会社からの受託が占めているが、契約更新毎に料率の見直しがあり、売上に大きな影響がある。そのため他の会社や自治体等の受託比率を高めることが必要との認識があるが、設立時の経緯などもあり、慎重に考えている。

# 資料編

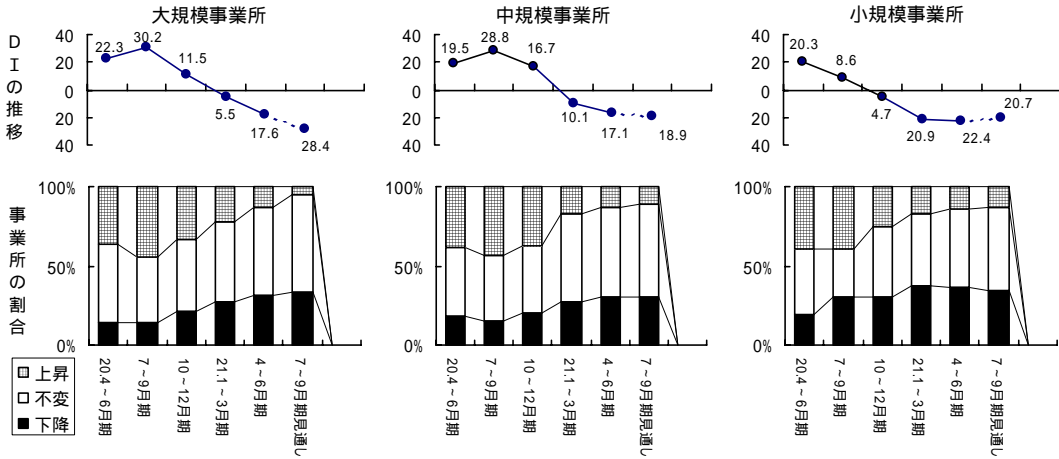


( 1 ) 企業経営動向調査結果 ( D I ) の詳細  
規模別 D I

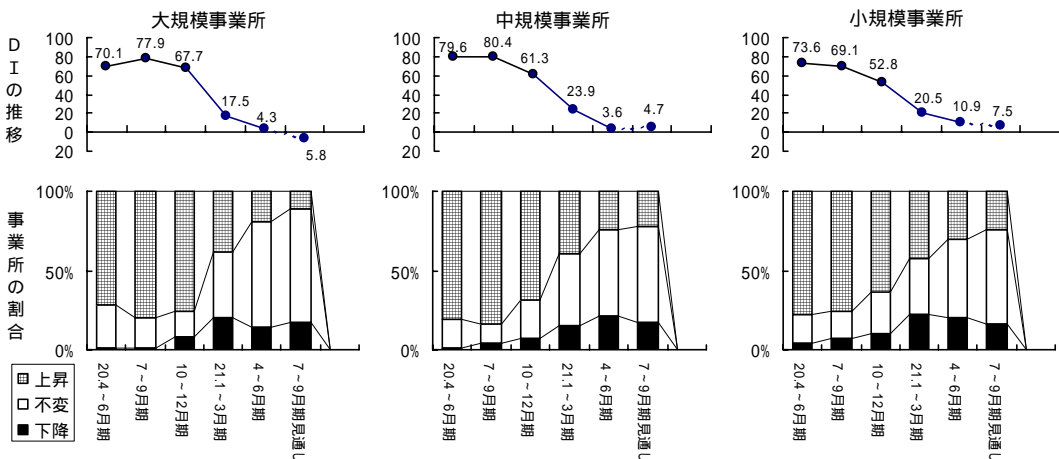
用語の説明については目次裏参照



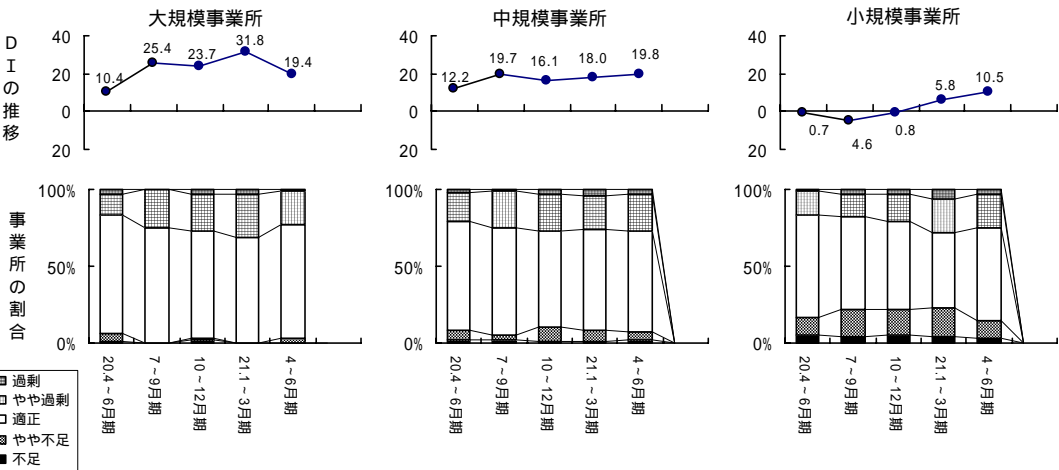
**設問2-1 製(商)品単価**



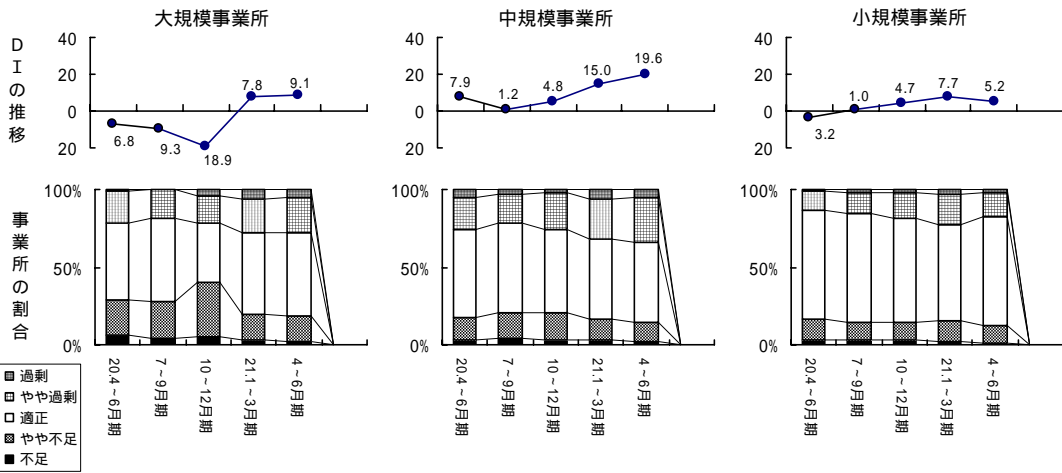
**設問2-2 原材料(仕入)価格**



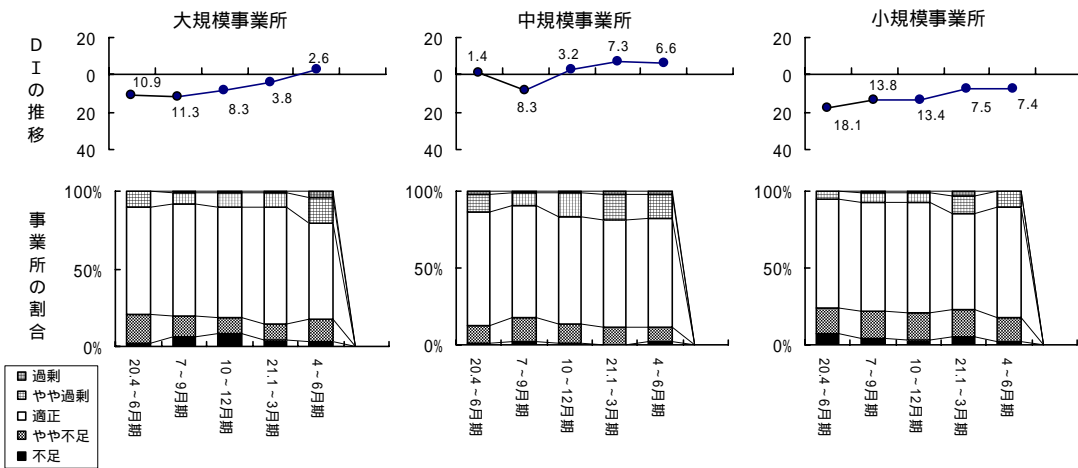
**設問3-1 製(商)品在庫**



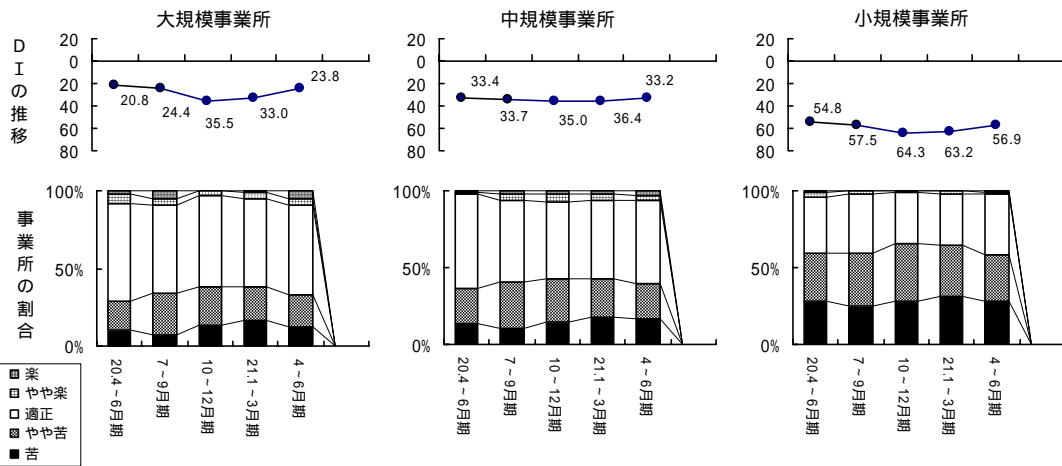
### 設問3-2 労働力



### 設問3-3 生産・営業用設備

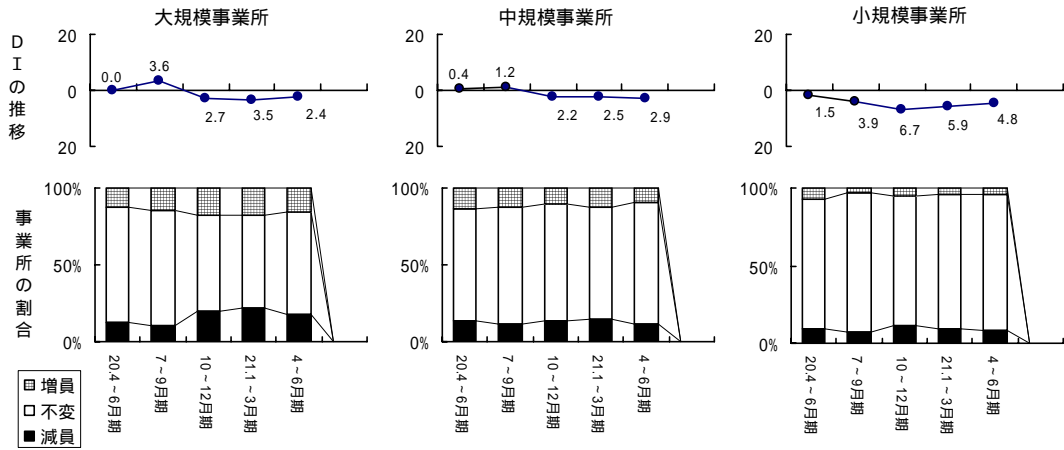


### 設問3-4 資金繰り

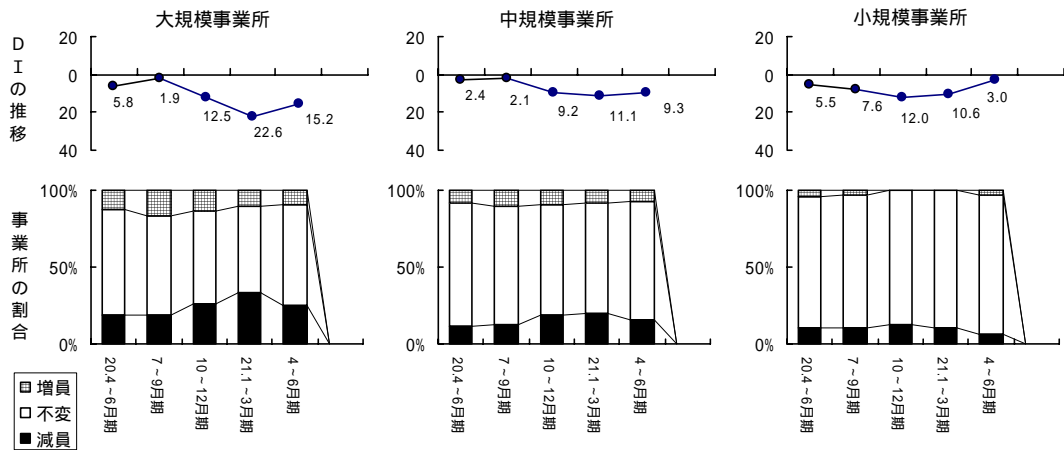




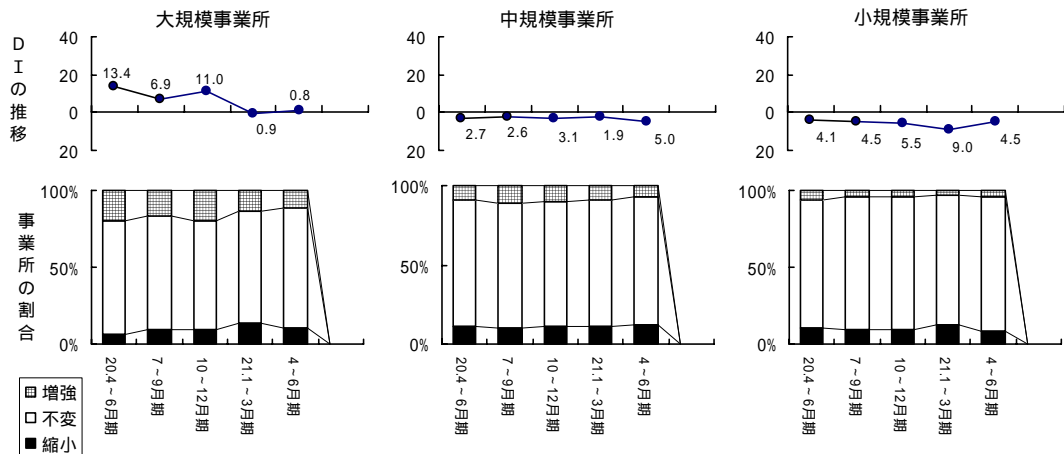
**設問4-1 正規従業員数**



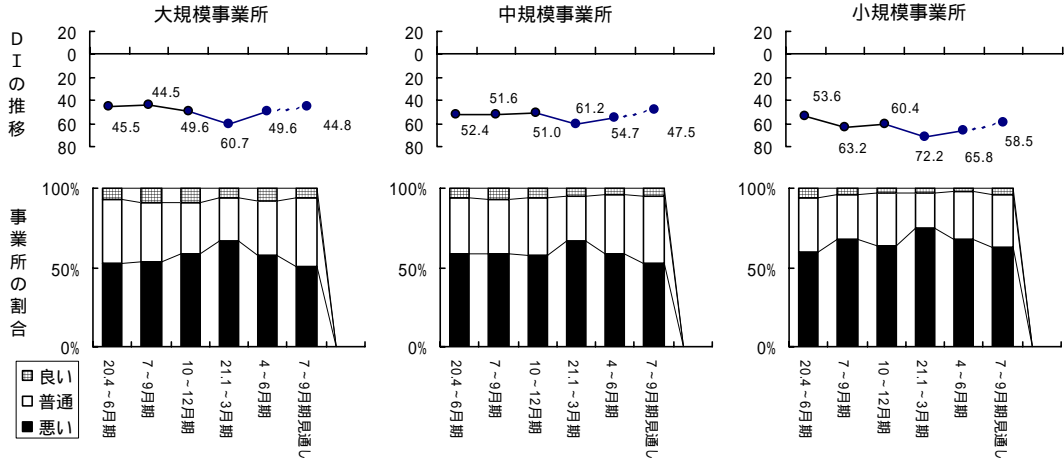
**設問4-2 非正規従業員数**



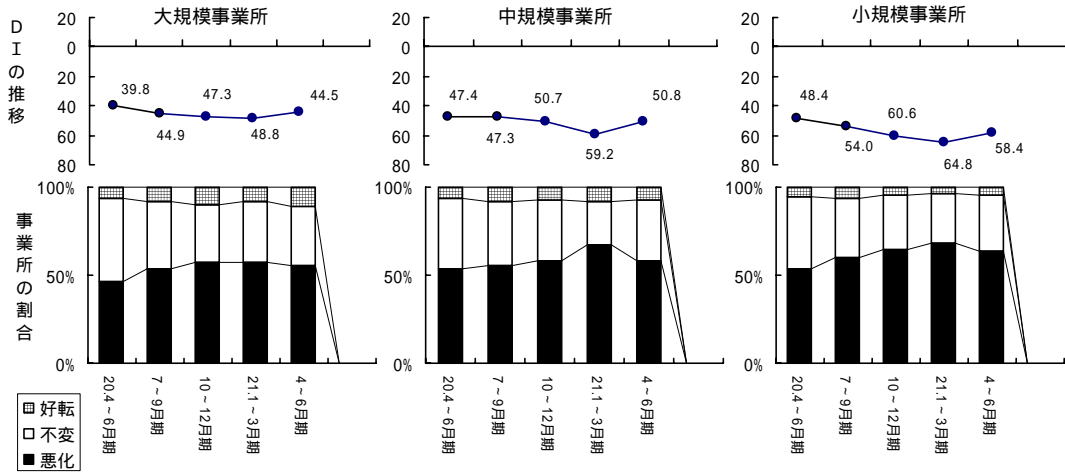
**設問4-3 生産・営業用設備(予定)**



設問5 - 1 事業所の業況(業況の良し悪し)

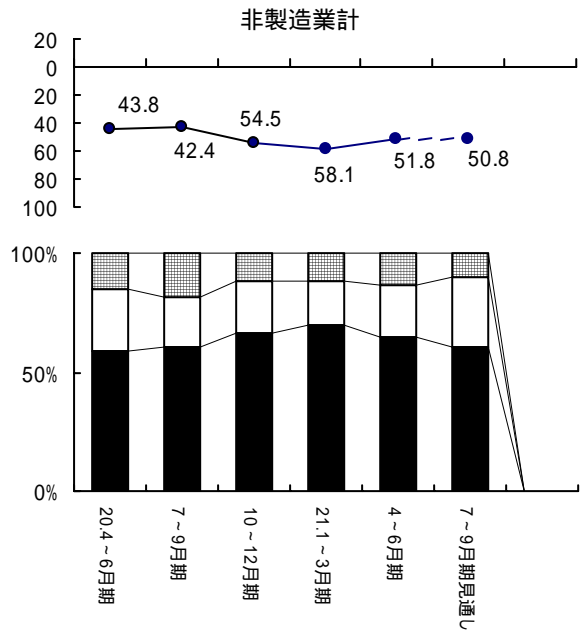
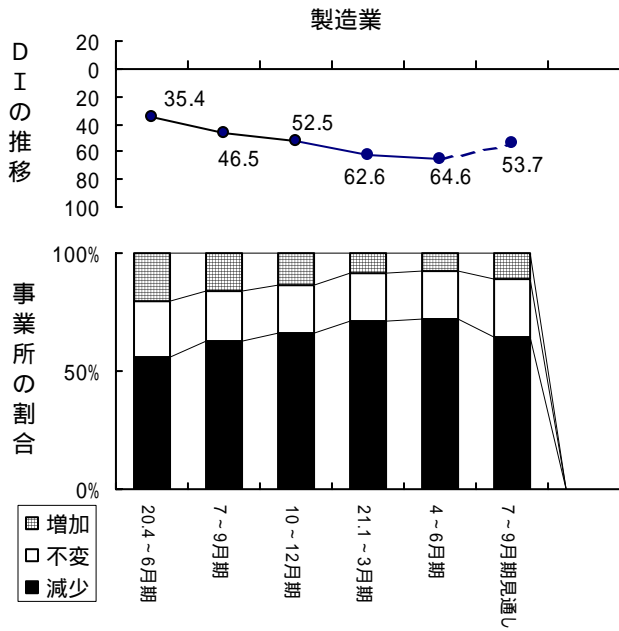


設問6 - 1 事業所の業況(業況の変化)

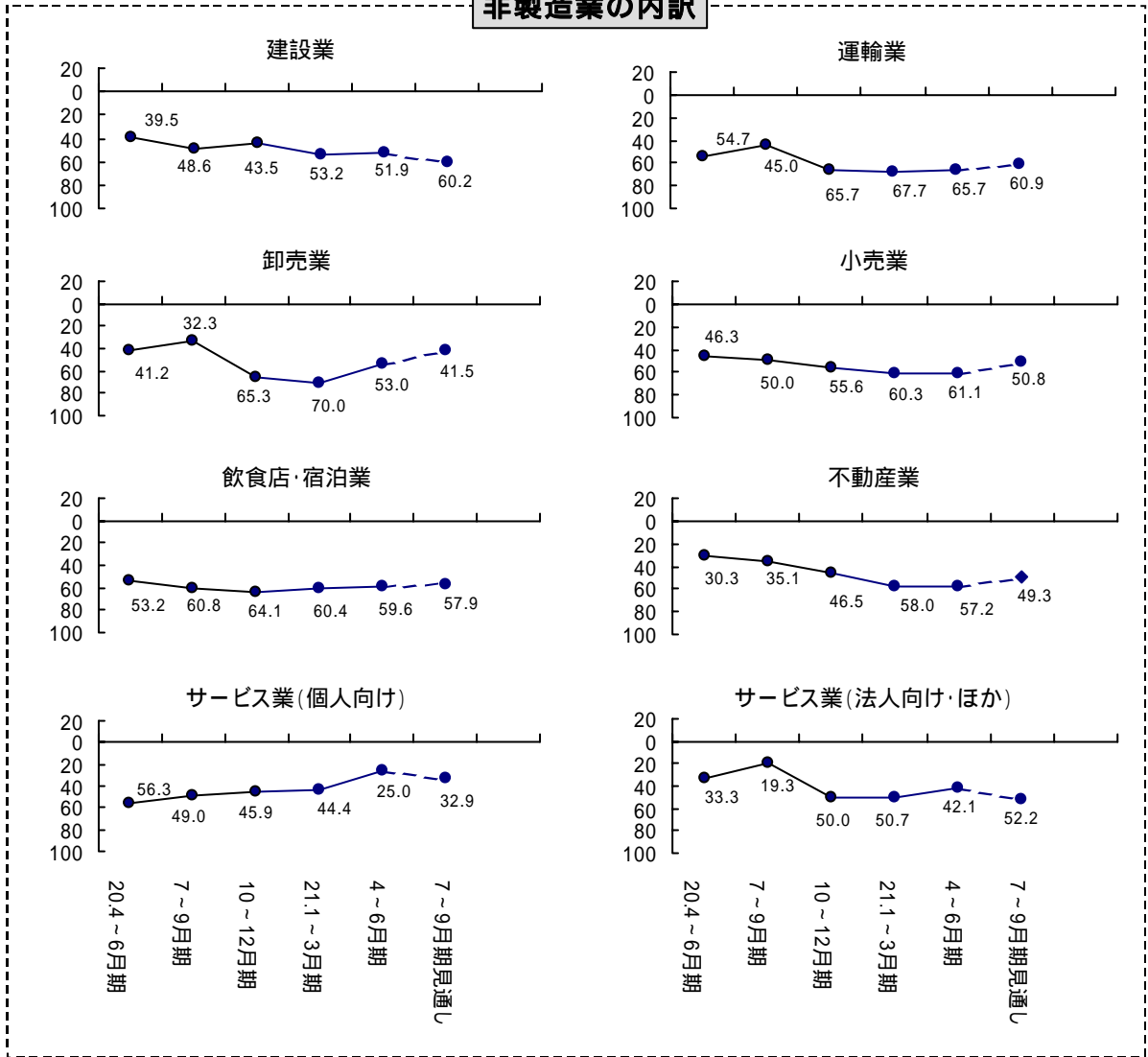


# 業種別 D I

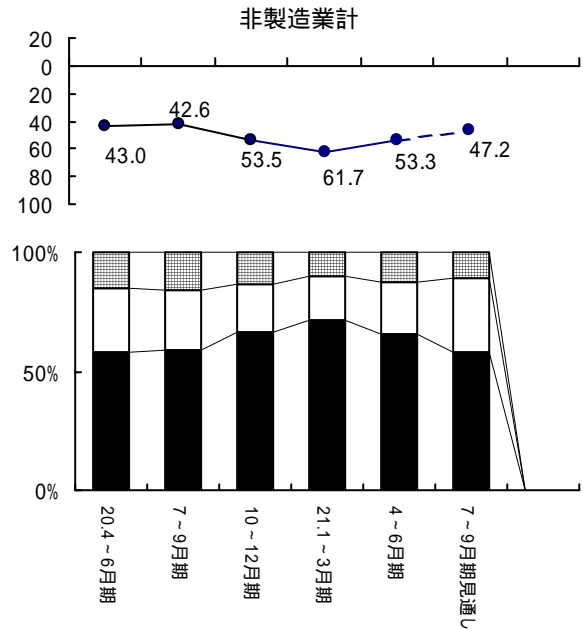
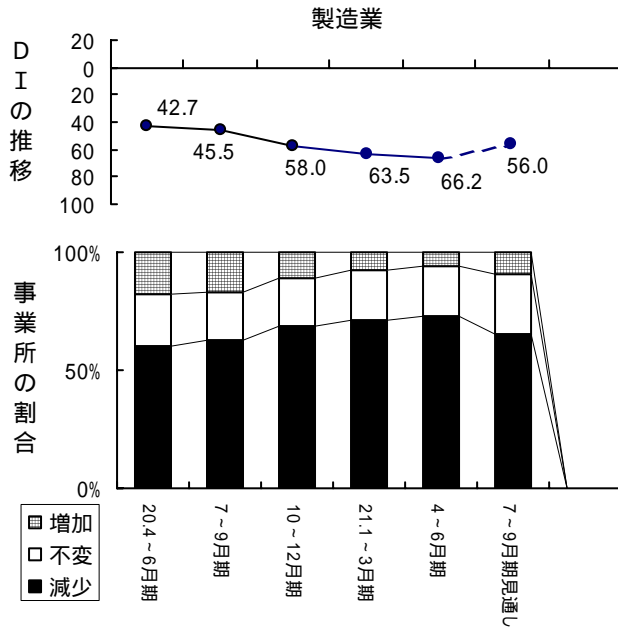
## 設問 1 - 1 売上高



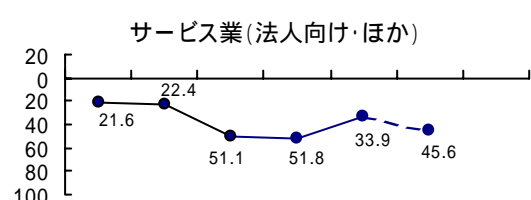
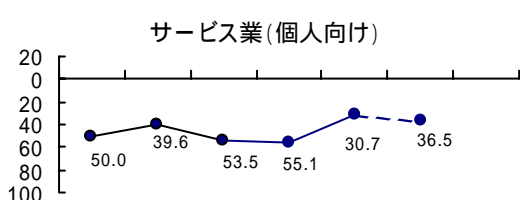
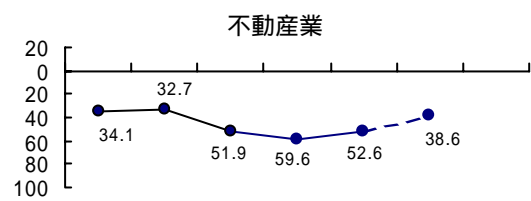
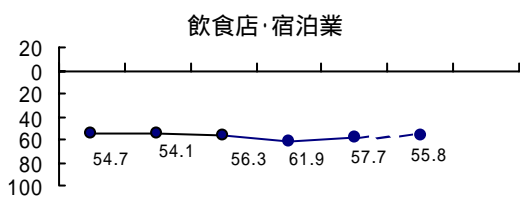
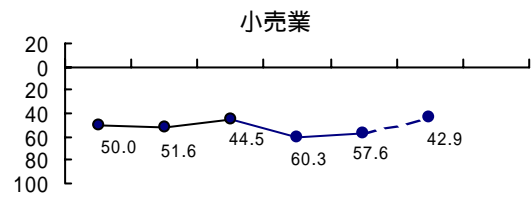
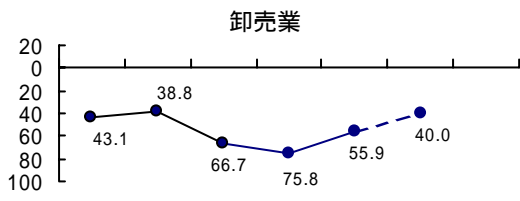
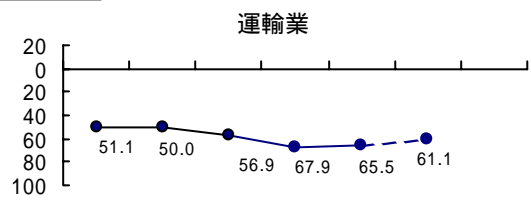
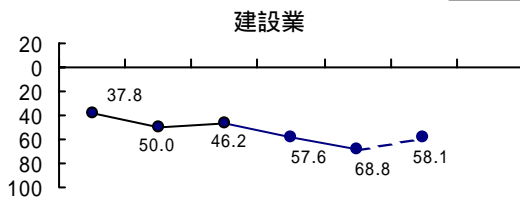
## 非製造業の内訳



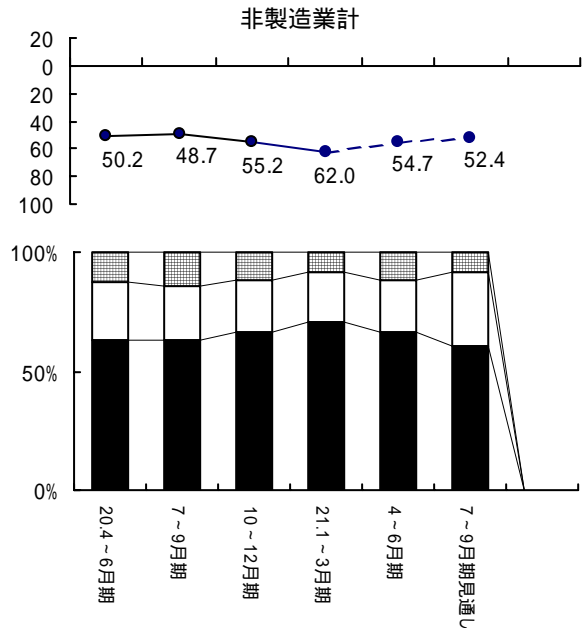
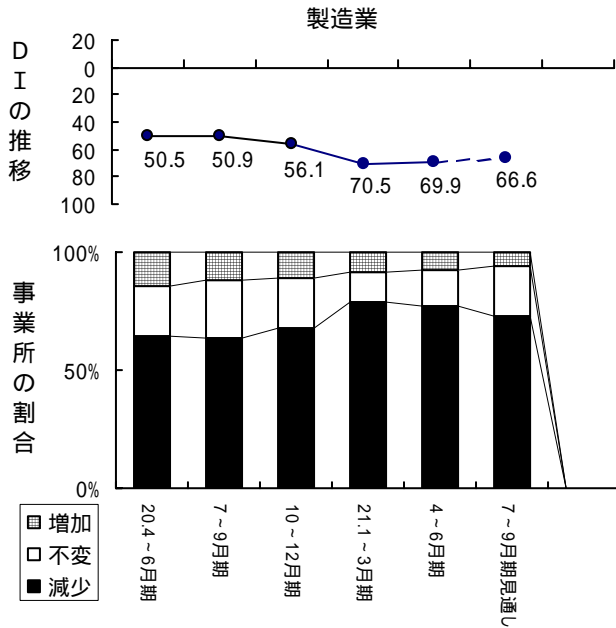
### 設問1-2 販売数量



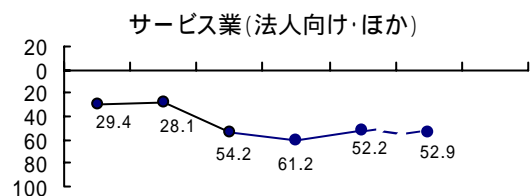
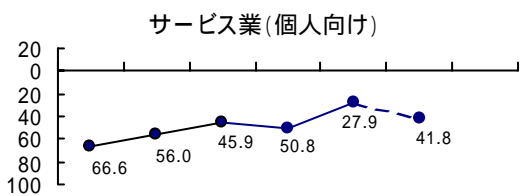
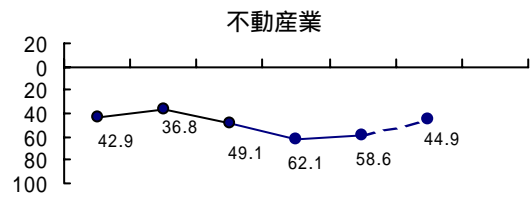
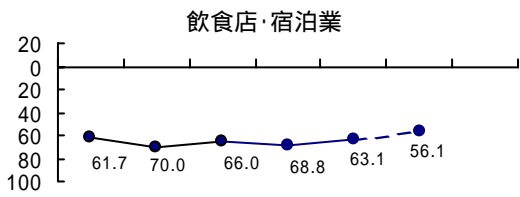
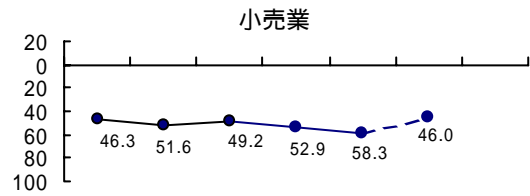
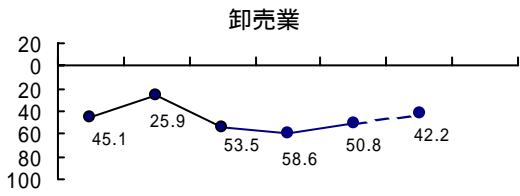
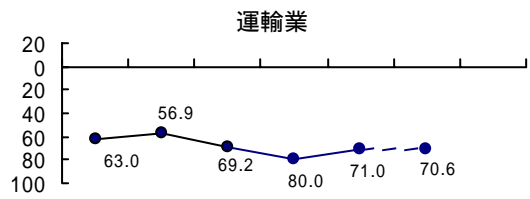
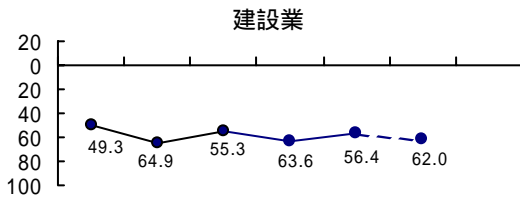
### 非製造業の内訳



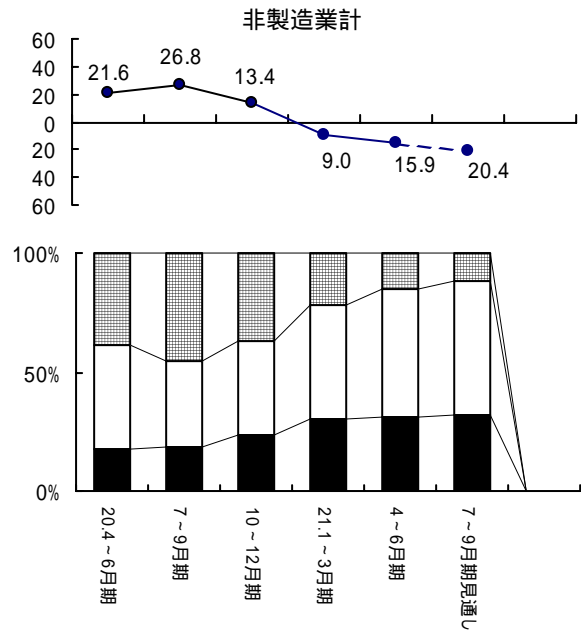
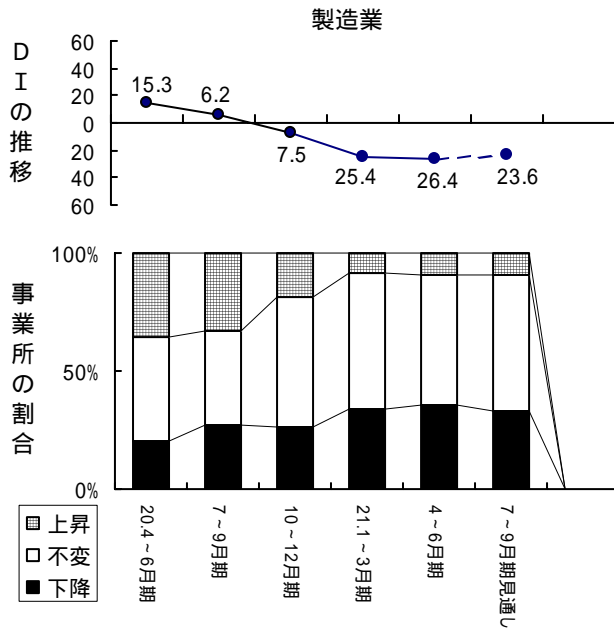
### 設問1-3 経常利益



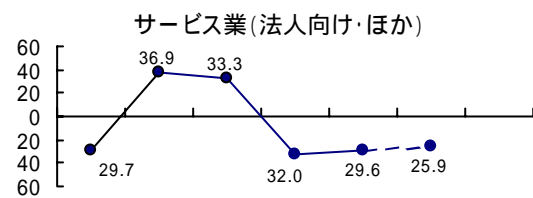
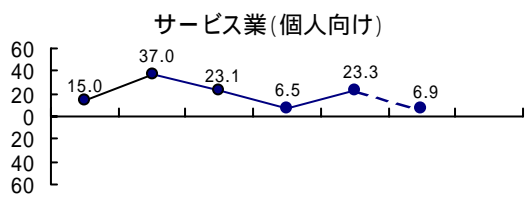
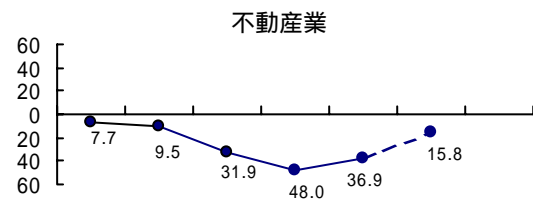
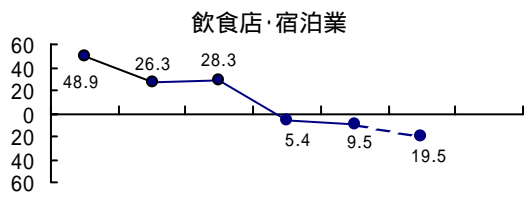
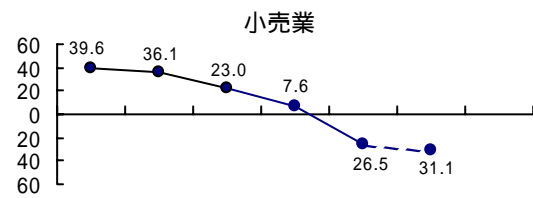
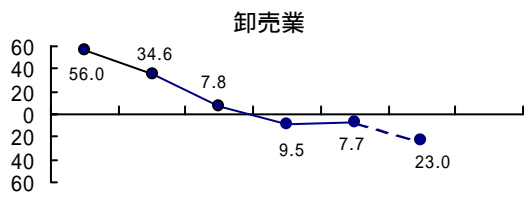
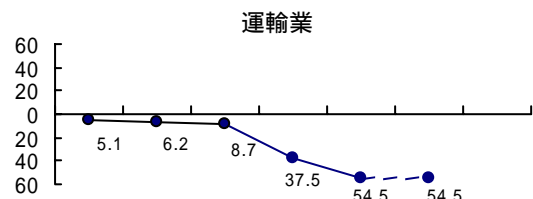
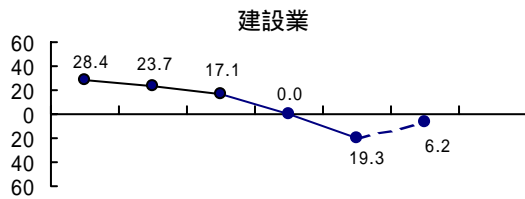
### 非製造業の内訳



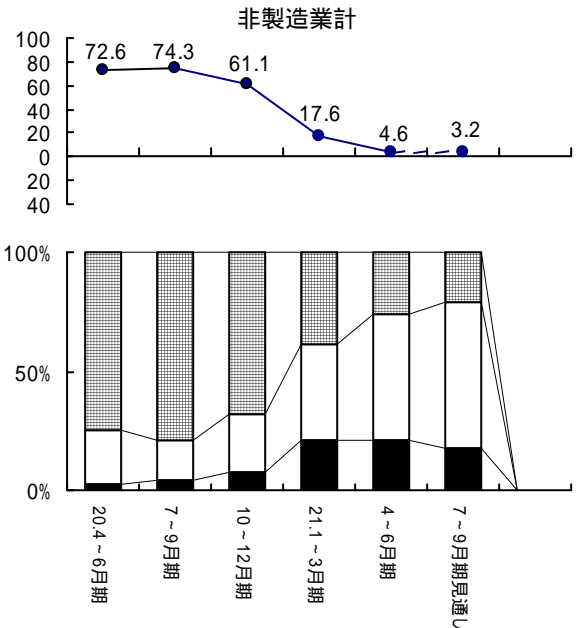
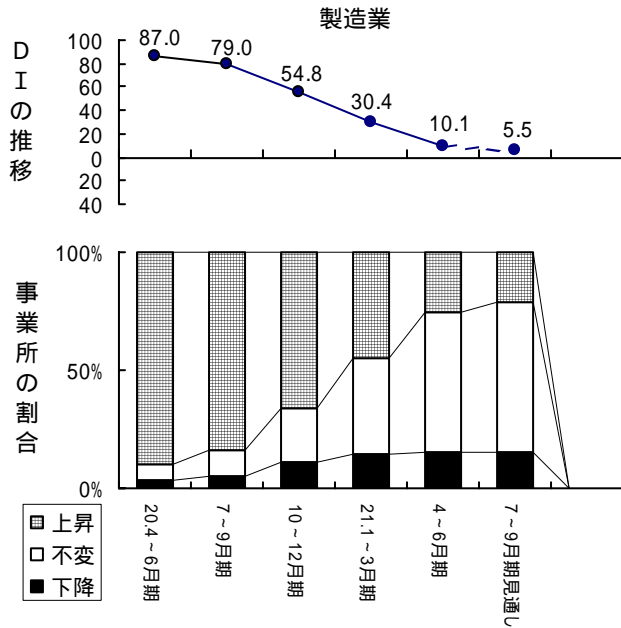
### 設問2 - 1 製(商)品単価



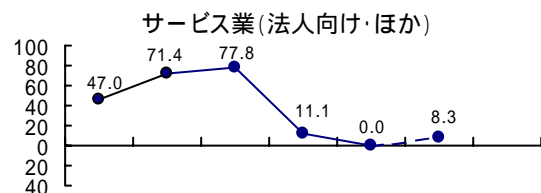
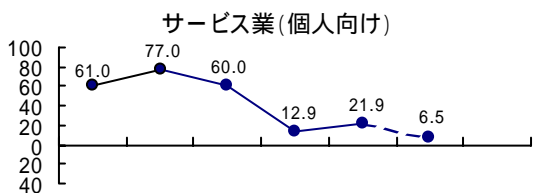
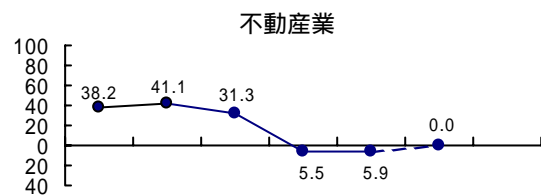
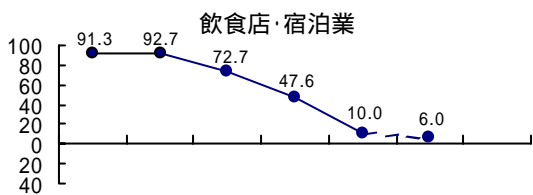
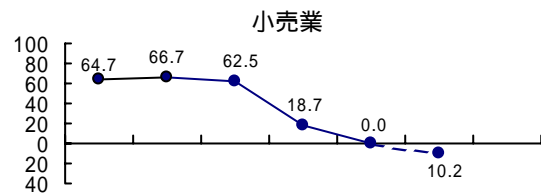
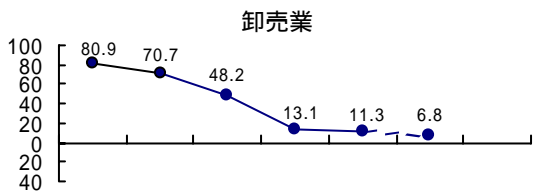
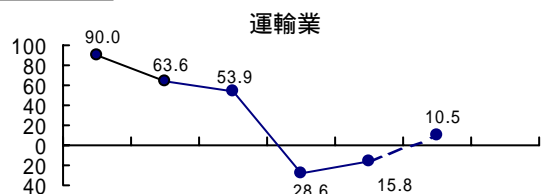
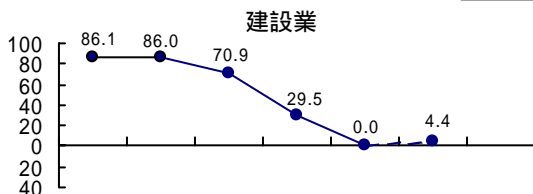
### 非製造業の内訳



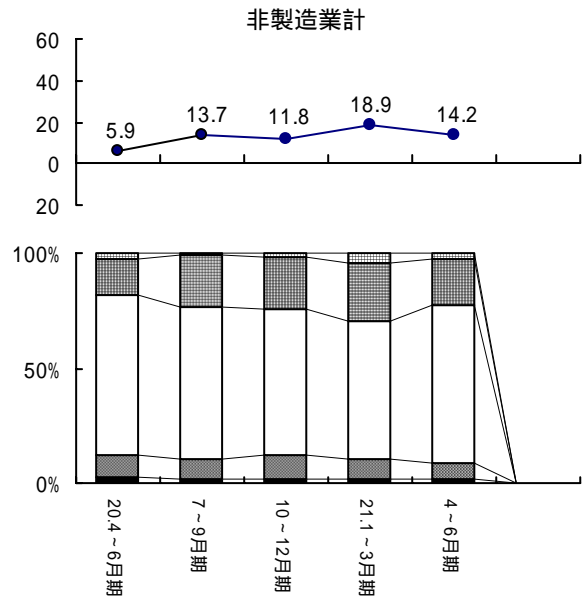
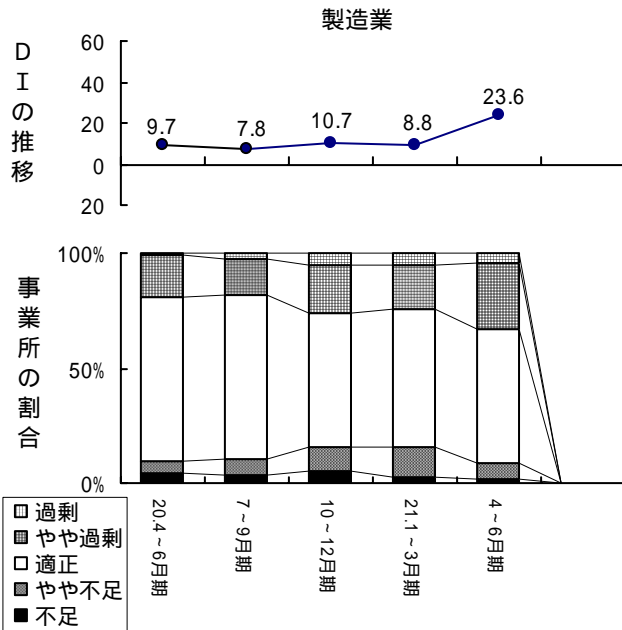
### 設問2 - 2 原材料(仕入)価格



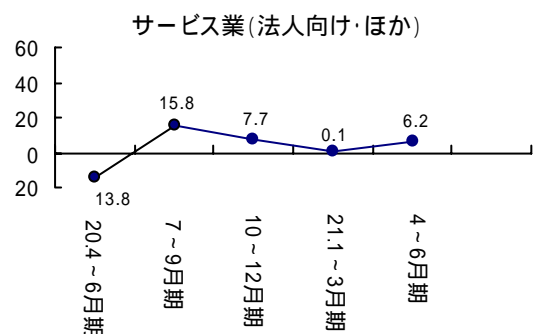
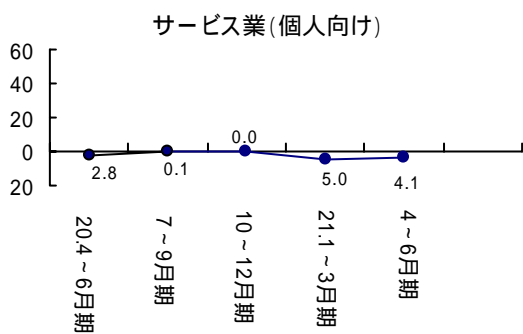
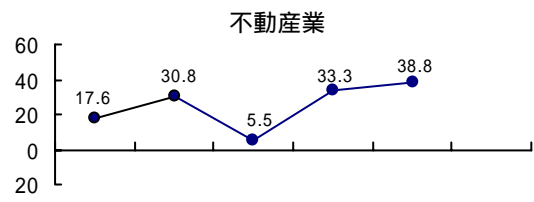
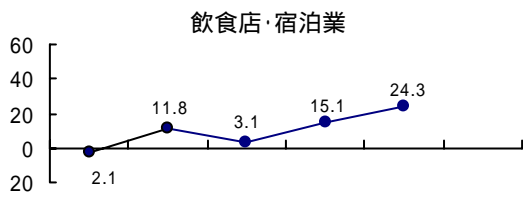
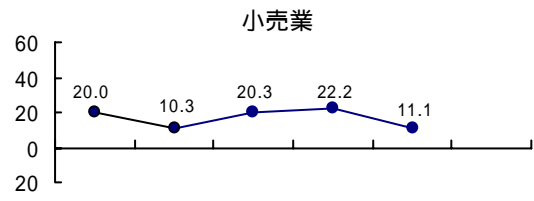
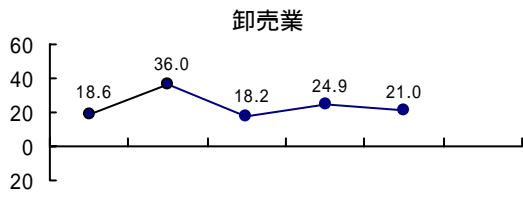
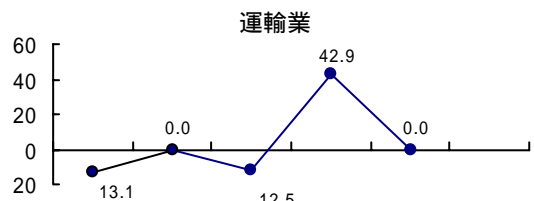
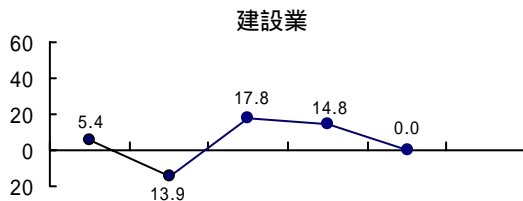
### 非製造業の内訳



### 設問3 - 1 製(商)品在庫

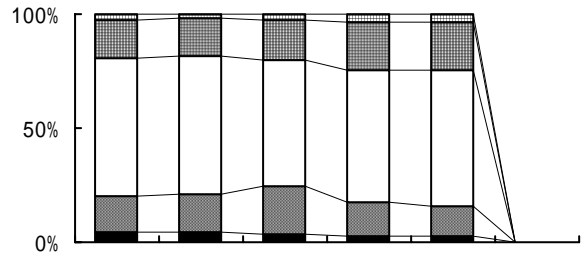
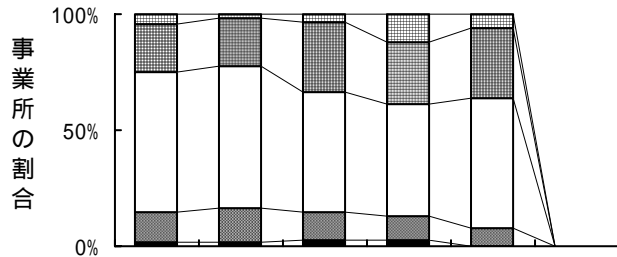
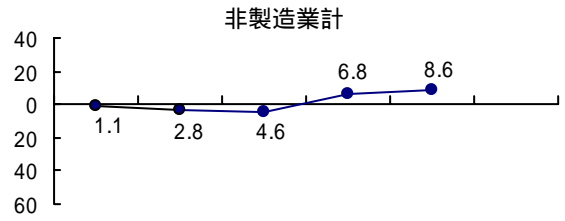
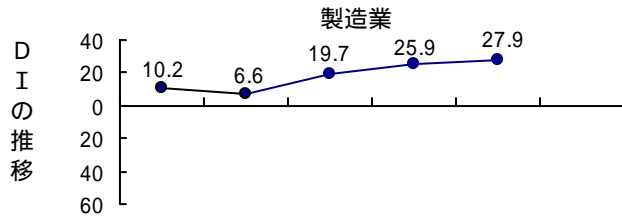


### 非製造業の内訳



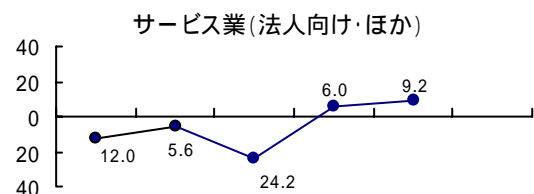
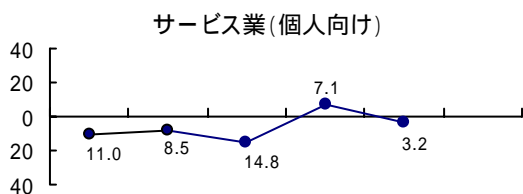
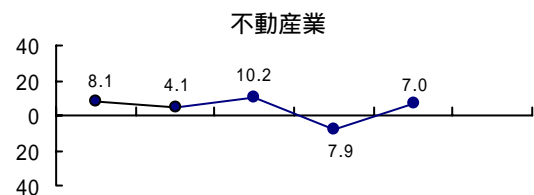
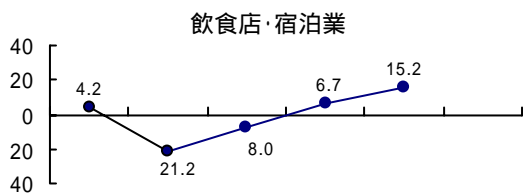
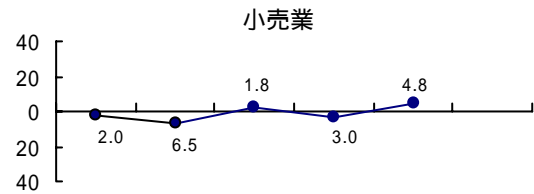
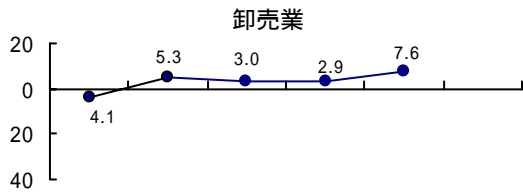
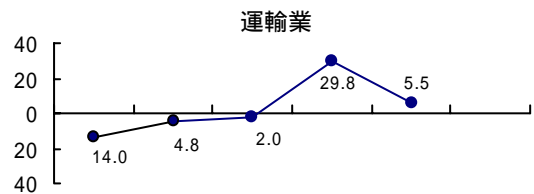
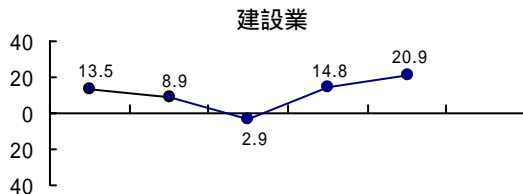


### 設問3 - 2 労働力

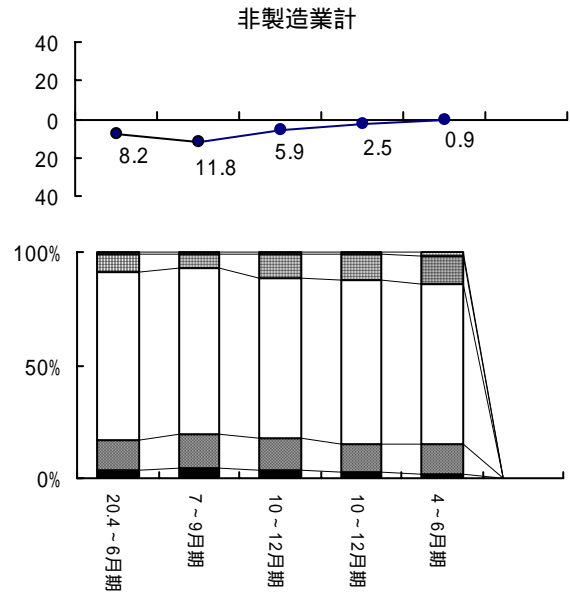
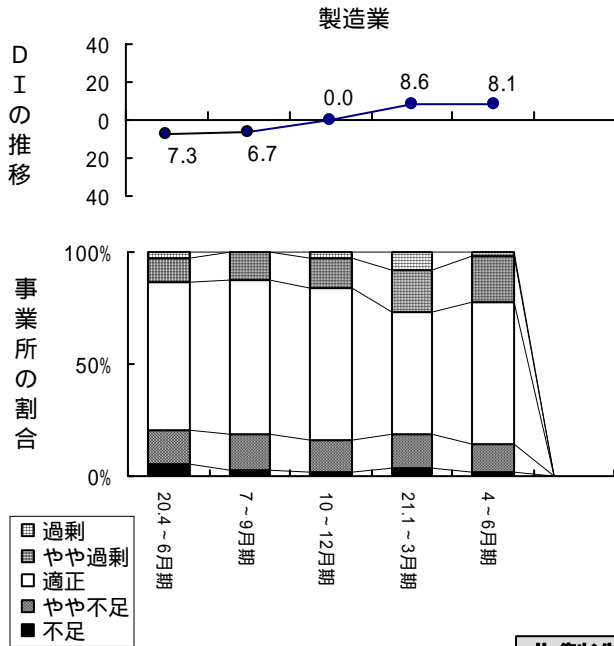


- 過剰
- ▨ やや過剰
- 適正
- ▨ やや不足
- 不足

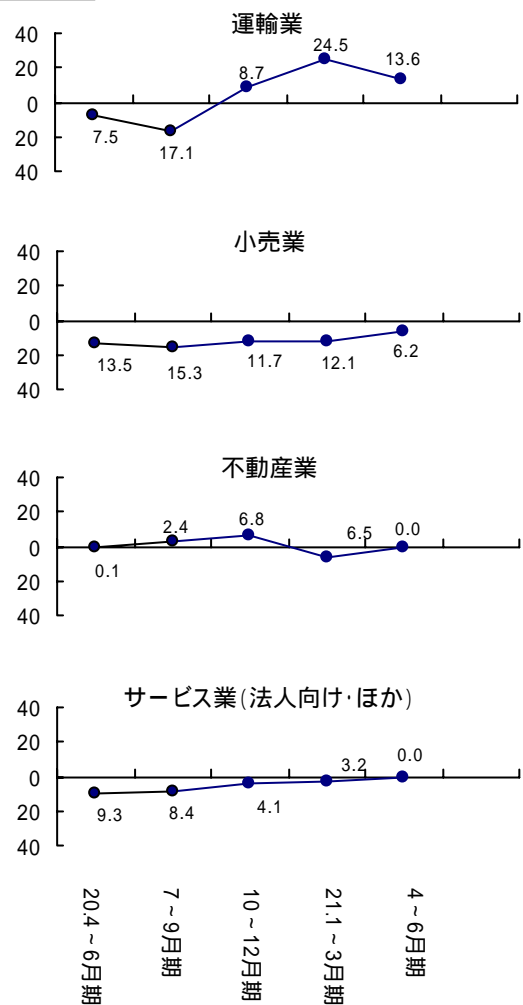
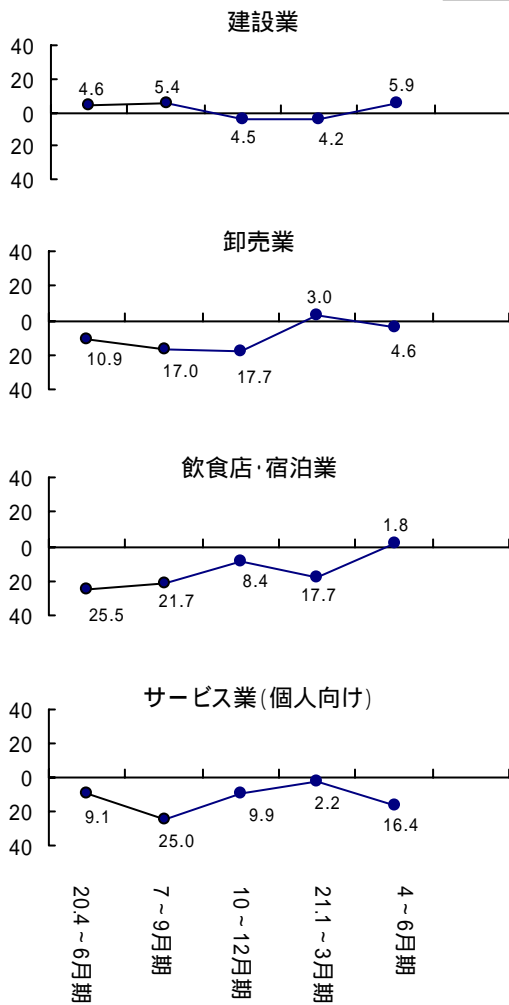
### 非製造業の内訳



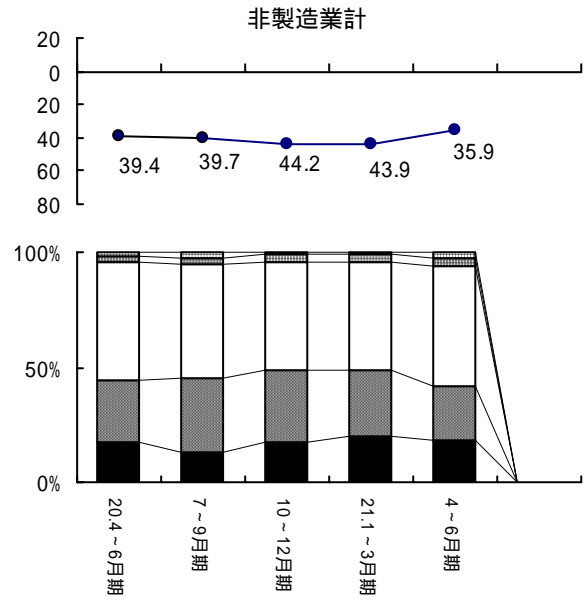
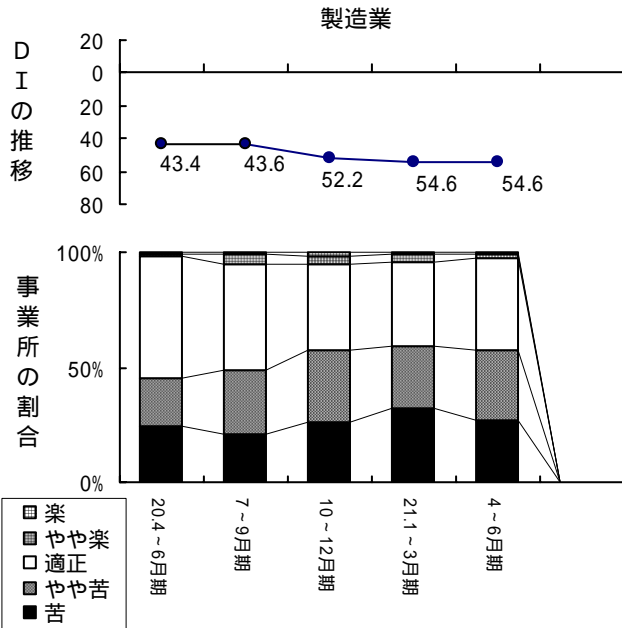
**設問3-3 生産・営業用設備**



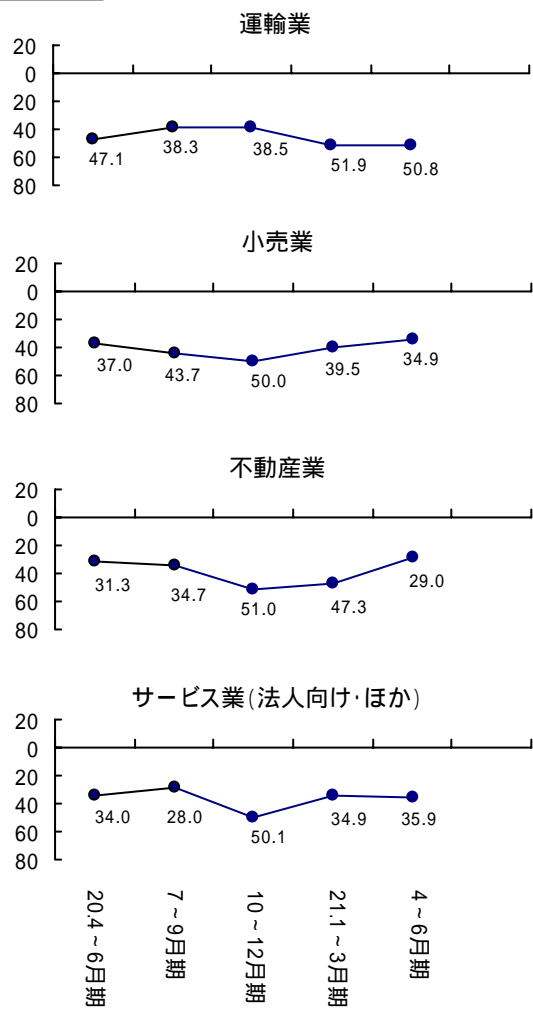
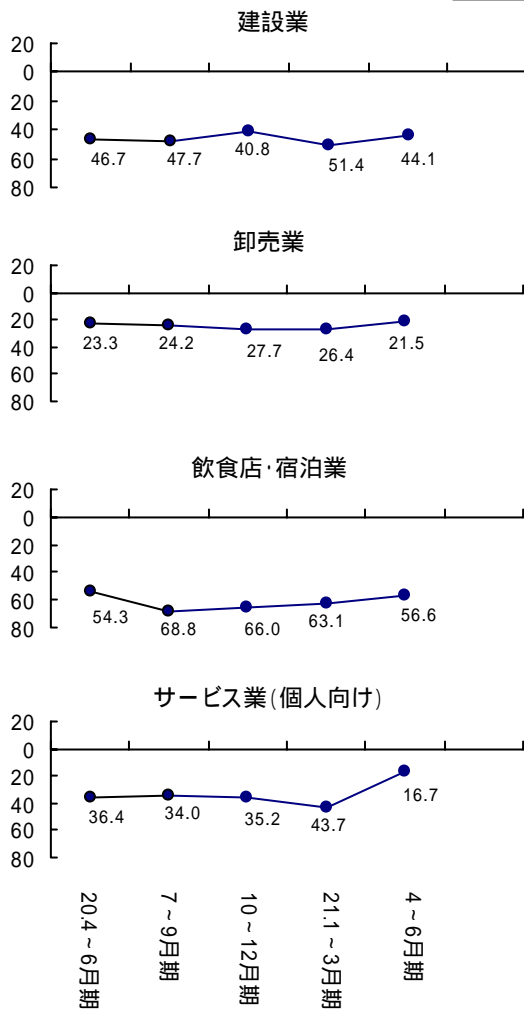
**非製造業の内訳**



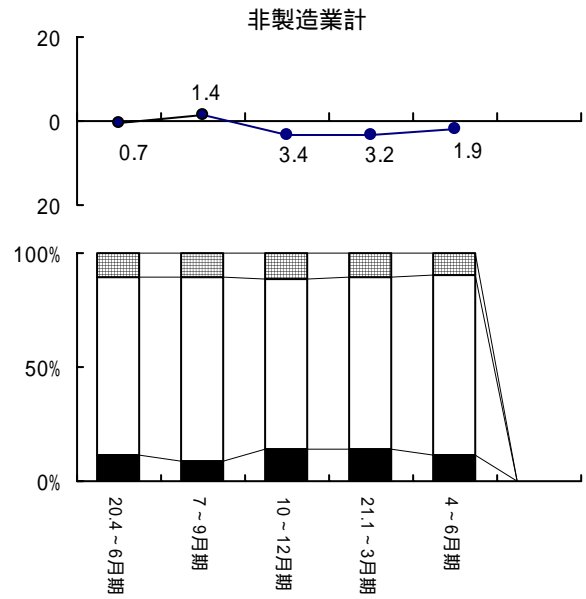
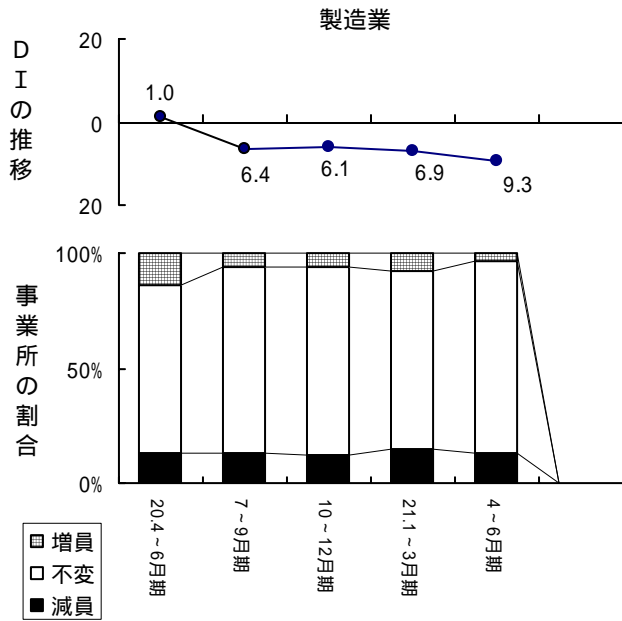
### 設問3 - 4 資金繰り



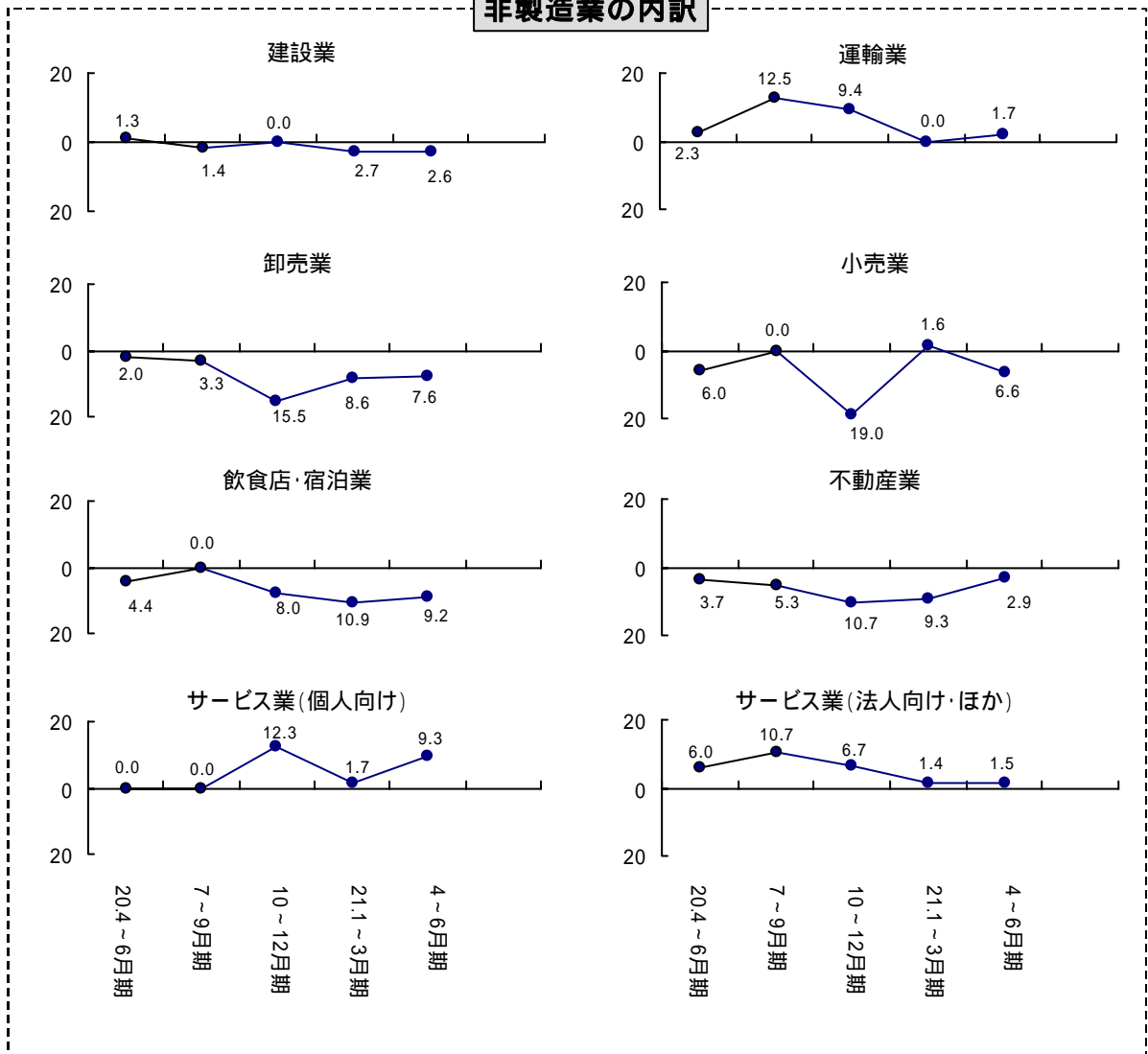
### 非製造業の内訳



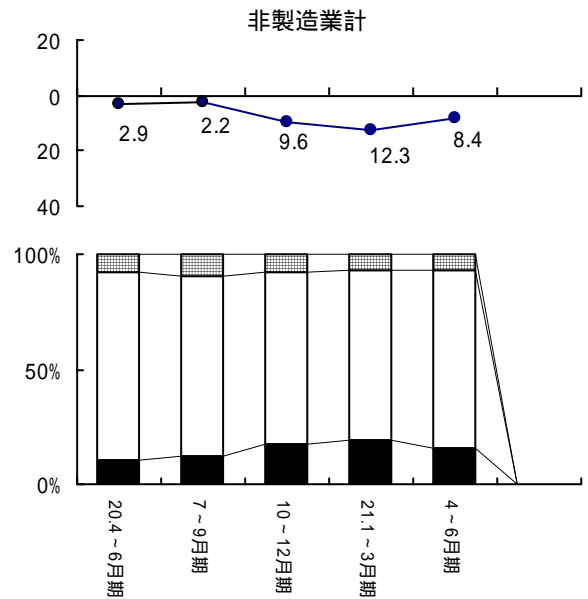
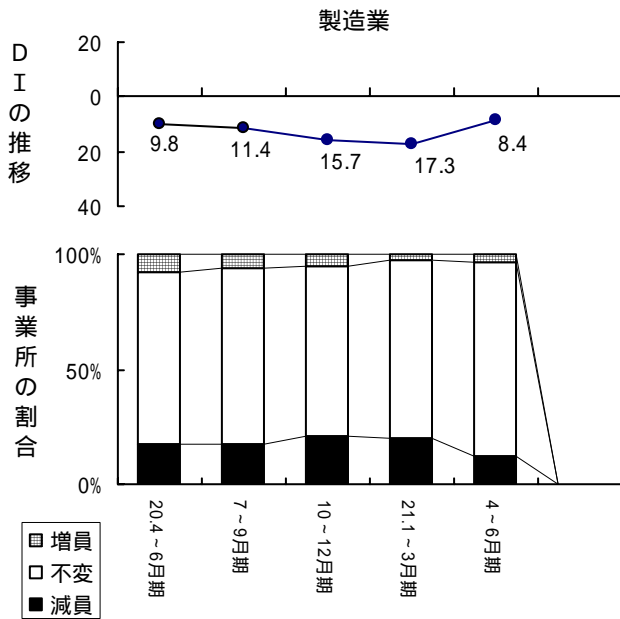
**設問4 - 1 正規従業員数**



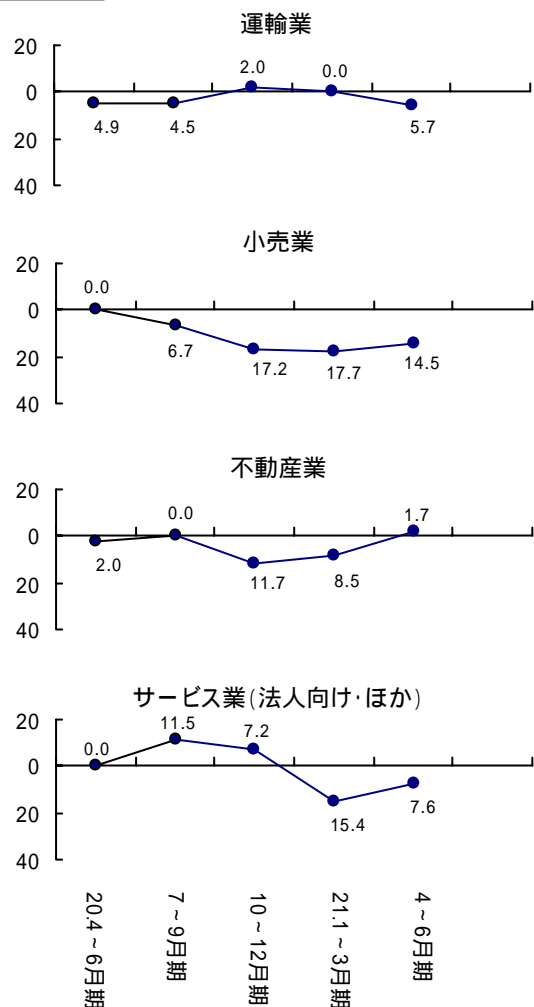
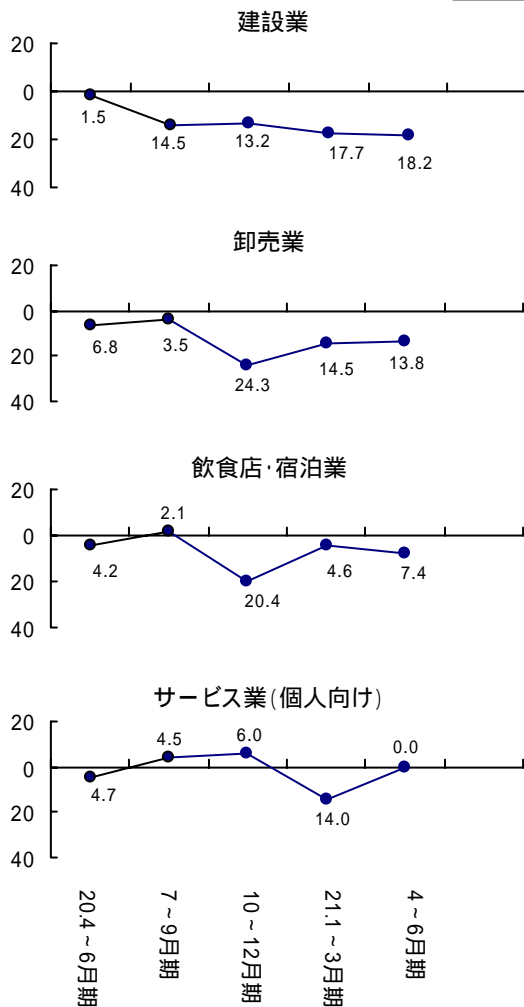
**非製造業の内訳**



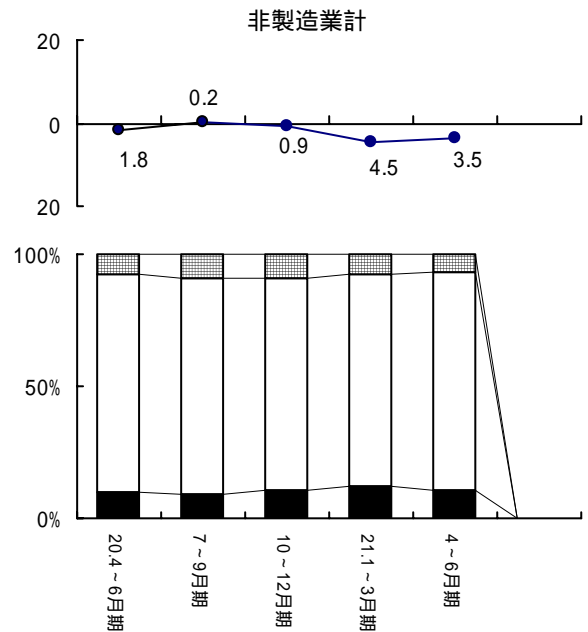
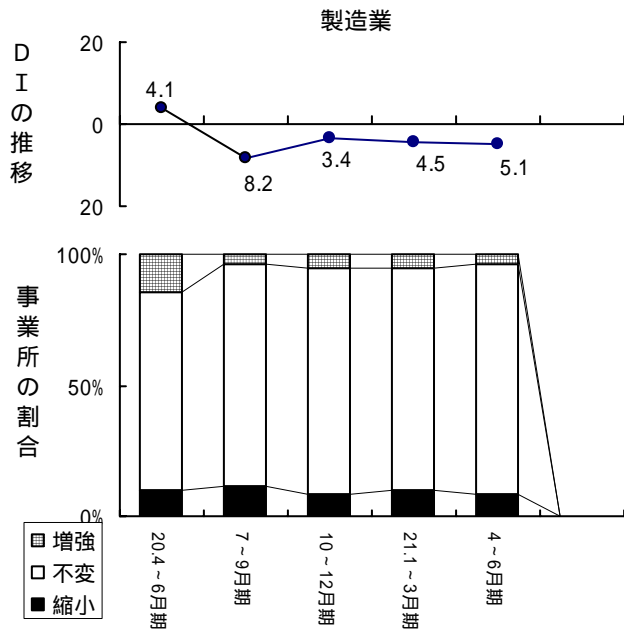
### 設問4 - 2 非正規従業員



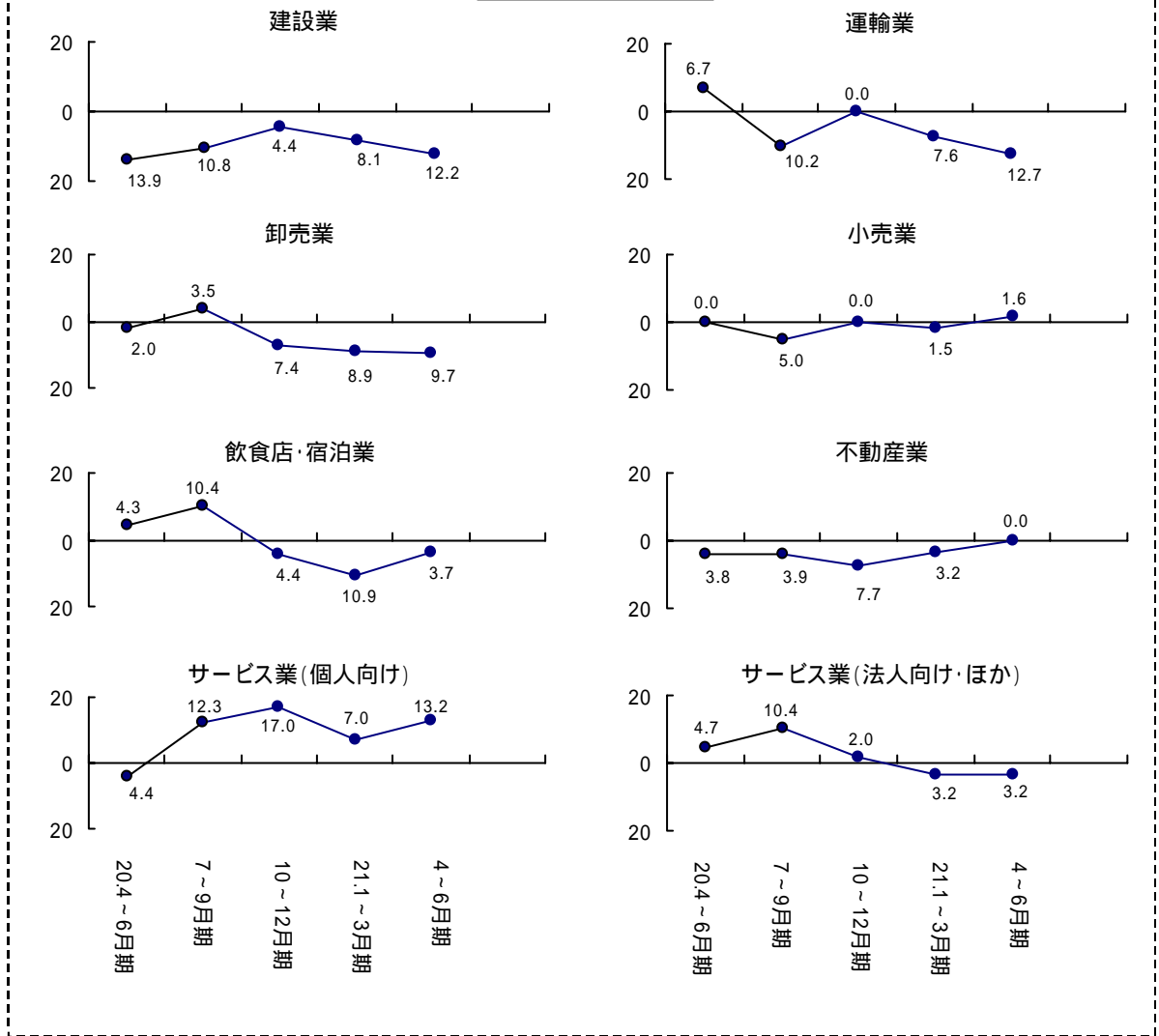
### 非製造業の内訳



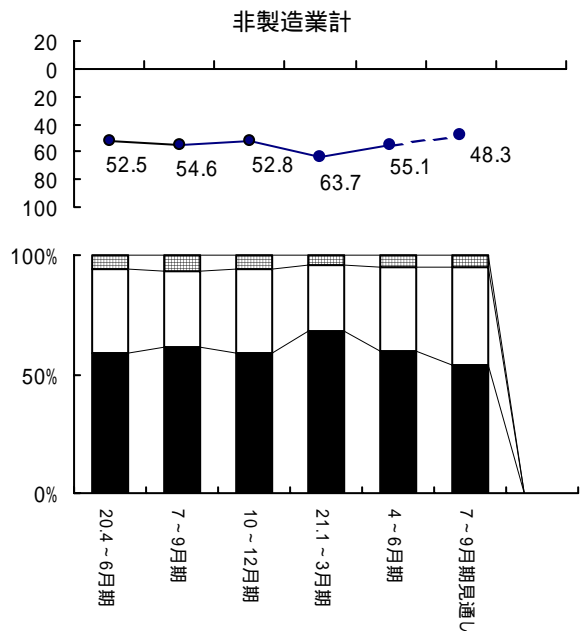
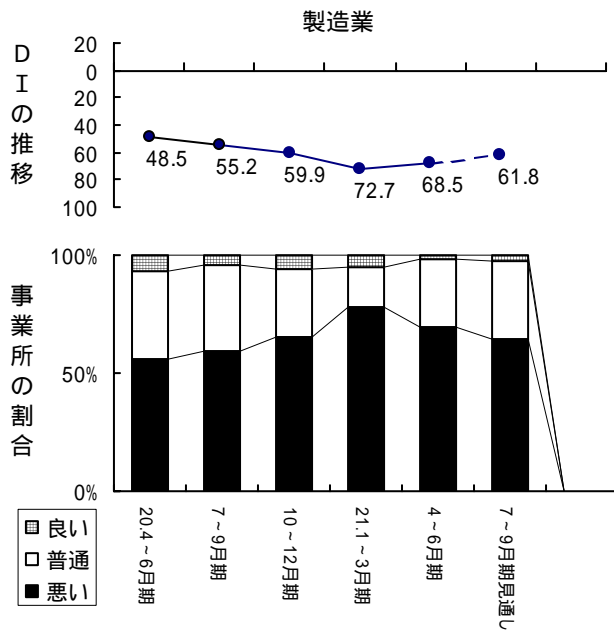
**設問4 - 3 生産・営業用設備(予定)**



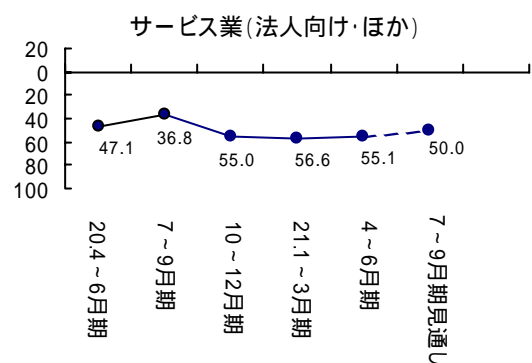
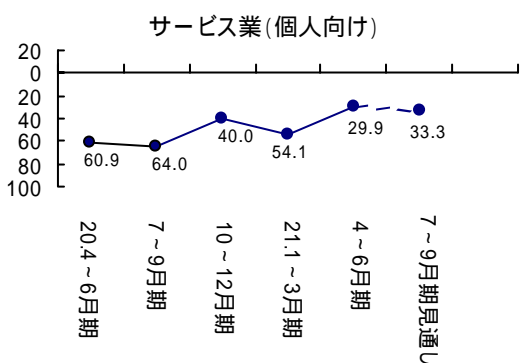
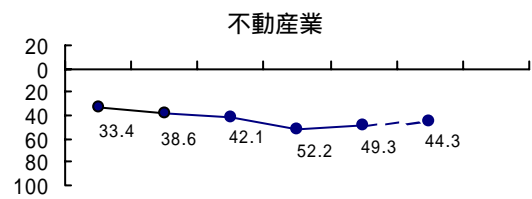
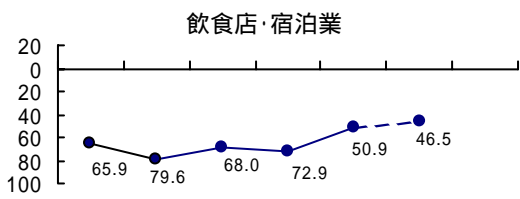
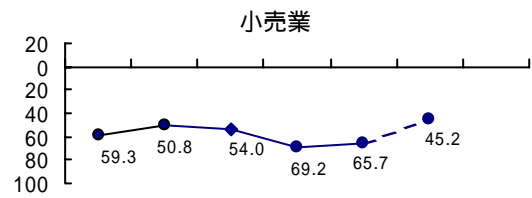
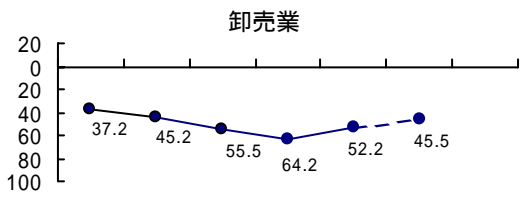
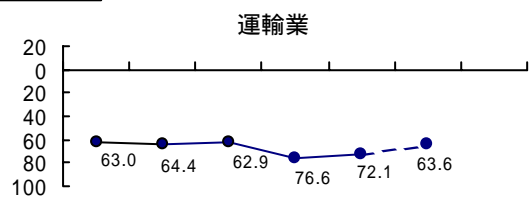
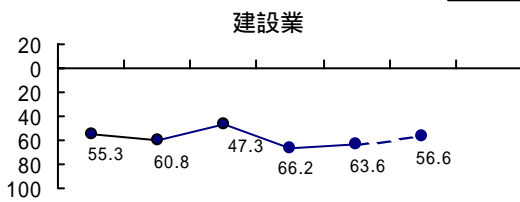
**非製造業の内訳**



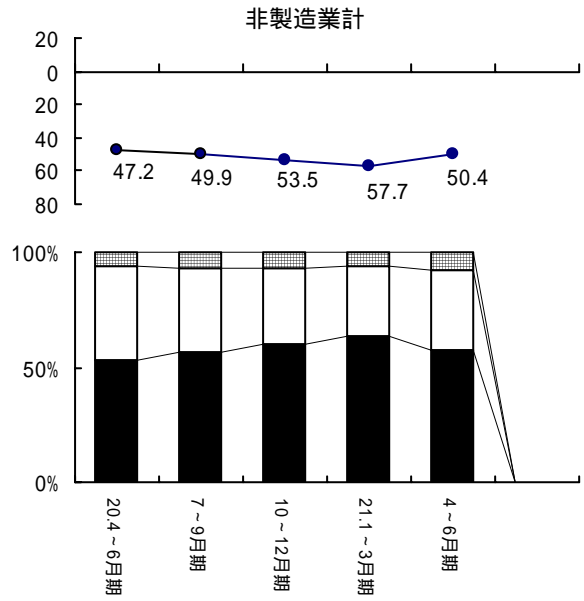
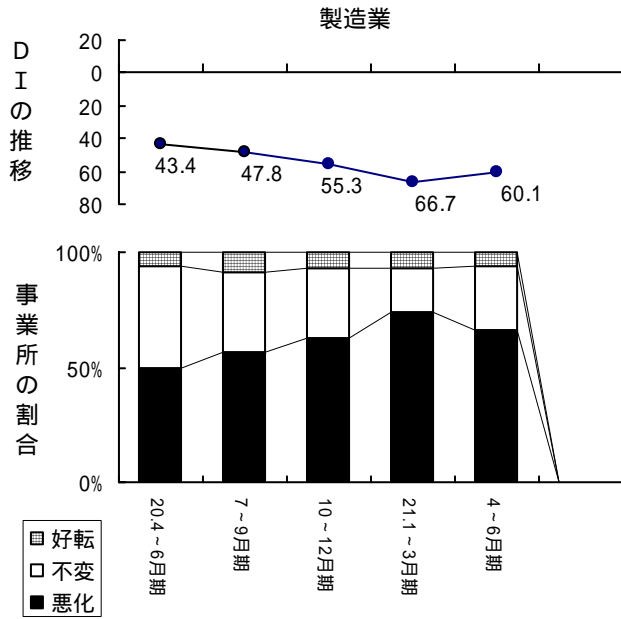
設問5 - 1 事業所の業況(業況の良し悪し)



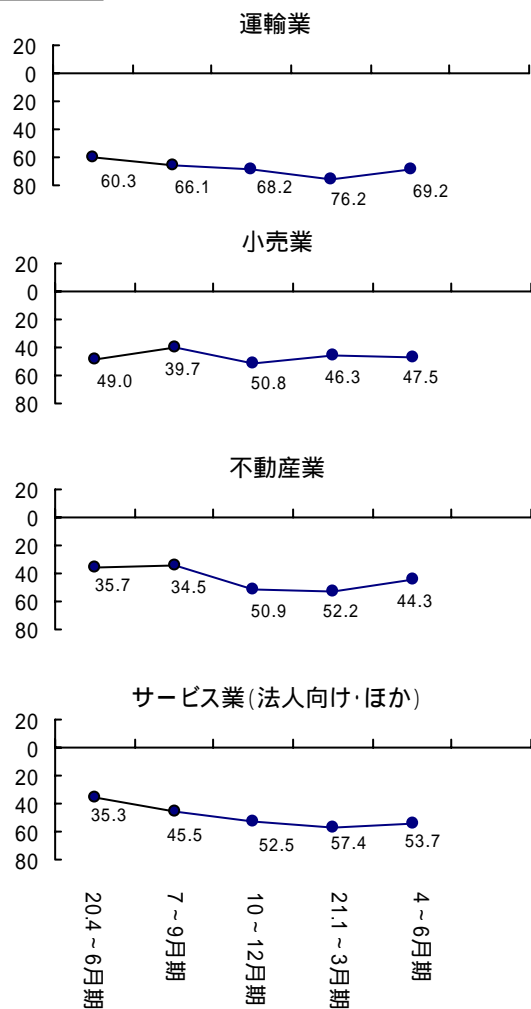
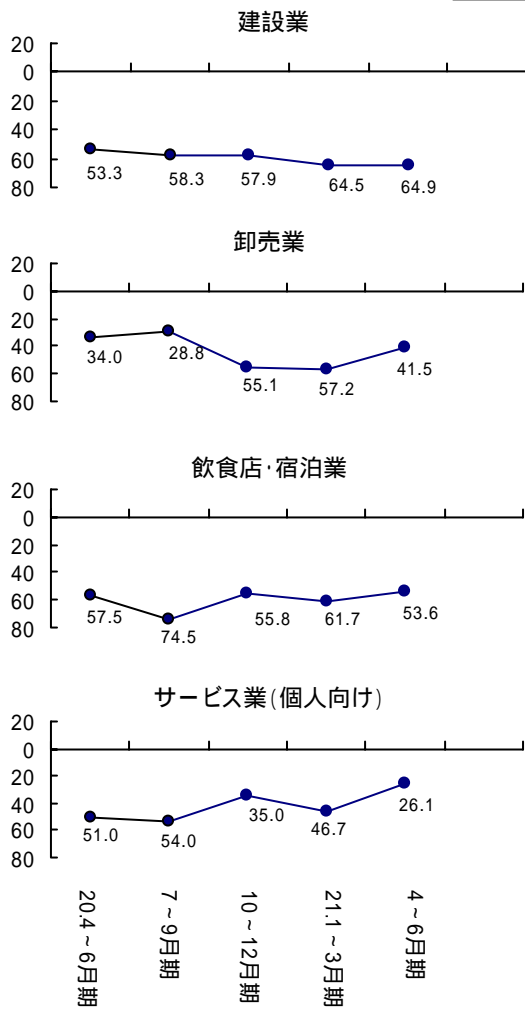
非製造業の内訳



### 設問6-1 事業所の業況(業況の変化)



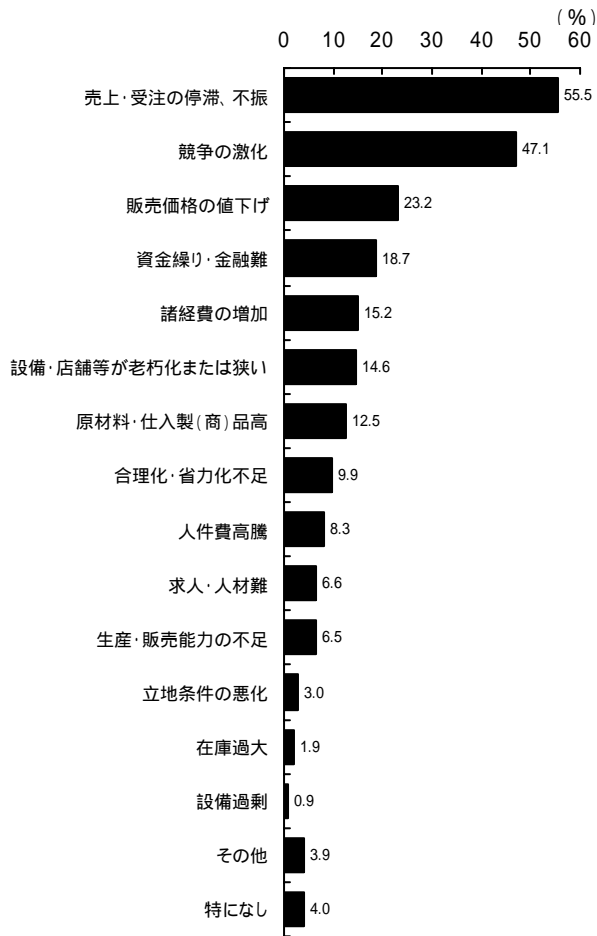
### 非製造業の内訳



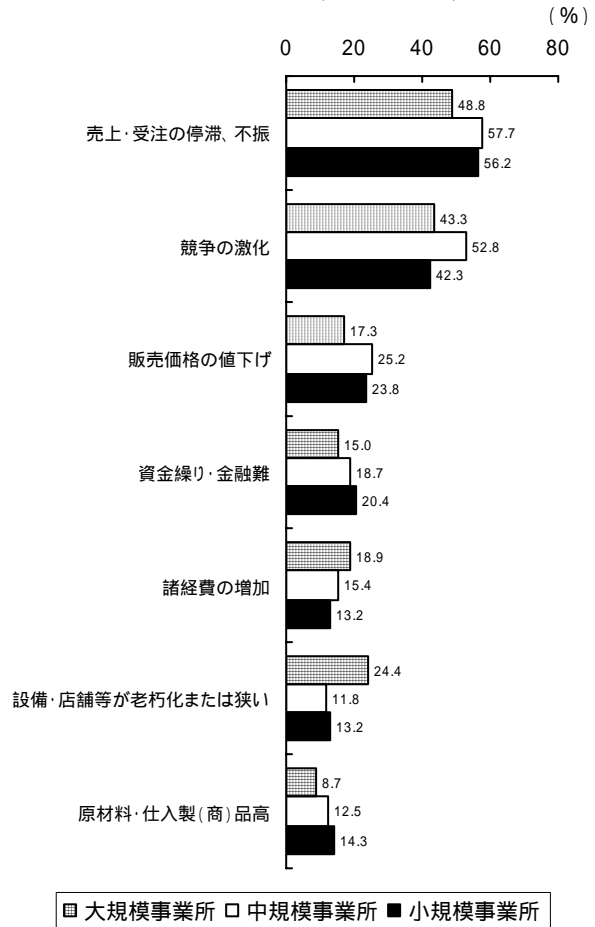


## 経営上の課題

当面の経営上の課題(全業種計)



当面の経営上の課題(規模別・抜粋)



当面の経営上の課題(業種別・抜粋)

製造業	非製造業
1 売上・受注の停滞、不振(75.0%)	1 売上・受注の停滞、不振(50.3%)
2 競争の激化(41.2%)	2 競争の激化(48.6%)
3 販売価格の値下げ(29.7%)	3 販売価格の値下げ(21.5%)

建設業	運輸業	卸売業
1 売上・受注の停滞、不振(77.2%)	1 競争の激化(55.7%)	1 売上・受注の停滞、不振(58.8%)
2 競争の激化(70.9%)	2 売上・受注の停滞、不振(50.0%)	2 競争の激化(55.9%)
3 販売価格の値下げ(20.3%)	3 諸経費の増加(28.6%)	3 販売価格の値下げ(36.8%)

小売業	飲食店・宿泊業	不動産業
1 競争の激化(49.3%)	1 売上・受注の停滞、不振(64.9%)	1 競争の激化(38.0%)
2 売上・受注の停滞、不振(35.8%)	2 設備・店舗等が老朽化または狭い(35.1%)	2 売上・受注の停滞、不振(33.8%)
3 販売価格の値下げ(19.4%)	3 競争の激化(33.3%)	3 販売価格の値下げ(31.0%)
4 設備・店舗等が老朽化または狭い(19.4%)	3 資金繰り・金融難(33.3%)	

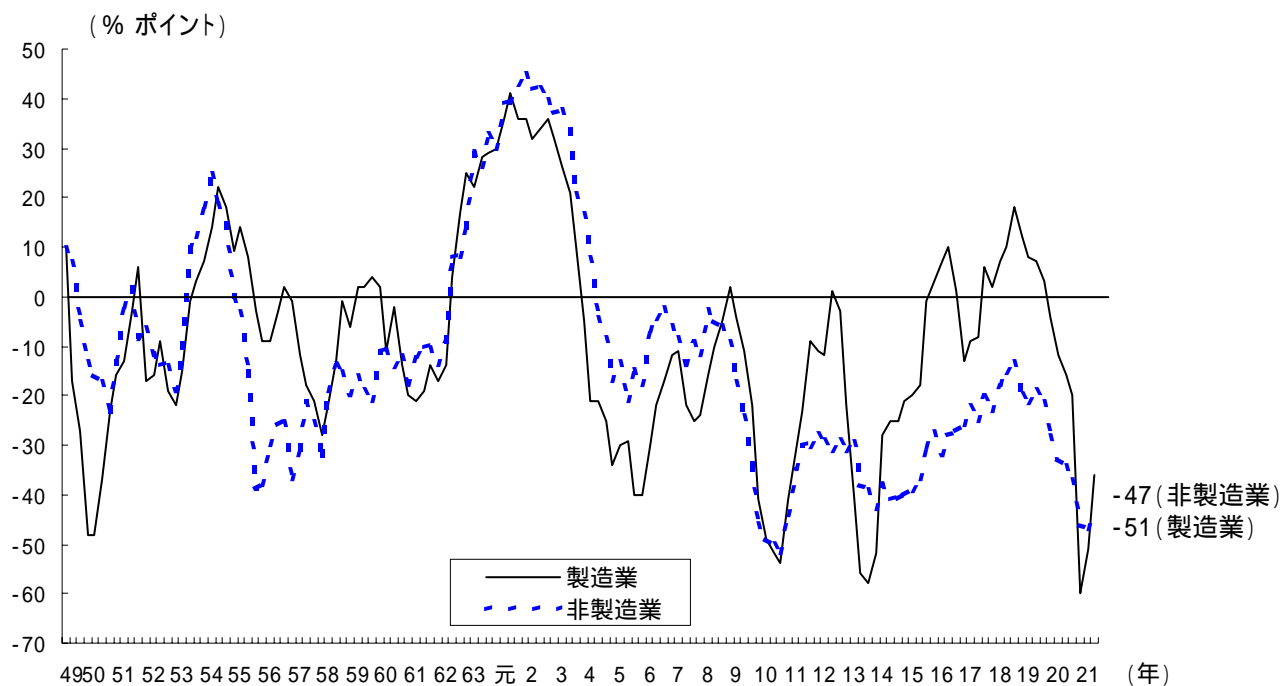
サービス業(個人向け)	サービス業(法人向け・ほか)
1 競争の激化(32.4%)	1 売上・受注の停滞、不振(55.1%)
2 売上・受注の停滞、不振(25.0%)	2 競争の激化(47.8%)
2 設備・店舗等が老朽化または狭い(25.0%)	3 販売価格の値下げ(26.1%)
2 人件費高騰(25.0%)	

## (2) 東北、全国の調査結果

### 東北

日本銀行仙台支店「全国企業短期経済観測調査結果 - 東北6県 - 」(平成21年7月1日)

東北地区の業況判断D Iの推移(日銀仙台支店「全国企業短期経済観測調査結果 - 東北6県 - 」)



### 業況判断D I (東北)

		前回(H21.3)調査		今回(H21.6)調査	
		最近	先行き	最近	先行き
製造業	大企業	73	64	47 (26) 1	37 (10) 2
	中堅・中小企業	57	56	52 (5)	36 (16)
	製造業計	60	57	51 (9)	36 (15)
非製造業	大企業	38	33	38 (0)	19 (19)
	中堅・中小企業	47	50	47 (0)	45 (2)
	非製造業計	46	49	47 (1)	43 (4)
全産業・全規模合計		52	53	49 (3)	40 (9)

D I値は、「良い」回答者構成比(%)から「悪い」回答者構成比(%)を差し引いた値。

値が小さいほど、業況判断は悪いということになる。 はマイナスを表す。

( )内は変化幅(差)を表す。 1は前回の「最近」と今回の「最近」との変化幅。

2は今回の「最近」と今回の「先行き」との変化幅。

日本銀行仙台支店「経済の動き」(平成21年6月10日)

東北地区6県(青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島)

## 概況

東北地域の景気は、生産に下げ止まりの動きが広がりつつあるが、厳しい状況が続いている。

最終需要の動向をみると、公共投資が前年を上回った一方、設備投資は、企業収益の悪化などから、大幅に減少している。個人消費は、所得環境の悪化や雇用調整が進む中で、弱い状況が続いている。また、住宅投資は、低調に推移している。この間、生産は、低水準ながら、在庫調整の進展を受けて、下げ止まりの動きが広がりつつある。こうした中、雇用情勢をみると、悪化している。消費者物価(除く生鮮食品)は、前年を下回って推移している。

### (1) 個人消費

個人消費は、所得環境の悪化や雇用調整が進む中で、弱い状況が続いている。

### (2) 住宅投資

住宅投資は、低調に推移している。新設住宅着工戸数をみると、減少が続いている。

### (3) 公共投資

公共投資は、前年を上回った。

### (4) 生産

生産(鉱工業生産)は、低水準ながら、在庫調整の進展を受けて、下げ止まりの動きが広がりつつある。

### (5) 雇用・所得

雇用情勢をみると、悪化している。

### (6) 金融情勢

預金動向は、個人預金を中心に前年を上回って推移している。

貸出動向は、住宅ローンが頭打ちとなっているものの、地方公共団体向けが増加していることから、前年を上回って推移している。

日本銀行仙台支店「経済の動き」「全国企業短期経済観測調査結果 - 東北地区6県 - 」

についての詳しい情報は、日本銀行仙台支店のHP

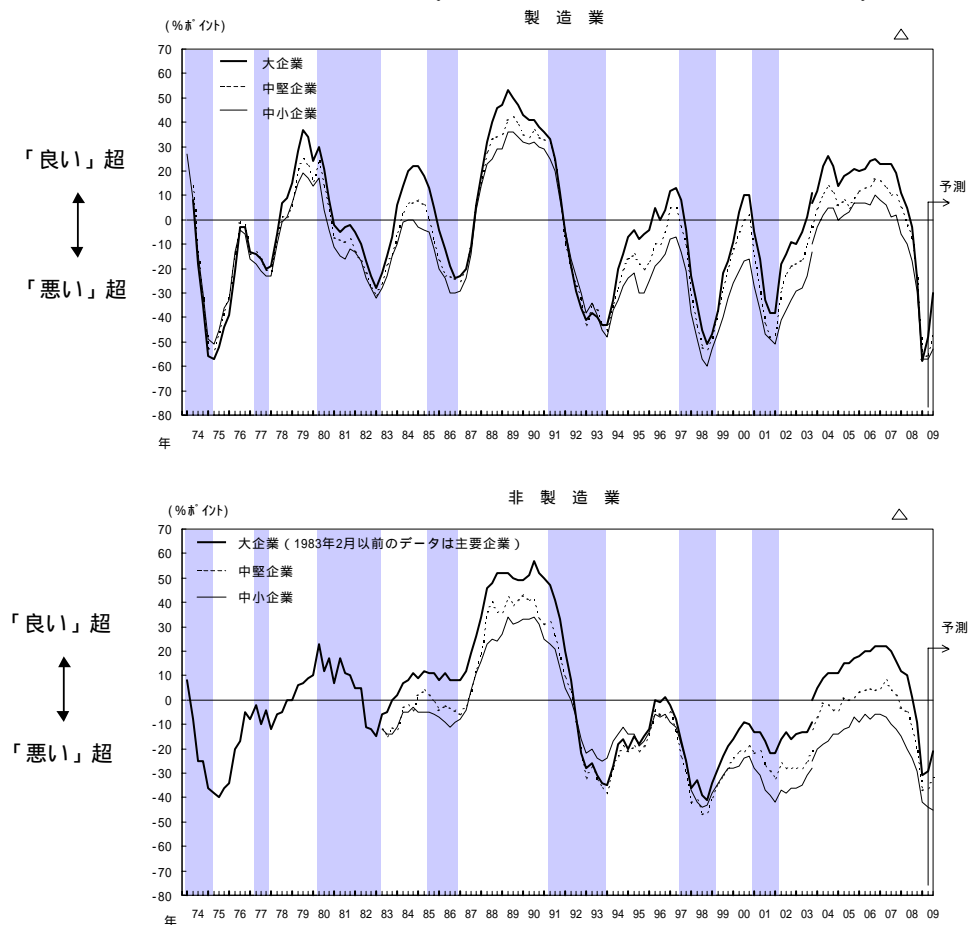
<http://www3.boj.or.jp/sendai/>

を参照してください。

全国

日本銀行「企業短期経済観測調査」(平成21年7月1日)

業況判断の推移(日銀短観 上:製造業 下:非製造業)



(注) グラフ中の網掛けは、景気後退期(内閣府調べ)。 は直近(2007年10月)の景気の山。

業況判断D.I.(日銀短観:全国)

		前回(H21.3)調査		今回(H21.6)調査	
		最近	先行き	最近	先行き
製造業	大企業	58	51	48(10) 1	30(18) 2
	中堅企業	57	61	55(2)	46(9)
	中小企業	57	63	57(0)	53(4)
	製造業計	57	59	55(2)	44(11)
非製造業	大企業	31	30	29(2)	21(8)
	中堅企業	37	45	36(1)	32(4)
	中小企業	42	52	44(2)	45(1)
	非製造業計	38	46	39(1)	37(2)
全産業・全規模合計		46	52	45(1)	41(4)

D.I.値は、「良い」回答者構成比(%)から「悪い」回答者構成比(%)を差し引いた値  
 値が小さいほど、業況判断は悪いということになる。 はマイナスを表す。  
 ( )内は変化幅(差)を表す。 1は前回の「最近」と今回の「最近」との変化幅。  
 2は今回の「最近」と今回の「先行き」との変化幅。

日本銀行「企業短期経済観測調査」についての詳しい情報は、日本銀行のHP  
[http://www.boj.or.jp/type/stat/boj\\_stat/tk/](http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/tk/)  
 を参照してください。

(3) 主要経済指標

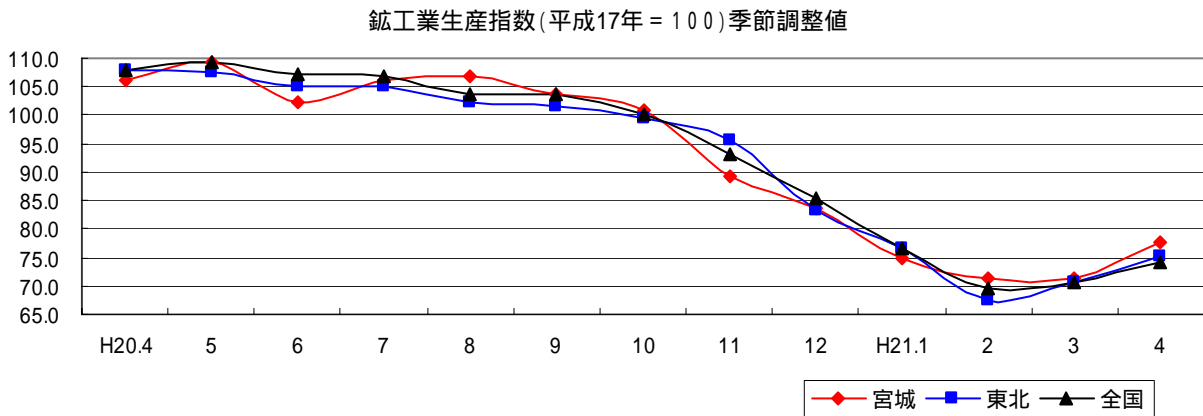
主要経済指標グラフ

**鉱工業生産指数（宮城）**（資料：宮城県統計課）

宮城県における4月の鉱工業生産指数は平成17年を100として77.7となり、前月比で9.1%と8ヶ月ぶりの上昇となった。前年同月比では26.8%と、7ヶ月連続の低下となった。

業種別にみると、前月と比べて上昇した主な業種は「輸送機械工業（上昇率95.1%）」「非鉄金属工業（同35.8%）」「電子部品・デバイス工業（同25.7%）」、低下した主な業種は「一般機械工業（低下率43.8%）」「精密機械工業（同8.1%）」「繊維工業（同6.2%）」となっている。

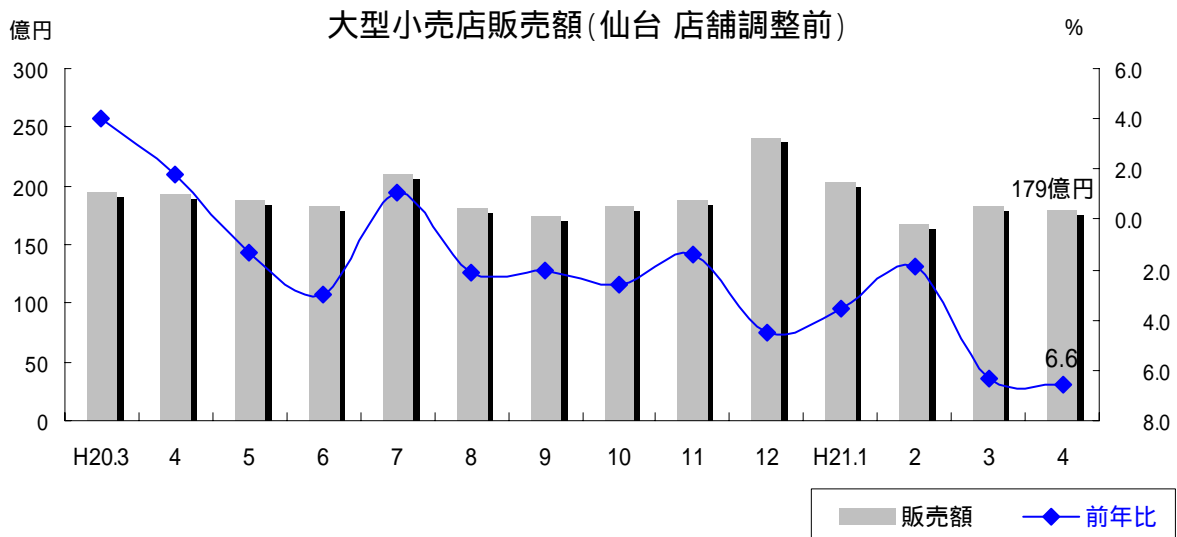
(平成17年 = 100.0)



指数 区分	季節調整済指数			原指数		
	21年3月	21年4月	前月比(%)	20年4月	21年4月	前年同月比(%)
宮城県	71.2	77.7	9.1	105.8	77.4	26.8
東北	70.6	75.3	6.7	105.3	73.4	30.3
全国	70.6	74.3	5.2	104.2	71.7	31.2

**大型小売店販売額（仙台）**（資料：経済産業省）

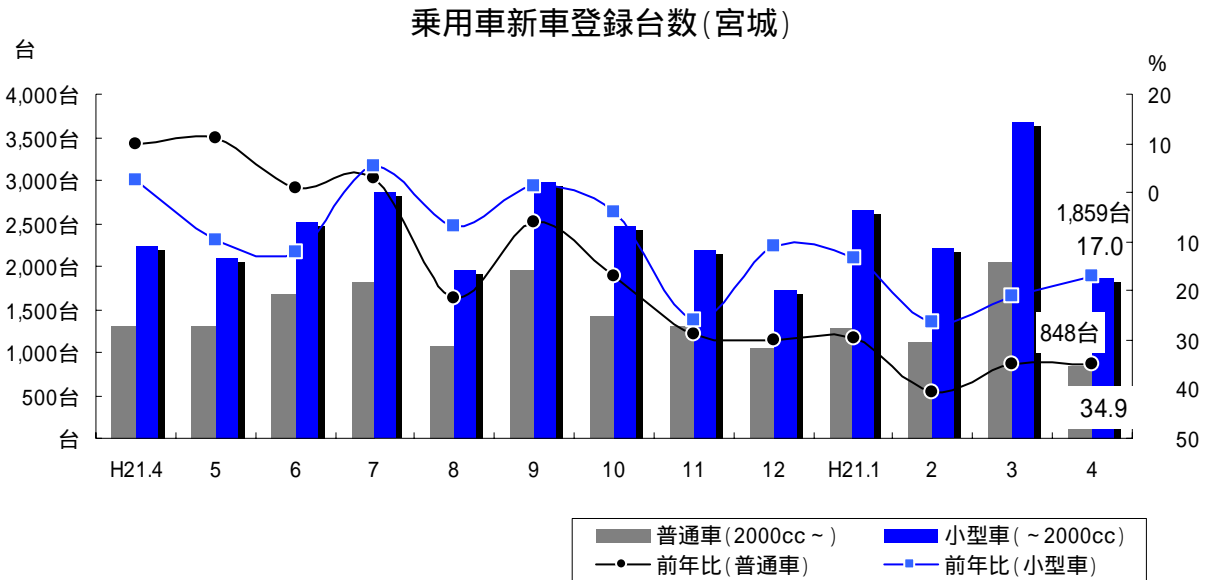
百貨店+スーパー 4月の、百貨店とスーパーの販売額の合計金額は179億円で、前年同月比で6.6%の減少となった。



### 乗用車新車登録台数（宮城）

（資料：自動車販売協会連合会宮城県支部）

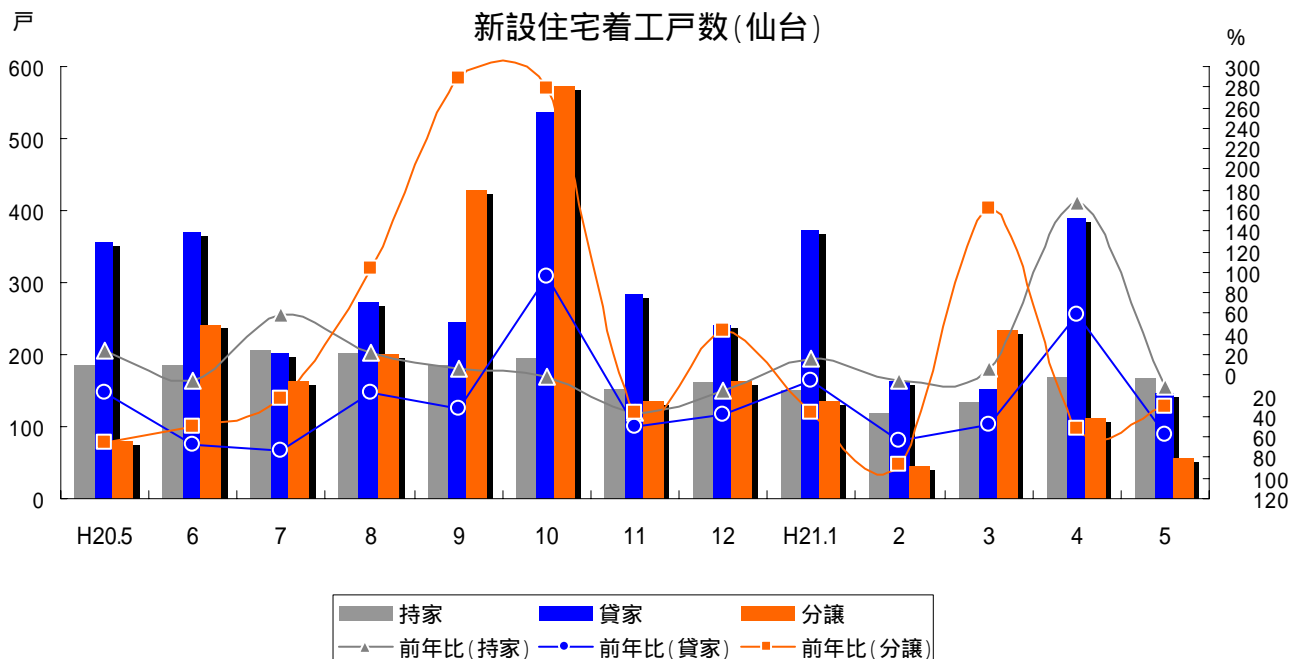
4月の乗用車新車登録台数は2,707台で、前年同月比で23.6%の減少となった。排気量2,000ccを超える普通車は848台で前年同月比34.9%の減少、2,000cc以下の小型車は1,859台で前年同月比17.0%の減少となっている。



### 新設住宅着工戸数（仙台）

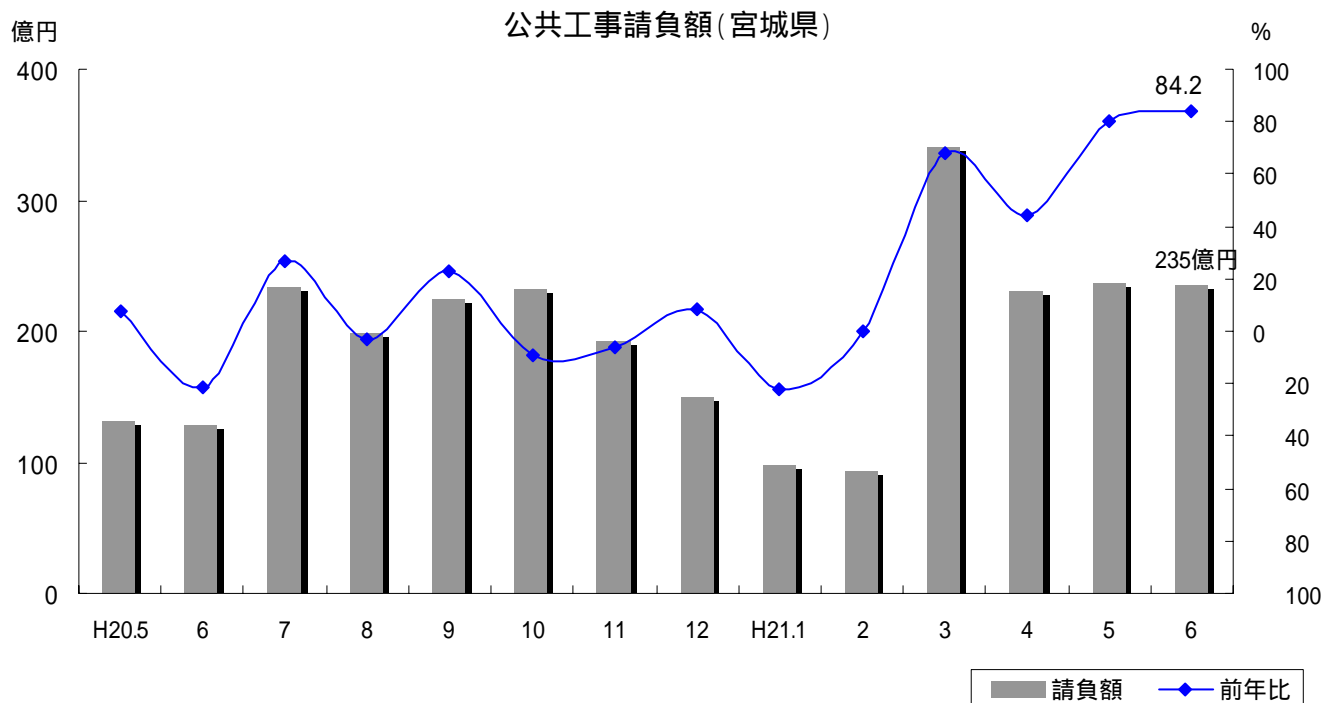
（資料：(財)建設物価調査会）

5月の新設住宅着工戸数は369戸で、前年同月比で53.8%の減少となった。主な利用関係別についてみると、「持家」が166戸で前年比10.3%の減少、「貸家」は148戸で前年比58.3%の減少、「分譲」は55戸で前年比31.3%の減少となった。



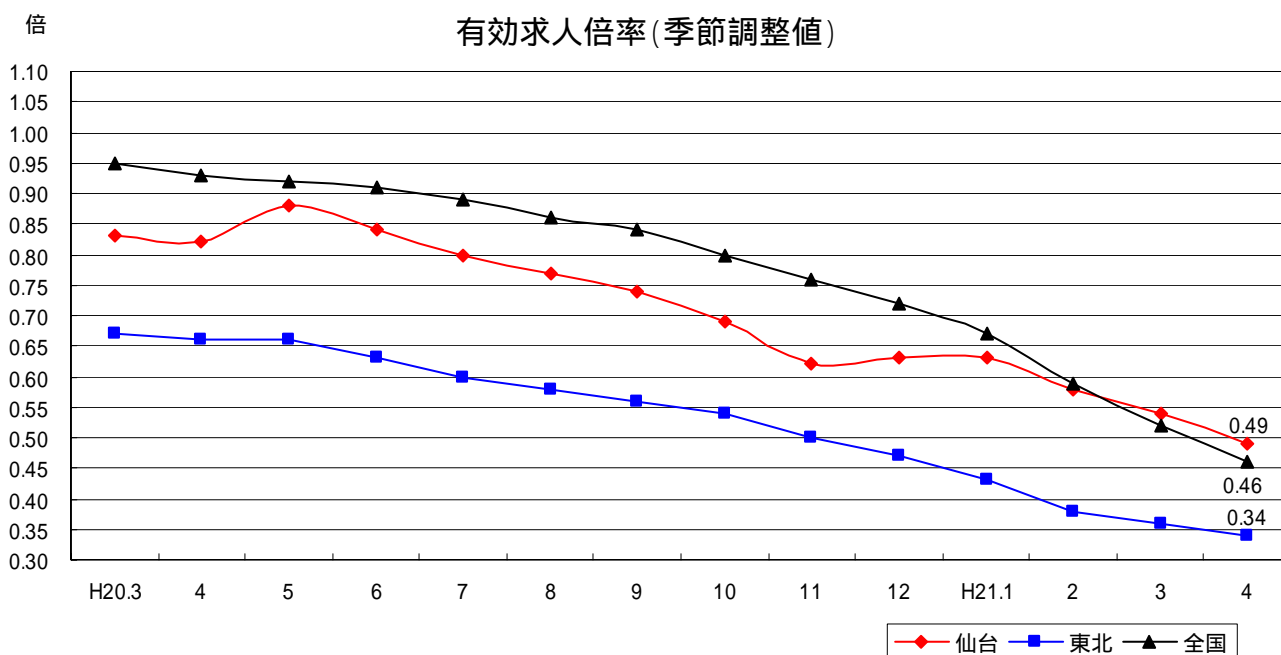
### 公共工事請負額（宮城）（資料：東日本建設業保証（株））

6月の公共工事請負額（宮城県内）は235億円で、前年同月比で84.2%の増加となった。



### 有効求人倍率（仙台及び周辺市町村）（資料：仙台公共職業安定所）

4月の仙台(ハローワークプラザ青葉および仙台学生職業センター取り扱い分)の有効求人倍率(当課の推計 パートを含む 季節調整値)は0.49倍で、前月比で0.05ポイントの減少となった。  
 有効求人倍率の仙台については、平成20年3月分より、ハローワークプラザ青葉取り扱い分と仙台学生職業センター取り扱い分を含めています。

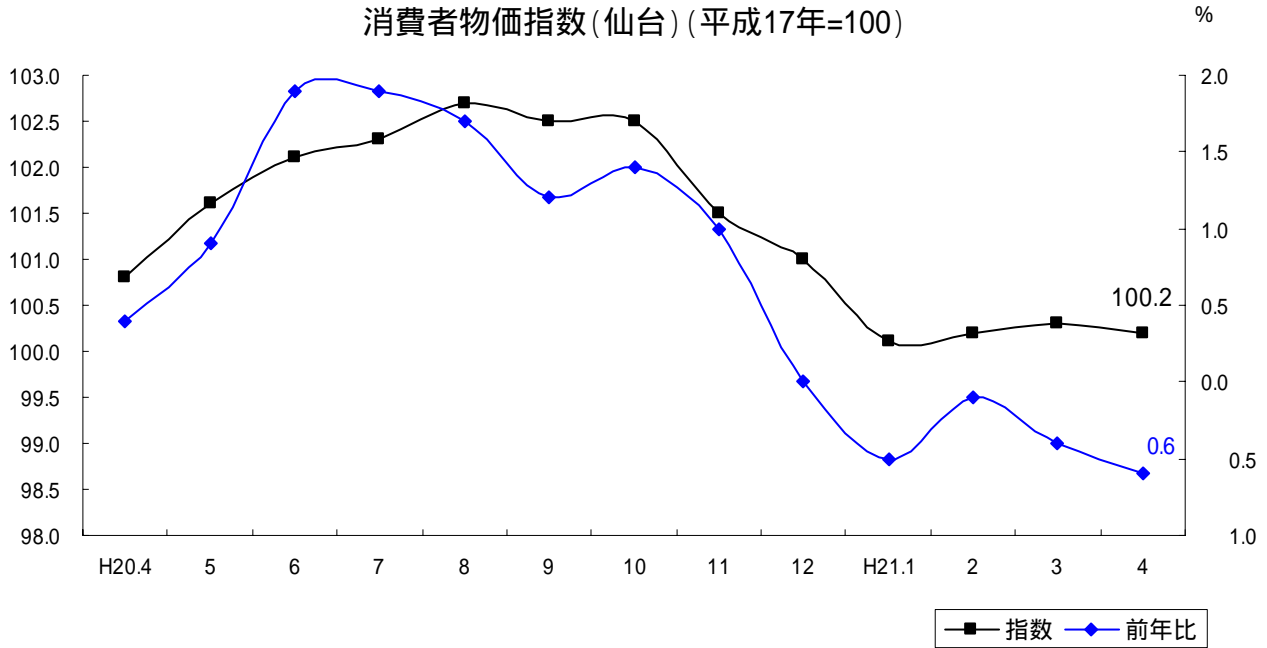


### 消費者物価指数（仙台）（資料：宮城県統計課）

4月の消費者物価総合指数は、平成17年を100として100.2となり、前月と比べ0.1%の下降となった。また、前年同月比では0.6%の下降となった。

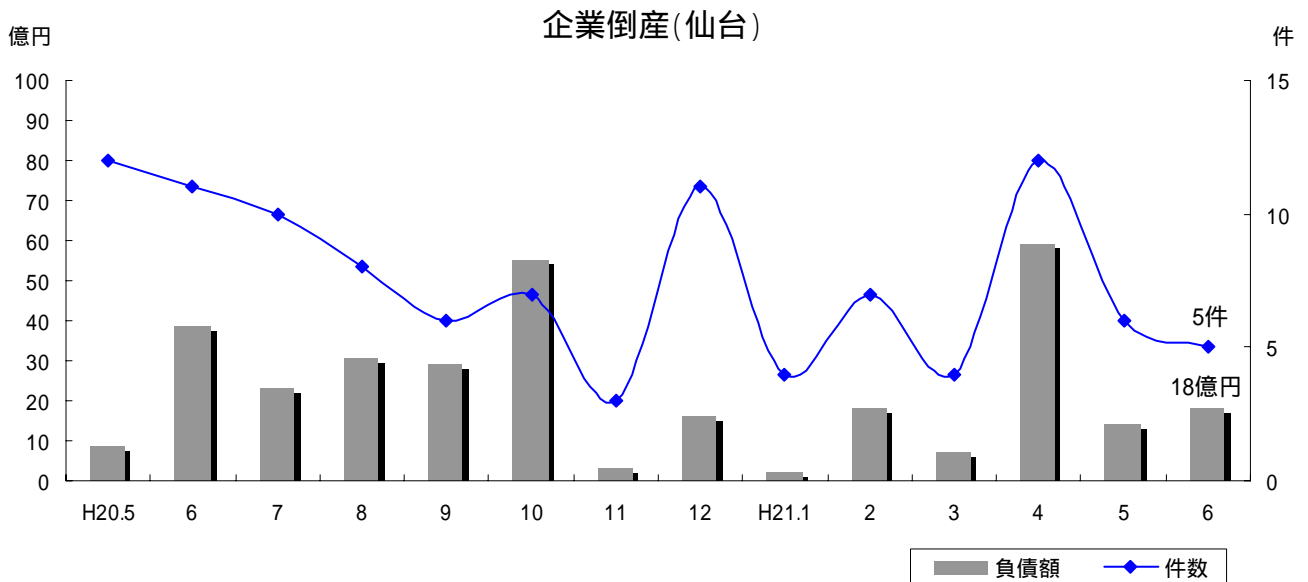
10大費目別に前年同月比をみると、食料、教育などが上昇し、家具・家事用品、被服及び履物、光熱・水道、教育娯楽などが下落した。

消費者物価指数（仙台）（平成17年=100）



### 企業倒産（仙台）（資料：(株)東京商工リサーチ）

6月の負債額1,000万円以上の倒産件数は5件、負債総額は18億円となった。これは前年同月比で、件数では6件の減少、負債総額は約20億円の減少となっている。





主要経済指標一覧表

	生産									個人消費					
	鉱工業生産指数(平成17年=100) (季節調整済,前年比は原指数)									大型小売店販売額(前年比は店舗調整前) (百貨店)					
	全国			東北			宮城			全国		東北		仙台	
	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	販売額 (億円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)
平成16年	98.7	-	4.9	101.3	-	3.6	102.0	-	10.2	88,536	2.8	329,872	3.9	122,894	1.7
平成17年	100.0	-	1.3	100.0	-	1.3	100.0	-	2.0	87,629	1.0	320,221	2.9	120,432	2.0
平成18年	104.5	-	4.5	103.8	-	3.8	105.8	-	5.8	86,440	1.4	304,892	4.8	110,282	8.4
平成19年	107.4	-	2.8	108.6	-	4.6	106.3	-	0.5	84,652	2.1	281,266	7.7		
平成20年	103.8	-	3.4	103.0	-	5.2	102.2	-	3.9	80,789	4.6	266,526	5.2		
19年10月～12月	109.2	0.9	3.3	108.7	1.6	3.1	108.3	3.4	2.6	24,019	2.4	77,914	8.0		
20年1月～3月	109.5	0.3	2.4	109.9	1.1	0.7	105.3	2.8	0.3	20,462	1.7	70,281	3.1		
4月～6月	108.1	1.3	0.8	106.9	2.7	1.4	105.9	0.6	1.4	19,527	3.0	62,627	5.2		
7月～9月	104.6	3.2	1.4	103.1	3.6	4.7	105.6	0.3	0.8	19,014	3.4	62,520	3.5	22,000	-
10月～12月	92.8	11.3	14.5	92.8	10.0	14.9	91.1	13.7	16.5	22,095	8.0	71,097	8.7	25,199	-
21年1月～3月	72.3	22.1	34.6	71.6	22.8	34.5	72.5	20.4	32.0	18,114	11.5	61,518	12.5	20,480	-
平成20年1月	108.5	0.5	2.9	109.5	1.1	3.1	106.3	3.6	0.2	7,399	3.1	24,857	9.4		
2月	110.2	1.6	5.1	113.0	3.2	1.8	101.5	4.5	0.7	5,833	0.2	19,599	0.3		
3月	106.5	3.4	0.7	106.2	6.0	2.0	111.3	9.7	0.9	7,231	1.6	25,826	1.2		
4月	108.0	0.6	1.8	108.0	0.1	1.2	106.2	1.8	3.1	6,381	3.3	21,359	2.2		
5月	109.3	1.2	0.9	107.7	0.3	1.4	109.2	2.8	2.7	6,405	2.6	20,889	4.9	7,368	-
6月	107.1	2.0	0.2	105.0	2.5	3.9	102.3	6.3	1.6	6,441	7.5	20,379	8.6	6,678	-
7月	106.8	0.3	2.3	105.2	0.2	1.6	106.1	3.7	1.7	7,716	2.4	23,942	3.3	9,285	-
8月	103.5	3.1	7.2	102.3	2.8	9.8	106.9	0.8	0.7	5,567	3.1	19,705	3.0	6,410	-
9月	103.6	0.1	0.4	101.7	0.6	3.0	103.8	2.9	0.1	5,731	4.9	18,873	4.0	6,305	-
10月	100.1	3.4	6.6	99.5	2.2	7.8	100.7	3.0	4.8	6,369	7.2	21,092	7.9	6,962	-
11月	93.1	7.0	16.5	95.5	4.0	14.6	89.1	11.5	20.2	7,058	6.7	22,076	7.0	7,322	-
12月	85.3	8.4	20.7	83.3	12.8	22.7	83.5	6.3	24.0	8,658	9.7	27,929	10.7	10,915	-
平成21年1月	76.7	10.1	30.9	76.7	7.9	31.3	74.7	10.5	30.7	6,705	9.4	22,259	10.5	7,705	-
2月	69.5	9.4	38.4	67.4	12.1	38.3	71.5	4.3	32.0	5,144	11.8	17,462	10.9	5,868	-
3月	70.6	1.6	34.2	70.6	4.7	33.8	71.2	0.4	33.4	6,265	13.3	21,797	15.6	6,908	-
4月	74.3	5.2	31.2	75.3	6.7	30.3	77.7	9.1	26.8	5,611	12.0	18,295	14.3		
5月															
6月															
資料	経済産業省			東北経済産業局			宮城県			経済産業省					

大型小売店販売額の仙台市の平成19年10月から平成20年4月まで、及び平成21年4月の数値は、百貨店・スーパーを合算したものを次項スーパーの欄に記載しています。

個人消費

大型小売店販売額(前年比は店舗調整前) (スーパー)						乗用車新車登録台数									
全国		東北		仙台		全国		東北		宮城					
販売額 (億円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)	総数 (台)	前年比 (%)	総数 (台)	前年比 (%)	総数 (台)	前年比 (%)	普通車 (台)	前年比 (%)	小型車 (台)	前年比 (%)
126,137	0.3	912,078	0.0	126,809	0.4	3,377,465	1.1	235,408	2.9	63,163	1.2	22,516	11.7	40,647	7.2
125,654	0.4	898,239	1.5	124,673	1.7	3,353,586	0.7	229,038	2.7	61,471	2.7	20,013	11.1	41,458	2.0
125,010	0.5	905,903	0.9	131,540	5.5	3,126,236	6.8	213,513	6.8	57,930	5.8	19,498	2.6	38,432	7.3
127,336	1.9	921,266	1.7	234,370	3.1	2,945,665	5.8	198,114	7.2	54,143	6.5	20,477	5.0	33,666	12.4
128,752	1.1	935,325	1.5			2,793,625	5.2	188,661	4.8	51,339	5.2	19,738	3.6	31,673	5.9
33,941	2.5	236,603	1.1	63,040	5.6	696,068	2.9	45,284	3.1	12,475	0.8	5,031	11.5	7,444	5.4
31,578	3.0	233,265	2.5	57,422	0.8	912,161	1.3	62,793	0.7	17,527	1.1	6,841	10.1	10,686	4.0
31,443	0.8	227,845	1.1	55,949	0.8	633,493	0.7	42,758	0.0	11,128	2.2	4,281	6.5	6,847	7.0
31,768	0.7	233,571	0.8	34,382	-	701,972	2.4	46,510	2.5	12,619	2.5	4,849	7.0	7,770	0.5
33,983	0.1	239,884	1.4	35,928	-	545,999	21.6	36,600	19.2	10,137	18.7	3,767	25.1	6,370	14.4
30,987	1.8	233,459	0.1	34,642	-	632,321	30.7	45,119	28.1	12,966	26.0	4,444	35.0	8,522	20.3
11,400	0.8	85,731	0.4	20,922	7.1	212,842	6.5	14,448	2.9	4,867	3.8	1,804	19.2	3,063	3.5
9,706	4.5	71,459	3.2	16,966	2.5	285,320	1.5	17,565	1.5	4,872	4.7	1,890	11.4	2,982	0.8
10,472	4.2	76,309	4.5	19,534	4.0	413,999	1.4	30,780	0.7	7,788	2.6	3,147	4.8	4,641	7.1
10,431	1.1	76,271	1.7	19,021	1.8	200,833	9.4	14,290	8.0	3,541	5.1	1,302	9.7	2,239	2.6
10,546	0.7	76,494	0.6	11,399	-	190,337	4.4	12,766	3.1	3,398	2.7	1,306	11.2	2,092	9.7
10,446	0.4	75,302	1.2	11,483	-	242,323	1.8	15,702	3.9	4,189	7.3	1,673	0.9	2,516	12.1
10,945	2.2	77,361	3.4	11,728	-	267,263	9.4	17,682	7.3	4,672	4.4	1,815	3.1	2,857	5.3
10,964	0.1	84,893	0.0	11,730	-	165,653	12.9	11,021	12.1	3,022	12.6	1,075	21.4	1,947	6.9
9,859	0.4	71,577	0.6	10,925	-	269,056	5.6	17,807	4.8	4,925	1.8	1,959	6.0	2,966	1.2
10,299	0.0	73,393	0.6	11,242	-	202,119	13.4	14,341	10.1	3,902	9.2	1,430	16.9	2,472	4.1
10,752	1.8	75,571	2.9	11,490	-	185,941	24.9	12,785	27.0	3,408	27.0	1,296	29.0	2,184	25.8
12,932	1.1	90,964	0.8	13,195	-	157,939	22.9	9,474	19.9	2,755	19.2	1,041	29.9	1,714	10.9
11,364	0.2	87,161	1.7	12,468	-	153,273	28.0	11,133	22.9	3,922	19.4	1,269	29.7	2,653	13.4
9,374	3.4	70,677	1.0	10,784	-	193,398	32.2	12,281	30.1	3,324	31.8	1,122	40.6	2,202	26.2
10,249	2.1	75,621	0.8	11,390	-	285,650	31.0	21,705	29.5	5,720	26.6	2,053	34.8	3,667	21.0
10,349	0.7	76,851	0.8	17,940		146,229	27.2	10,683	24.0	2,707	23.6	848	34.9	1,859	17.0
経済産業省						(社)日本自動車販売協会連合会									

大型小売店販売額の仙台市の平成19年10月から平成20年4月まで、及び平成21年4月の数値は、百貨店・スーパーを合算したものを次項スーパーの欄に記載しています。

	家計消費						住宅投資							
	1世帯あたり消費支出(全世帯) (前年比は名目値)						新設住宅着工戸数							
	全国		東北		仙台		全国		東北		仙台			
	支出額 (円)	前年比 (%)	支出額 (円)	前年比 (%)	支出額 (円)	前年比 (%)	総数		総数		総数		持家	
戸数							前年比 (%)	戸数	前年比 (%)	戸数	前年比 (%)	戸数	前年比 (%)	
平成16年	302,975	0.4	293,172	4.5	303,273	8.8	1,189,049	2.5	64,492	0.6	10,903	6.0	2,422	5.8
平成17年	300,531	0.8	286,825	2.2	319,309	5.3	1,236,175	4.0	64,617	0.2	12,904	18.4	2,293	5.3
平成18年	294,943	1.9	274,927	4.1	289,537	9.3	1,290,391	4.4	67,005	3.7	14,937	15.8	2,353	2.6
平成19年	297,782	1.0	289,345	5.2	306,736	5.9	1,060,741	17.8	56,511	15.7	12,502	16.3	2,087	11.3
平成20年	296,932	0.3	285,636	1.3	292,660	4.6	1,093,485	3.1	52,096	7.8	8,804	29.6	1,914	8.3
19年10月～12月	310,496	1.4	297,544	10.5	322,914	10.5	248,386	27.3	14,241	21.0	2,342	48.8	622	14.6
20年1月～3月	299,406	1.7	305,798	7.5	332,778	12.5	253,924	9.0	10,821	13.7	2,173	41.1	378	15.2
4月～6月	293,591	1.0	288,013	1.7	310,113	2.0	289,663	11.0	13,706	18.5	2,063	49.6	434	20.7
7月～9月	290,381	0.2	264,721	6.2	260,884	10.6	291,301	40.2	14,132	9.4	2,126	10.6	594	25.8
10月～12月	304,414	2.0	284,013	4.5	266,865	17.4	258,597	4.1	13,437	5.6	2,442	4.3	508	18.3
21年1月～3月	289,388	3.5	279,537	9.4	263,873	26.1	199,619	21.4	9,155	15.4	1,505	27.0	401	6.1
平成20年1月	309,826	4.5	313,567	16.8	342,455	6.7	86,971	5.7	3,530	9.1	734	41.1	129	16.2
2月	275,827	1.1	270,321	2.2	314,952	20.0	82,962	5.0	3,636	13.3	926	34.8	125	5.3
3月	312,565	0.3	333,506	8.0	340,927	12.1	83,991	15.6	3,655	18.0	513	49.9	124	22.5
4月	310,695	1.7	314,788	7.6	352,525	9.9	97,930	8.7	4,517	20.1	645	53.6	63	69.0
5月	288,128	1.7	272,024	7.2	309,912	13.0	90,804	6.5	4,269	7.2	620	24.4	185	24.1
6月	281,951	0.5	277,228	4.0	267,902	24.4	100,929	16.7	4,920	25.1	798	57.6	186	4.6
7月	298,366	2.3	265,319	9.9	273,575	4.9	97,212	19.0	4,645	8.2	573	49.8	206	58.5
8月	291,154	1.6	276,361	8.3	263,472	10.6	96,905	53.6	4,368	22.0	696	18.0	202	21.7
9月	281,433	0.0	252,483	0.6	245,605	16.2	97,184	54.2	5,119	19.7	857	32.3	186	5.7
10月	291,504	1.8	268,329	8.0	260,611	21.3	92,123	19.8	5,265	19.8	1,302	109.3	194	0.5
11月	284,762	0.7	258,436	4.0	247,811	12.6	84,277	0.0	3,945	20.5	572	44.2	152	35.6
12月	336,976	4.2	325,274	2.0	292,174	17.5	82,197	5.8	4,227	13.5	568	18.3	162	15.2
平成21年1月	291,440	5.9	270,931	13.6	277,405	19.0	70,688	18.7	3,261	7.6	659	10.2	150	16.3
2月	266,044	3.5	250,220	8.0	243,145	29.5	62,303	24.9	2,631	27.6	326	64.8	119	4.8
3月	310,680	0.6	317,460	5.1	271,070	25.8	66,628	20.7	3,263	10.7	520	1.4	132	6.5
4月	306,340	1.4	302,350	4.1	333,888	5.6	66,198	32.4	3,613	20.0	669	3.7	169	168.3
5月	285,530	0.9	275,251	1.2	319,330	2.9	62,805	30.8	3,531	17.3	369	53.8	166	10.3
6月														
資料	総務省						国土交通省							

住宅投資				公共投資					雇用								
新設住宅着工戸数				公共工事請負金額					新規求人(パートを含む) (原数値)			有効求人倍率 (パートを含む)			所定外労働時間(製造業) (従業者規模30人以上)		
仙台				全国	東北	宮城			全国	仙台		全国	東北	仙台	全国	宮城	
貸家		分譲		前年(度)比 (%)		請負額 (百万円)	前年 (度)比 (%)	前年比 (%)	求人数 (人)	前年比 (%)	倍(季節調整値)			前年比 (%)	時間	前年比 (%)	
戸数	前年比 (%)	戸数	前年比 (%)														
5,518	4.6	2,824	5.1	11.1	11.9	293,042	6.6	11.7	106,256	3.6	0.83	0.64	1.14	7.5	16.4	-	
7,429	34.6	3,102	9.8	5.6	7.3	249,963	14.7	10.3	113,225	6.6	0.95	0.68	1.26	0.4	16.0	-	
9,367	26.1	3,184	2.6	5.2	7.3	231,201	7.5	4.3	124,894	10.3	1.06	0.77	1.37	3.5	17.3	7.7	
6,750	27.9	3,557	11.7	4.1	5.0	201,324	12.9	6.4	116,964	6.3	1.04	0.76	1.40	0.9	16.7	6.0	
3,882	42.5	2,879	19.1	0.1	2.1	207,201	2.9	15.8	87,561	25.1	0.88	0.60	0.78	6.3	15.3	2.7	
1,233	58.5	483	54.2	2.9	12.8	59,929	13.2	9.6	24,978	22.5	1.01	0.71	1.16	2.8	18.4	16.2	
1,129	39.7	666	51.2	5.2	11.9	42,077	16.2	13.8	24,081	31.3	0.98	0.68	0.87	1.5	15.7	6.9	
970	56.1	552	57.1	8.4	22.4	41,943	12.6	15.3	22,733	22.2	0.92	0.65	0.85	1.4	15.1	1.8	
720	49.8	790	87.6	4.7	7.7	65,697	14.8	16.1	21,895	21.0	0.85	0.59	0.77	5.0	15.2	0.3	
1,063	13.8	871	80.3	2.8	7.6	57,484	4.1	18.3	18,852	24.5	0.76	0.50	0.65	19.6	15.0	13.4	
690	38.9	414	37.8	7.8	6.3	53,078	26.1	23.6	20,792	13.7	0.59	0.39	0.58	47.5	10.3	39.4	
390	12.0	215	66.8	3.5	2.7	12,488	6.3	9.8	7,938	31.2	0.98	0.70	0.90	0.5	14.6	2.2	
439	36.6	362	39.1	13.1	34.0	9,289	4.7	9.9	8,613	28.2	0.97	0.69	0.87	1.0	16.6	10.4	
300	59.2	89	28.8	12.6	10.0	20,300	30.2	21.3	7,530	34.5	0.95	0.68	0.83	2.6	16.0	7.7	
245	60.9	230	58.9	4.7	27.2	16,052	17.8	12.6	7,276	20.5	0.93	0.66	0.82	1.7	15.6	1.1	
355	17.8	80	66.5	9.6	15.4	13,135	7.4	15.6	8,376	18.1	0.92	0.66	0.88	0.2	14.7	1.8	
370	67.9	242	50.4	11.3	19.4	12,756	21.3	17.9	7,081	28.2	0.91	0.63	0.84	2.2	15.0	4.7	
204	72.7	163	23.5	13.8	8.4	23,335	27.0	13.5	7,585	21.2	0.89	0.60	0.80	2.8	15.8	0.8	
272	16.6	200	104.1	6.0	2.1	19,919	3.4	21.3	6,624	31.8	0.86	0.58	0.77	5.7	14.5	1.5	
244	32.4	427	288.2	5.5	12.4	22,443	23.2	13.4	7,686	8.2	0.84	0.56	0.74	6.5	15.3	1.4	
537	95.3	571	278.1	0.4	7.5	23,157	9.5	18.1	6,887	32.1	0.80	0.54	0.69	9.0	15.7	6.9	
284	50.1	136	37.3	2.8	0.3	19,308	5.9	23.7	5,410	38.0	0.76	0.50	0.62	19.4	15.9	11.2	
242	37.8	164	42.6	6.4	17.1	15,019	8.7	12.0	6,555	7.3	0.72	0.47	0.63	30.4	13.3	22.1	
373	4.4	136	36.7	1.9	5.4	9,707	22.3	18.4	7,071	10.9	0.67	0.43	0.63	40.7	10.5	32.9	
163	62.9	44	87.8	2.8	10.1	9,261	0.3	30.1	6,290	27.0	0.59	0.38	0.58	50.2	10.5	41.3	
154	48.7	234	162.9	15.3	13.1	34,110	68.0	22.3	7,431	1.3	0.52	0.36	0.54	50.8	9.8	43.4	
390	59.2	110	52.2	20.5	21.4	23,137	44.1	26.5	5,541	23.8	0.46	0.34	0.49	46.8	10.3	39.3	
148	58.3	55	31.3	2.5	0.2	23,637	80.0	34.5			0.44	0.33					
						23,491	84.2										
国土交通省				保証事業会社協会	東日本建設業保証(株)			厚生労働省	仙台公共職業安定所	厚生労働省	東北6県労働局	仙台公共職業安定所	厚生労働省	宮城県			

有効求人倍率の仙台については、平成20年1月分より、ハローワークプラザ青葉取り扱い分と仙台学生職業センター取り扱い分を含めています。

	物 価						金 融							
	消費者物価指数 (平成17年 = 100)						金融機関預金残高(末残)				金融機関貸出残高(末残)			
	全 国			仙 台			全 国	東 北	仙 台		全 国	東 北	仙 台	
	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	前年(度)比 (%)		残高 (億円)	前年 (度)比 (%)	前年(度)比 (%)		残高 (億円)	前年 (度)比 (%)
平成16年	100.3	-	0.0	100.6	-	0.3	1.3	0.2	68,411	0.4	2.4	1.9	44,223	1.9
平成17年	100.0	-	0.3	100.0	-	0.6	1.5	0.2	68,741	0.5	1.1	0.5	44,618	0.9
平成18年	100.3	-	0.3	100.3	-	0.3	0.7	0.1	69,231	0.7	1.4	0.3	45,220	1.3
平成19年	100.3	-	0.0	100.5	-	0.2	3.0	1.5	72,142	4.2	0.1	1.3	44,876	0.8
平成20年	101.6	-	1.3	101.6	-	1.1	2.0	1.5	72,086	0.1	4.3	1.9	45,985	2.5
19年10月～12月	100.8	0.4	0.5	100.9	0.0	0.7	3.0	1.5	72,142	4.2	0.1	1.3	44,876	0.8
20年1月～3月	100.7	0.1	0.9	100.5	0.4	0.8	2.6	1.0	71,772	4.7	1.2	0.1	45,012	0.2
4月～6月	101.6	0.9	1.4	101.5	1.0	1.1	2.9	1.8	72,339	2.9	1.7	0.6	45,810	2.0
7月～9月	102.6	1.0	2.2	102.5	1.0	1.6	2.3	1.3	72,084	2.4	1.8	0.8	46,275	1.9
10月～12月	101.9	0.7	1.1	101.7	0.8	0.8	2.0	1.5	72,147	0.0	4.3	1.9	46,843	4.4
21年1月～3月	100.6	1.3	0.1	100.2	1.5	0.3			71,813	0.1			46,191	2.6
平成20年1月	100.7	0.2	0.7	100.6	0.4	0.7	3.0	1.6	71,867	4.5	0.6	1.3	44,648	1.1
2月	100.5	0.2	1.0	100.3	0.3	0.9	3.0	1.7	72,263	4.6	1.3	1.0	44,792	0.0
3月	101.0	0.5	1.2	100.7	0.4	0.9	2.6	1.0	71,186	3.8	1.2	0.1	45,596	1.1
4月	100.9	0.1	0.8	100.8	0.1	0.4	2.3	1.2	72,957	3.0	1.2	0.1	45,647	0.9
5月	101.7	0.8	1.3	101.6	0.8	0.9	1.8	1.7	71,458	2.7	2.1	0.6	45,824	1.8
6月	102.2	0.5	2.0	102.1	0.5	1.9	2.9	1.8	72,601	3.2	1.7	0.6	45,960	2.3
7月	102.4	0.2	2.3	102.3	0.2	1.9	2.2	2.3	72,135	3.4	2.1	1.1	46,028	2.8
8月	102.7	0.3	2.1	102.7	0.4	1.7	2.4	2.7	72,589	3.3	2.0	1.1	45,822	2.5
9月	102.7	0.0	2.1	102.5	0.2	1.2	2.3	1.3	71,529	1.6	1.8	0.8	46,974	3.4
10月	102.6	0.1	1.7	102.5	0.0	1.4	1.9	1.6	71,641	1.5	3.3	1.9	46,995	5.1
11月	101.7	0.9	1.0	101.5	1.0	1.0	1.7	2.2	72,094	1.6	3.9	2.6	47,633	6.2
12月	101.3	0.4	0.4	101.0	0.5	0.0	2.0	1.5	72,707	0.8	4.3	1.9	45,901	2.3
平成21年1月	100.7	0.6	0.0	100.1	0.9	0.5	1.8	1.6	71,639	0.3	4.1	2.5	46,207	3.5
2月	100.4	0.3	0.1	100.2	0.1	0.1	2.3	2.5	72,729	0.6	4.1	2.6	46,169	3.0
3月	100.7	0.3	0.3	100.3	0.1	0.4			71,070	0.2			46,216	1.3
4月	100.8	0.1	0.1	100.2	0.1	0.6								
5月														
6月														
資 料	総務省			宮城県			日本銀行	東北財務局	宮城県銀行協会		日本銀行	東北財務局	宮城県銀行協会	

金融機関預金・貸出残高の全国・東北には、信用組合・農林漁業金融機関・労働金庫分は含まない。

倒産（負債総額1千万円以上）											
倒産件数						負債額					
全国		東北		仙台		全国		東北		仙台	
件数 (件)	前年比 (%)	件数 (件)	前年比 (%)	件数 (件)	前年比 (%)	負債額 (億円)	前年比 (%)	負債額 (億円)	前年比 (%)	負債額 (万円)	前年比 (%)
13,679	15.8	790	13.4	118	0.9	78,177	32.5	3,239	12.6	6,223,300	23.9
12,998	5.0	810	2.5	125	5.9	67,035	14.3	2,731	15.7	3,095,900	50.3
13,245	1.9	793	2.1	96	23.2	55,006	17.9	2,407	11.9	2,636,600	14.8
14,091	6.4	781	1.5	93	3.1	57,279	4.1	2,756	14.5	2,591,600	1.7
15,646	11.0	912	16.8	98	5.4	122,920	114.6	3,114	13.0	3,054,400	17.9
3,570	6.1	203	5.2	24	14.3	13,951	10.8	607	1.9	497,400	50.1
3,715	8.0	217	10.7	27	12.9	14,194	5.0	673	5.4	879,900	29.2
3,829	5.9	236	18.0	26	73.3	17,602	35.4	887	13.3	614,500	149.9
4,034	16.4	239	31.3	24	0.0	68,958	310.2	933	90.9	823,200	35.8
4,068	13.9	220	8.4	21	12.5	22,165	58.9	620	2.2	736,800	48.1
4,215	13.5	201	7.8	15	44.4	31,464	121.7	630	6.9	271,700	69.1
1,174	7.6	65	0.0	9	40.0	5,812	1.3	258	69.8	579,600	18.9
1,194	8.3	71	2.9	12	140.0	3,652	26.1	154	40.1	188,100	221.0
1,347	8.0	81	30.6	6	45.5	4,730	3.2	261	13.9	112,200	83.9
1,215	8.4	77	28.3	3	0.0	7,181	16.5	449	39.5	141,600	461.9
1,290	1.5	82	24.2	12	100.0	5,498	49.1	128	16.0	86,100	49.7
1,324	11.7	77	4.1	11	83.3	4,924	56.1	310	142.4	386,800	679.8
1,372	12.9	82	46.4	10	150.0	6,653	90.2	333	82.4	228,700	112.7
1,254	4.2	79	0.0	8	20.0	8,680	0.2	255	97.9	307,500	219.3
1,408	34.5	78	66.0	6	33.3	53,625	1,064.2	345	94.5	287,000	28.7
1,429	13.4	95	23.4	7	41.7	10,077	118.5	252	11.1	546,000	130.8
1,277	5.2	48	14.3	3	50.0	5,761	16.9	158	15.6	30,100	70.9
1,362	24.1	77	10.0	11	83.3	6,327	43.3	211	9.0	160,700	2.2
1,360	15.8	71	9.2	4	55.6	8,390	44.3	300	16.6	22,600	96.1
1,318	10.4	63	12.5	7	41.7	12,292	236.6	139	12.5	180,100	4.3
1,537	14.1	67	17.3	4	33.3	10,782	127.9	192	26.6	69,000	38.5
1,329	9.4	63	18.2	12	300.0	5,219	27.3	240	46.5	591,700	317.9
1,203	6.7	62	24.4	6	50.0	5,399	1.8	280	119.6	140,500	63.2
		68	11.7	5	54.5			164	47.2	183,200	52.6

(株)東京商工リサーチ



お手数ですが、最初に「ご記入者」「電話番号」欄をご記入ください。  
 なお、貴事業所の「名称」「所在地」に誤りがございましたら、恐縮ですが、訂正願います。

名称		所在地	
ご記入者	部課名	役職	ご芳名
		事業所	小分類
		記号	
		Tel	

貴事業所が本店・本社の場合は仙台市内全事業所を通じての判断を、支店・支社の場合は貴事業所関係分のみの判断を記入してください。

**設問1 貴事業所の、売上、収益等の状況について、おたずねします。**

それぞれ、該当する番号を1つ選び、をつけてください。

今期(平成21年 4月～6月期)の実績	➡	前年同期(平成20年 4月～6月期)と比べて。
来期(平成21年 7月～9月期)の見通し	➡	前年同期(平成20年 7月～9月期)と比べて。

**設問1-1 売上高**

今期の実績	1. 増加した	2. 変化がなかった	3. 減少した
来期の見通し	1. 増加する	2. 変化はない	3. 減少する

**設問1-2 販売数量**

今期の実績	1. 増加した	2. 変化がなかった	3. 減少した
来期の見通し	1. 増加する	2. 変化はない	3. 減少する

**設問1-3 経常利益**

今期の実績	1. 増加した	2. 変化がなかった	3. 減少した
来期の見通し	1. 増加する	2. 変化はない	3. 減少する

**設問2 貴事業所の、製品単価、原材料価格の状況について、おたずねします。**

それぞれ、該当する番号を1つ選び、をつけてください。

今期(平成21年 4月～6月期)の実績	➡	前期(平成21年 1月～3月期)と比べて。
来期(平成21年 7月～9月期)の見通し	➡	今期(平成21年 4月～6月期)と比べて。

**設問2-1 製(商)品単価** 製(商)品を持たない業種の場合は未記入で結構です。

今期の実績	1. 上昇した	2. 変化がなかった	3. 下降した
来期の見通し	1. 上昇する	2. 変化はない	3. 下降する

**設問2-2 原材料(仕入)価格** 原材料を持たない業種の場合は未記入で結構です。

今期の実績	1. 上昇した	2. 変化がなかった	3. 下降した
来期の見通し	1. 上昇する	2. 変化はない	3. 下降する

**設問3** 貴事業所の、今期の在庫、労働力、設備、資金繰りの状況について、おたずねします。

それぞれ、該当する番号を1つ選び、 をつけてください。

今期（平成21年 4月～ 6月期）の状況

**設問3 - 1 製（商）品在庫** 製（商）品を持たない業種の場合は未記入で結構です。

今期の状況	1. 過剰	2. やや過剰	3. 適正	4. やや不足	5. 不足
-------	-------	---------	-------	---------	-------

**設問3 - 2 労働力** パートタイム、アルバイト等の非正規雇用従業員を含みます。

今期の状況	1. 過剰	2. やや過剰	3. 適正	4. やや不足	5. 不足
-------	-------	---------	-------	---------	-------

**設問3 - 3 生産・営業用設備**

今期の状況	1. 過剰	2. やや過剰	3. 適正	4. やや不足	5. 不足
-------	-------	---------	-------	---------	-------

**設問3 - 4 資金繰り**

今期の状況	1. 楽である	2. やや楽である	3. 普通	4. やや苦しい	5. 苦しい
-------	---------	-----------	-------	----------	--------

**設問4** 貴事業所の、今後の従業員数、設備投資の予定について、おたずねします。

来期以降の方向について、それぞれ該当する番号を1つ選び、 をつけてください。

**設問4 - 1 正規従業員数**

今後の予定	1. 増員する	2. 変化させない	3. 減員する
-------	---------	-----------	---------

**設問4 - 2 非正規従業員数** 季節的な要因を除いてご回答ください。

今後の予定	1. 増員する	2. 変化させない	3. 減員する
-------	---------	-----------	---------

**設問4 - 3 生産・営業用設備**

今後の予定	1. 増強する	2. 変化させない	3. 縮小する
-------	---------	-----------	---------

**設問5** 貴事業所の業況について、おたずねします。

それぞれ、該当する番号を1つ選び、 をつけてください。季節的な要因を除いてご回答ください。

今期（平成21年 4月～ 6月期）の実績

**設問5 - 1 今期の事業所の業況（業況の良し悪し）**

今期の実績	1. 良い	2. 普通	3. 悪い
-------	-------	-------	-------

< 「1. 良い」とお答えの方へ > 「良い」とお答えの理由を、下の欄にご記入ください。

「良い」理由	例.) 新製品の売上が伸び、販売目標を超える売上があったため。

< 「3. 悪い」とお答えの方へ > 「悪い」とお答えの理由を、下の欄にご記入ください。

「悪い」理由	例.) 需要の減少により、製品在庫量が適正量より増加したため。



それぞれ、該当する番号を1つ選び、をつけてください。季節的な要因を除いてご回答ください。

来期（平成21年 7月～ 9月期）の見通し

### 設問5 - 2 来期の事業所の業況（業況の良し悪し）

来期の見通し	1. 良い	2. 普通	3. 悪い
--------	-------	-------	-------

<「1. 良い」とお答えの方へ> 「良い」とお答えの理由を、下の欄にご記入ください。

「良い」理由	例.) 新製品の売上が伸び、販売目標を超える売上があると予想されるため。

<「3. 悪い」とお答えの方へ> 「悪い」とお答えの理由を、下の欄にご記入ください。

「悪い」理由	例.) 需要の減少により、製品在庫量が適正量より増加すると予想されるため。

### 設問6 貴事業所の業況の変化について、おたずねします。

今期(平成21年 4月～ 6月期)の実績 ➡ 前年同期(平成20年 4月～ 6月期)と比べて。

#### 設問6 - 1 事業所の業況（業況の変化）

該当する番号を1つ選び、をつけてください。

今期の実績	1. 好転した	2. 変化なし	3. 悪化した
-------	---------	---------	---------

### 設問7 貴事業所の経営上の課題について、おたずねします。

#### 設問7 - 1 経営上の課題

該当する番号を3つまで選び、をつけてください。

1. 合理化・省力化不足	2. 設備・店舗等の老朽化又は狭い	3. 原材料・仕入製(商)品高
4. 設備過剰	5. 売上・受注の停滞、不振	6. 資金繰り・金融難
7. 求人・人材難	8. 人件費高騰	9. 在庫過大
10. 販売価格の値下げ	11. 競争の激化	12. 生産・販売能力の不足
13. 諸経費の増加	14. 立地条件の悪化	15. その他( )
16. 特になし		

最後に、本市の産業政策に関するご意見・ご要望等がございましたら、以下にご記入ください。


ご協力、誠にありがとうございました。

お問い合わせ先

仙台市 経済局 産業政策部 経済企画課

電話:022-214-8275 FAX:022-267-6292 E-mail:kei008010@city.sendai.jp

発行

仙台市経済局産業政策部経済企画課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3 - 7 - 1

電話 022-214-8275

FAX 022-267-6292

E-mail kei008010@city.sendai.jp

URL <http://www.city.sendai.jp/keizai/kikaku/>